

選択的評価事項に係る評価

自己評価書
(別添資料編)

平成26年6月

米子工業高等専門学校

目 次

選択的評価事項A	研究活動の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	A-1
選択的評価事項B	正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況	・・・・・・・・	B-1

選択的評価事項 A

資料A-1-①-1

米子工業高等専門学校地域共同テクノセンター規則

(設置)

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、地域共同テクノセンター（以下「センター」という。）を置く。

(業務)

第2条 センターは、企業との連携・交流を推進するとともに、地域に対して本校の教育資源を提供するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 企業等との共同研究及び受託研究等の研究開発推進に関すること。
- (2) 企業等に対する技術指導及び技術相談に関すること。
- (3) 公開講座・出前講座等地域における人材育成に関すること。
- (4) 地域との連携及び交流等に関すること。
- (5) その他産学官連携に関すること。

(職員)

第3条 センターに、次の職員を置く。

- (1) 地域共同テクノセンター長
- (2) 地域共同テクノセンター副センター長
- (3) 地域共同テクノセンター長補
- (4) その他必要な職員

2 前項に掲げる職員は、校長が任命する。

3 地域共同テクノセンター長（以下「センター長」という。）は、校長の命を受け、センターを統括する。

4 地域共同テクノセンター副センター長（以下「副センター長」という。）は、センター長を補佐する。

5 地域共同テクノセンター長補は、センター長及び副センター長を補佐し、センターの専門的な事項に関する業務を処理する。

(任期)

第4条 前条第1項第1号から第3号までに掲げる職員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 前項の職員に欠員が生じた場合の後任職員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第5条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、米子工業高等専門学校地域共同テクノセンター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会の組織及び運営等に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第6条 センターに関する事務は、総務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附 則（平成16年3月31日規則第18号）

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 米子工業高等専門学校システム化技術教育・開発センター規則（平成5年3月8日制定）は、廃止する。
- 3 米子工業高等専門学校システム化技術教育・開発センター運営委員会規則（平成9年3月19日制定）は、廃止する。

附 則（平成19年4月1日規則第8号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年7月23日規則第11号）

この規則は、平成21年7月23日から施行する。

(出典 規則集)

資料 A-1-①-2

米子高専地域共同テクノセンターの沿革

米子高専地域共同テクノセンターの沿革

平成 5 年	システム化技術教育・開発センター設置。 「研究開発部門」「研究協力・技術相談部門」の 2 部門制で活動を開始。
平成 8 年	「情報ネットワーク部門」を新設し、3 部門体制となる。
平成 9 年	「情報処理センター」を「情報教育部門」として統合、4 部門体制となる。
平成 10 年	「研究開発部門（産学官連携と地域連携推進）」「情報教育部門（情報教育と情報ネットワーク化の推進）」の 2 部門制へ統合整理。
平成 16 年	「研究開発部門」が 地域共同テクノセンター として独立。
平成 20 年	産学連携コーディネーター雇用開始。
平成 22 年 10 月	鳥取県産業振興機構内に、現在の米子高専地域共同テクノセンター鳥取オフィスの前身となる、米子高専地域共同テクノセンターのデスクを設置。
平成 23 年 12 月	鳥取県産業技術センター内に米子高専地域共同テクノセンター 鳥取オフィス を開設。

(出典 地域共同テクノセンター資料)

○米子工業高等専門学校事務部組織規則(抜粋)

6 企画・社会連携係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 諸事業・プロジェクトの企画・立案に関する事。
- (2) 中期計画・年度計画に関する事。
- (3) 外部資金の受入れに関する事。
- (4) 教員の研究協力に関する事。
- (5) 地域連携協力に関する事。
- (6) 国際協力に関する事。
- (7) 知的財産権に関する事。
- (8) 事務情報化の推進に関する事。
- (9) 事務用電子計算機の管理運用に関する事。
- (10) 情報処理業務に関する事。
- (11) 地域共同テクノセンターに関する事。

7 財務係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 決算の総括に関する事。
- (2) 会計の監査及び検査に関する事。
- (3) 会計の諸規則に関する事。
- (4) 職員宿舎の入居及び退去に関する事。
- (5) 損害保険プログラムに関する事。
- (6) 計算証明に関する事。
- (7) 債権の管理に関する事。
- (8) 収入及び支出に関する事。
- (9) 諸謝金等の支出関連業務に関する事。
- (10) 現金、預金、貯金及びその他有価証券に関する事。
- (11) 自己収入、運営費交付金、外部資金及び預り金の経理に関する事。
- (12) 財務係に係る諸統計報告に関する事。
- (13) その他会計事務で他係に属しない事項に関する事。

8 契約係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 物品の管理及び計画に関する事。
- (2) 物品の調達及び役務の契約（施設係の所掌に係るものを除く。）に関する事。
- (3) 物件費等の支出関連書類（施設係の所掌に係るものを除く。）の作成に関する事。
- (4) 物品の出納及び保管に関する事。
- (5) 毒物及び劇物等の安全管理に関する事。
- (6) 不用物品の処分及び売払に関する事。
- (7) 清掃業務及びその他労務作業（施設係の所掌に係るものを除く。）に関する事。
- (8) 契約係に係る諸統計報告に関する事。

(出典 規則集)

米子工業高等専門学校技術教育支援センター規則

(設置)

第1条 米子工業高等専門学校(以下「本校」という。)に、独立行政法人国立高等専門学校機構の本部事務局の組織等に関する規則第12条の規定に基づき、教育及び研究に係る技術支援体制の充実及び強化を図り、本校における技術に関する専門的業務の支援を効率的かつ円滑に行うため米子工業高等専門学校技術教育支援センター(以下「センター」という。)を置く。

(業務)

第2条 センターの所掌業務は、次のとおりとする。

- 一 教育及び研究に対する技術支援の基本計画の策定に関すること。
- 二 学生の実験、実習、卒業研究等の準備等及び技術指導に関すること。
- 三 教員の教育及び研究に対する技術支援に関すること。
- 四 技術の継承及び保存並びに技術向上のための技術研修、技術発表会及び技術講演会等の企画・実施等に関すること。
- 五 技術資料の作成、保管及び提供等に関すること。
- 六 本校と企業等との共同研究、受託研究等における技術支援に関すること。
- 七 その他のセンターの目的達成のため必要な事項に関すること。

(技術班)

第3条 センターに、第一技術班及び第二技術班を置く。

2 第一技術班は、次の業務を分掌する。

- 一 ものづくりセンター、機械工学科及び電子制御工学科に関する前条の業務
- 二 その他第一技術班の管理運営に関すること。

3 第二技術班は、次の業務を分掌する。

(出典 規則集)

資料 A-1-①-5
学位取得教員数の変遷
(校長を含む人数)

平成26年4月1日現在

年度(平成)	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
博士	28	31	34	41	47	49	55	55	55	55	53	58	56
修士	27	25	24	23	21	18	15	13	13	14	12	12	13
常勤教員総数	76	76	76	78	80	77	79	77	76	77	75	79	76

(校長を含む人数)

(出典 総務課人事労務係資料)

資料 A-1-①-6
平成 26 年度学位取得教員の学科別割合
(校長を除く人数)

平成26年4月1日現在

	教養教育科	機械	電気情報	電子制御	物質	建築	合計
常勤教員数	21	10	11	10	12	11	75
博士号取得者数 (%)	15(71)	9(90)	10(90)	6(60)	8(66)	7(63)	55(73)
専門学科博士号取得率		40(74)					

括弧内は%

(出典 総務課人事労務係資料)

4. 地域ニーズ対応共同教育

実践的な問題設定と課題解決能力を養うことを目的として、地元企業が抱える課題やニーズを卒業研究・特別研究等のテーマに設定し、企業技術者等と「地域共同教育」を行った。受け入れたテーマは担当教員の指導の下で学生が主体となって取り組み、教育の一環として実施した。

なお、この活動を通して学生の意識を地元企業に向けさせ、人材の地域定着を図る狙いもあり、ものづくりの基盤技術を承継すると同時に、地域の人材の循環サイクルを確立することも長期的な視野に入れている。

平成 24 年度取り組み実績

学 科	内 容	科 目	参加学生数
機械工学科	溶液中の泡挙動の制御	本科卒業研究 専攻科特別研究	2
電気情報工学科	小型スピーカの試作とその特性測定	本科工学演習	4
	サインアート制御の無線化	本科工学演習	4
電子制御工学科	景観再現・景観創造システムの開発	本科卒業研究 プロコン	11
物質工学科	カリウムの除去方法の検討	本科卒業研究	1
	溶液中の気泡移動速度に関する検討	専攻科特別研究	1
建築学科	2次製品用コンクリートの開発	本科卒業研究 専攻科特別研究	2



電気情報工学科
「小型スピーカの試作とその特性測定」ポスター



電気情報工学科
「小型スピーカの試作とその特性測定」



電子制御工学科
「景観再現・景観創造システムの開発」
〔※米子高専振興協力会「新年交流会」において
研究成果を発表した様子〕

3. 地域ニーズ対応共同教育

資料 A-1-①-7

実践的な問題設定と課題解決能力を養うことを目的として、地元企業が抱える課題やニーズを卒業研究・特別研究等のテーマに設定し、企業技術者等と「地域共同教育」を行った。受け入れたテーマは担当教員の指導の下で学生が主体となって取り組み、教育の一環として実施した。

なお、この活動を通して学生の意識を地元企業に向けさせ、人材の地域定着を図る狙いもあり、ものづくりの基盤技術を承継すると同時に、地域の人材の循環サイクルを確立することも長期的な視野に入れている。

学科	テーマ	科目	参加学生数
機械工学科	多孔質材料のパラメータ推定に関する研究	本科卒業研究 専攻科特別研究	4名
電気情報工学科	電動カートの走行制御に関する研究	本科卒業研究 専攻科特別研究	2名
電子制御工学科	iPhone /iPad を用いた画像処理アプリケーションの開発	本科卒業研究 専攻科特別研究 プログラミングコンテストの活動	12名
物質工学科	米の食味向上に関する検討	本科卒業研究	1名
建築学科	まちなか空家活用プロジェクト ～空き家の活用や改修を通じたワークショップによる実践的学習の試み～	本科卒業研究 専攻科特別研究	20名

米子工業高等専門学校振興協力会会則

(名称)

第 1 条 この会は、米子工業高等専門学校振興協力会という。

(目的)

第 2 条 この会は、米子工業高等専門学校の振興発展に協力するとともに、地域の文化、学術の発展に資することを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 米子工業高等専門学校と会員との交流促進
- (2) 米子工業高等専門学校の振興発展への協力体制の樹立及び実行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(組織及び会員)

第 4 条 この会は、次に掲げる会員により組織する。

- (1) 本会の主旨に賛同する者
- (2) 行政代表者

(顧問)

第 5 条 この会に顧問を置き、米子工業高等専門学校長及び、本会に貢献のあった者をもって充てる。

(役員)

第 6 条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
 - (2) 副会長 5 名 以内
 - (3) 理事 20 名以内
 - (4) 監事 2 名
- 2 理事及び監事は総会において選出し、会長、副会長は理事の互選により決定する。
3 役員任期は 2 年とする。ただし、再任はさまたげない。

(事務局)

第 7 条 この会の事務局は、会長指名企業内に置く。

- 2 事務局に事務局長を置く。
- 3 事務局長は会長が指名し、この会の庶務をつかさどる。

(役員職務)

- 第 8 条 会長は会務を総理し、この会を代表する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職を代行する。
- 3 理事は会務の執行上必要な事項を審議し、運営に当たる。
- 4 監事は会計事務を監査する。

(会議)

- 第 9 条 この会の会議は、総会と役員会とし、必要の都度会長が招集し、会議の議長となる。
- 2 議事は出席者の過半数によって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(総会)

第 10 条 総会は会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 会則の改廃
- (2) 毎事業年度の収支予算及び事業計画の決定
- (3) 事業報告及び収支決算の承認
- (4) その他本会運営に関する重要事項

(役員会)

第 11 条 役員会は役員をもって構成し、次の事項を審議する。

- (1) 総会に付すべき事項
- (2) 総会の議決を要しない会務に関する事項

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費及び事業に伴う臨時経費、その他の収入をもって充てる。

- 2 会費は年 30,000 円とし、年度当初、事務局に一括納入するものとする。また、事業に伴う臨時会費は、必要に応じ実費を徴収するものとする。
- 3 年度中途の入会の場合も 1 年分を徴収するものとし、また既納の会費は返戻しない。

(事業年度)

第 13 条 本会の事業年度は毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わるものとする。

附 則

- 1 本会の設立当初の役員就任については、第 6 条第 2 項の規定にかかわらず発起人会に置いてこれを定め、設立総会において承認を得るものとし、役員任期は平成 9 年度の第 1 回総会までとする。
- 2 本会の設立初年度の事業計画及び収支予算は第 13 条の規定にかかわらず、設立の日から平成 8 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この会則は、平成 14 年 7 月 15 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 16 年 6 月 10 日から施行する。

(出典 地域共同テクノセンター資料)



米子高専振興協力会 沿革

- 平成 3年12月 鳥取県・中部の企業22社からなる「米子工業高等専門学校振興協力会」(会長 浜本實氏)を結成
- 平成 7年 7月 鳥取県西部・鳥取県東部の企業5社と米子市からなる「米子工業高等専門学校中海振興協力会」(会長 野津一成氏)を結成
- 平成14年 7月 「米子高専振興協力会」と「米子高専中海振興協力会」を統合し、「米子工業高等専門学校振興協力会」(会長 野津一成氏)となる
- 平成23年 9月 会員企業が10社を超え、多くの地元企業に広がっています

入会のご案内

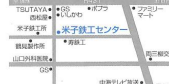
入会は随時受け付けております。
是非、米子高専振興協力会の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただけますようお願い申し上げます。
年会費 30,000円

お申し込み・お問い合わせ

国立米子工業高等専門学校
振興協力会事務局

TEL.0859-29-0221
〒683-0801 鳥取県米子市東長町2924-3
鳥取県米子技術センター内
事務局 / 社会実装(国内)総合米子工センター(専修棟)

米子高専振興協力会
http://www.yonago-k.ac.jp/center/promotion.php



国立米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター

TEL.0859-24-5007
〒683-0802 鳥取県米子市原町1444B
FAX.0859-24-5009
E-mail:tkc@yonago-k.ac.jp

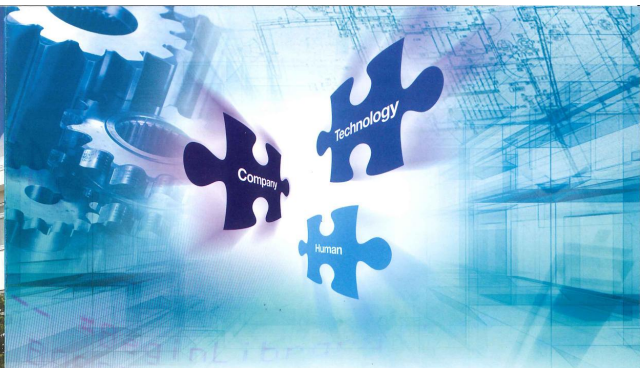
米子高専地域共同テクノセンター
http://www.yonago-k.ac.jp/center/index.php



国立米子工業高等専門学校
鳥取オフィス

TEL.0857-50-1883
〒685-1112 鳥取県取市岩倉南 7丁目1-1
鳥取県産業技術センター内
FAX.0857-50-1884

鳥取県産業技術センター



米子高専振興協力会

入会のご案内



「技術と出会う」「人と出会う」をテーマに交流を。

会長 森脇 孝
(株式会社船水フオージング代表取締役社長)

米子高専はこの地域における貴重な工学系高等教育機関です。米子高専振興協力会は地域資源としての米子高専を支援しながら、その知見、人材、ネットワークを活用することにより地域経済・社会の発展を図ることを目的に設立されました。
「高等教育を支援する」「技術と出会う」「人と出会う」をテーマとして、会員様のご意見をお聞きしながら、手厚いサポートがあり、参加しやすく、ためになるをモットーに様々な事業を展開いたしております。平成3年の創設から20年余を経て、現在では世界から100名を超える皆様のご参加により、産学官交流の場としての機能を発揮するとともに、とりわけ我々企業にとって最重要課題である優秀な人材確保についてもそのノウハウを蓄積しつつあります。このような本会の主旨をご理解願ひ、皆様にご参加いただけますよう、よろしくお申し込み申し上げます。



地域に根差した人材とネットワークにより地域経済の発展を。

国立米子工業高等専門学校
校長 齊藤 正美

米子高専振興協力会は、全国高専の中でも先駆けとなる平成3年と言いつい早い時期に産声を上げ、以来鳥取県内及び中海地域の産業界を中心に、米子高専の応援隊として、また地域の産学官連携組織の一つとして技術交流や共同研究を中心に発展してきました。
今後、技術相談や共同研究を通じた新技術の開発といった技術支援、地域共同教育の成果としての人材の育成・輩出といった人的支援、理科離れ防止や生涯教育を目的とした各種公開講座やまちづくり活動といった社会支援などを通じて地域社会に貢献したいと考えています。また、新たに技術者ネットワークや人材ネットワークの構築等により、さらなる地域に根差した人材確保により地域経済の発展を促す取り組みを行ってまいります。
この会の充実と発展が、地域の産業振興に役に立てるよう頑張っておりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
国立 米子工業高等専門学校
Yonago National College of Technology

交流から地域力の創出へ

米子高専振興協力会は、発足以来、地域の工学系高等教育機関である国立米子高専の教育・研究等の諸活動を支援して参りました。本会活動の推進に当たっては、米子高専地域共同テクノセンターと連携し、特に技術交流や共同研究・技術相談等の産学官連携の推進および活性化により地域の振興・発展に寄与しています。



地域貢献
活動成果を地域に還元。
「地域力」の創出・活性化!

米子高専振興協力会活動のご紹介

技術交流・技術相談

- 新商品開発の技術相談サポート
- ビジネスパートナーのマッチングサポート



【総会】(7月頃)
前年度事業報告の承認及び今年度事業計画等の基本的な方針や重要事項の決定を行います。また、産学官連携や共同研究の成果発表を行います。同時開催の「情報交換会」では、行政や産業界支援機関を交え、会員相互及び教職員との連絡や交流の促進を図ります。その他に、「高専卒業生をむかへて採用」など人材獲得に関するノウハウの発表もあります。



【新年交流会】(1~2月頃)
各界からの来賓を交え会員相互、高専の教職員との新年の挨拶・情報交換の場として開催しています。「企業と米子高専のコラボ成功事例」や「課題と解決策の提案」など、発表を兼ねて産学官連携の技術交流と情報交換を行います。

研修事業・企業PR

- 講習会や研修を通じて様々な情報を提供
- 地元企業や米子高専教員との交流を通じた自社のPR



【企業見学会】
(鳥取県東・中部地区、9月頃)(鳥取県西部地区、3月頃)
連携を深めるため会員企業と教職員が合同で企業見学会を行います。事業内容を紹介することで、地元企業に対する理解を深め、新たに協力・提携先を見つけるきっかけになります。また、教職員が各企業の事業的価値を知ることで、学生の進路指導にも役立っています。



【特別講演会】(11月頃)
産業界や産学官連携分野で活躍する「課題の人」を講師に迎え、経営革新・業務改善・技術力向上等のヒントになることを目的としたビジネスや技術に関する講演会を行います。

特別講演会の過去開催実績

平成21年度	複数の企業の技術顧問などを務めるシステムインテグレーションシステム(株)の多摩直哉代表取締役が「ものづくりのビジネスモデルと知識稼働」について講演
平成22年度	Ausi ASなどのデザインを手がけた世界で活躍するカーデザイナー-和田直氏による講演
平成23年度	人気テレビ番組「世界一受けたい授業」(日本テレビ系列)で工場見学の実演を担当する中村賢一、神戸国際大学経済学部助教が、地域ネットワークとしての大学の力をテーマに講演(写真)

人材育成・確保支援

企業ガイドブックやオープンファクトリーによる人材獲得

高専生の就職につながった実績多数!
【企業ガイドブック】を作成
企業と学生を結び、就職につながるため米子高専卒業生と専攻科1年生に配布し、進路相談会などの場として活用されています。また、米子高専ホームページに掲載することで企業PRの機会にもなっています。

【オープンファクトリー】(9月頃)
キャリア教育の一環として米子高専本科低学年(1~3年生)の学生向けに地元企業見学会を行います。職業やその仕事内容の理解、仕事における心構えなどを学ぶ場として、就職意識を高めるきっかけを学生に与えています。継続的に地元企業に将来有望な技術者を確保することを目的としています。

ロボコン、プロコン、デザコンなど学生の課外活動をバックアップ
将来の技術者(社会人)として必要とされる基本的な能力(エンジニアリングデザイン能力)を磨き、学生から講師へ取り組む、向上を要する機会を支援しています。

(出典 米子高専振興協力会パンフレット)

I. 米子高専振興協力会

米子工業高等専門学校振興協力会の沿革

平成 3 年 12 月	鳥取県東・中部の企業 20 社からなる「米子工業高等専門学校振興協力会」を結成
平成 7 年 7 月	鳥取県西部・島根県東部の企業 50 社と米子市からなる「米子工業高等専門学校中海振興協力会」を結成
平成 14 年 7 月	「米子高専振興協力会」と「米子高専中海振興協力会」を統合し、「米子工業高等専門学校振興協力会」となる。

米子高専振興協力会会員動向

平成 26 年 3 月 31 日現在、会員 119（平成 25 年度中の新入会 11、退会 8）。

1. 役員会

日 時 平成 25 年 6 月 26 日（水）18：30～
場 所 ワインレストラン クスクス（米子市末広町 144）
内 容 平成 24 年度事業報告・決算、平成 25 年度事業計画・予算、役員改選他

2. 総会

日 時 平成 25 年 7 月 11 日（木）16：30～
場 所 皆生グランドホテル 天水（米子市皆生温泉 4-18-45）
内 容 （1）平成 24 年度事業報告及び収支決算報告について
（2）平成 25 年度事業計画案並びに収支予算案について
・「オープンファクトリー報告」 米子高専 キャリア支援室長 松本 至
（3）その他
・「高専生採用の経緯」 美保テクノス（株）
・新入会員紹介
講演会 演 題：産学官連携のすすめ ケーススタディⅦ
①「卒業生ネットワークの紹介」
米子高専 校長補佐（国際交流） 香川 律
②「全国高専デザインコンペティション 2013 in 米子 の紹介」
米子高専 建築学科長 玉井 孝幸
懇親会 18：00～19：30

3. 企業見学会

・東中部地区企業見学会及び懇談会・懇親会

日 程 平成 25 年 9 月 12 日（木）
9：00 米子高専 発
13：00～13：50 （地独）鳥取県産業技術センター（鳥取市若葉台南 7 丁目 1-1）
14：00～15：00 （株）大真空鳥取事業所（鳥取市若葉台南 7 丁目 3-21）
15：30～16：30 懇談会 米子高専近況報告
16：30～17：30 懇親会
20：00 米子高専 着

・西部地区企業見学会

日 程 平成 26 年 3 月 10 日（月）
13：00 米子高専 発
13：20～14：50 （株）日新（境港市西工業団地 100）
15：10～16：40 フジッコフーズ（株）（境港市竹内団地 271）
17：10 米子高専 着

4. 特別講演会

日時 平成25年11月12日(火) 16:00～

会場 ホテルサンルート米子(米子市西福原1-1-55)

日程

【第1部】 特別講演会(16:00～18:00)

テーマ:「未来予測2013～2025 ―これから世の中はどう変わるか?―」

講師:(株)アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプランナー
田中 栄 氏

【第2部】 情報交換会(交流会)(18:00～19:30)

5. 新年交流会

日時 平成26年2月7日(金)

場所 ホテルサンルート米子(米子市西福原1-1-55)

日程 高専コンテスト等パネル展示 15:00～

【第1部】 講演会(16:10～16:40)

題目:産学官連携のすすめ ケーススタディⅧ

「高専プロコンを通しての地域企業との連携

―景観再現・景観創造システムの開発―」

発表者:米子高専 電子制御工学科 教授 河野 清尊

【第2部】 技術交流会(16:45～17:45)

(1) Needs&Proposal:「OK シートの表面処理効率化」

発表者:(株)片木アルミニウム製作所大山工場 工場長 中島 義徳 氏

提案者:米子高専 物質工学科 准教授 田中 晋

(2) 徳山高専事業紹介

発表者:徳山高専 テクノ・リフレッシュ教育センター

産学官連携コーディネータ 横山 精光 氏

【第3部】 新年懇談会(18:00～19:30)

6. 企業ガイドブック

米子高専振興協力会企業を紹介する「企業ガイドブック2014」を1,000部発行した。今年度よりデザインを一新し、利便性の向上を図るとともに、企業案内と求人情報を別紙として、より多目的に利用できるよう改善した。なお、本企業ガイドブックは、本科3、4年生および専攻科1年生にキャリア支援室を通じて配布し、平成26年1月25日(土)に実施された企業・大学合同面談会の資料などとしても活用されている。

7. オープンファクトリー

学生のキャリア教育の一環として、地域共同テクノセンターとキャリア支援室が連携して、オープンファクトリーを実施した。振興協力会会員企業のうち米子市を中心とした15社((株)菊水フォーミング、ステンレス工機(株)、(有)河島農具製作所、旭東電気(株)鳥取事業所、(株)大協組、サンイン技術コンサルタント(株)、(株)ゴール米子工場、寿製菓(株)、(株)稲田本店、島根ナカバヤシ(株)松江工場、(株)鶴見製作所米子工場、美保テクノス(株)、(株)明治製作所、(有)あっぷるはうす、王子エンジニアリング(株)米子事業所(順不同))が参加しての開催となった。

オープンファクトリーは低学年(1～3年生)の学生に向けたプレインターンシップとしての要素を備え、身近な地元の企業を見学し、業務内容の理解や仕事における心構え等を学ばせる。この機会を通じて、将来の就職や進路を考えるきっかけを学生に与え、ひいては地元で優秀な技術者を確保することを主な目的としている。

本年度は9月2日(月)から9月6日(金)の期間に実施し、13社に対して、延べ57名が参加し、受入先企業数、参加学生数ともに、昨年度より大幅に増加した。

境港市と米子高専の包括連携協力協定（平成 25 年 5 月 28 日）

境港市と米子工業高等専門学校との包括連携協力協定書

境港市と米子工業高等専門学校は、次のとおり包括連携協力協定を締結する。

本協定締結の証として本書を2通作成し、署名押印の上、おのおの1通を保有するものとする。

(目的)

平成 25 年 5 月 28 日

第1条 本協定は包括的な連携のもと、相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

(連携・協力内容)

境港市上道町 3000 番地

第2条 両者は、前条の目的を達成するため、次の分野について、連携・協力するものとする。

境港市長

- (1) 産業振興に関すること。
- (2) 教育及び文化の振興・発展に関すること。
- (3) まちづくりに関すること。
- (4) 人材育成に関すること。
- (5) その他前条の目的を達成するため必要な分野に関すること。

中村勝治

米子市彦名町 4 4 4 8 番地

独立行政法人国立高等専門学校機構

米子工業高等専門学校長

齊藤正美

(有効期間)

第3条 本協定の有効期間は、締結日から2年間とする。ただし、本協定による有効期間満了の日の1月前までに、両者から何らかの申し出がないときは、さらに2年間更新するものとし、その後も同様とする。

(協議)

第4条 本協定に定めるもののほか、連携・協力の具体的な事項及びその他の必要な事項については、両者が協議して別に定めるものとする。

(出典 地域共同テクノセンター資料)

米子高専と境港市 連携協定を締結

産業振興など4分野協力

境港市と米子高専・米子市彦名町、齊藤正美校長は28日、産業振興をはじめ、まちづくりや人材育成など幅広い分野で相互に協力する、包括連携協力協定を結んだ。



包括連携協力の調印を終え、握手する中村勝治市長(左)と齊藤正美校長

同市と米子高専は以前から、各種審議会委員に同校の教員を委嘱したり、水木しげるロードに設置する観光用ロボットを学生が開発するなどつながりが深い。正式な協定を結ぶ、相互の関係を強化する狙い。同様の協定締結は、市は初めて、高専は8機関目となった。

主な連携分野は▽産業振興▽教育・文化の振興▽まちづくり▽人材育成の四つ。高専は、水産業の食品分野の新規提案や技術協力をはじめ、観光客誘致の調査協力、市民向けの出前講座などを行う。市は地元企業とともに、学生の職場体験は「協定を機に、境港市とのつながりをさらに深めたい」と話した。

(出典 平成 25 年 5 月 29 日 山陰中央新報)

Information

詳しい情報はコチラをご覧ください

企業のみなさまへ
技術シーズ・米子高専振興協力会のご案内




技術シーズ 本校が得たシーズを積極的に活用いただけるよう、本校教員の院内資料や技術情報誌などを発行しています。

米子高専振興協力会 本校の教育・研究の発展を促進し、社会に人・材・ネットワークを供給し、地域経済・社会の発展に貢献（米子高専振興協力会）の活動や入会内容についてご案内いたします。

企業ガイドブック 米子高専振興協力会の会員企業を紹介する冊子です。米子高専に採用し、就職先とする企業、業務経験の資料としても活用しています。また、本校に採用希望する企業との企業内研修にも活用します。

地域のみなさまへ
講座・イベントのご案内



出前講演メニュー 小中学生や一般の方を対象に「科学」のつくづく生活など、様々なテーマで講演をいたします。講演費が無料に限り行う講座も、地域や学校の行事に合わせてご利用いただけます。

イベントガイド 本校を会場として、科学実験などを公開講座、講演会などとして行います。毎年10月1日～10月31日「文化祭」の一環として行っています。

エンジョウ科学館 中学生にもつづく科学の面白さを体験していただくことを目的に、毎年6月に開催している人気イベントです。

これまでの活動内容は「地域共同テクノセンター活動報告」をご覧ください。

<http://www.yonago-k.ac.jp/center/index.php>

米子高専テクノセンター

検索

技術相談等のお申し込み・お問い合わせ

**国立米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター**

TEL.0859-24-5007
〒683-8502 鳥取県米子市赤名4448
FAX.0859-24-5009
E-mail: [info@yonago-k.ac.jp](mailto:info@ytc.yonago-k.ac.jp)
〒米子高専地域共同テクノセンター
<http://www.yonago-k.ac.jp/center/index.php>



**国立米子工業高等専門学校
鳥取オフィス**

TEL.0857-50-1883
〒689-1112 鳥取県鳥取市赤松台 7丁B1-1
鳥取県産業技術センター内
FAX.0857-50-1884



「産・学・官」連携から生まれる、地域づくり



地域共同テクノセンター

Technocenter for Collaborative Research & Development

地域共同テクノセンターは、米子高専の産学連携・地域連携の窓口として、民間企業等との研究協力（共同研究、委託研究、技術交流等）、技術相談、人材育成事業等により地域産業の技術開発や技術向上に貢献するための組織です。

本校は機械工学、電気情報工学、電子制御工学、物質工学、建築学の各学科および教員教育の専攻で、高い専門性に基づいた教育と研究活動を実施しながら、「地域と共に歩む高専」として地域連携の推進、まちづくりや地域貢献活動、企業技術者を講師に迎えたプログラムなどを通して、広い視野をもつ人材育成にも重点を置いています。

また、行政機関や産業支援機関等との包括連携協定を締結するなど各団体と交流を深め、地元企業を中心に組織された「米子高専振興協力会」と協力しながら、活動の充実を図っています。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
国立 米子工業高等専門学校
Yonago National College of Technology

米子高専 地域共同テクノセンターは、元気あふれる地域づくりに貢献します！

技術相談・共同研究などの推進

○民間企業が抱える技術的課題に対するご相談を承ります。
○米子高専との共同開発により新しい発想を取り入れた技術革新が可能です。

▶ **フマキラー・どこでもペーパー(ファン式害虫防除装置) 防虫用ファンシステム開発設計**

企業名: フマキラー株式会社 開発部 機械工学科: 大塚 茂 教授

独自のファン制御プログラムを用いて集塵化設計を行い、ファン部の小型・高効率化を実現。大きな風量を生み出す「リアード」の構造をファンシステムの効率化と制御技術の向上に貢献しました。また、防虫用ファンシステムの開発に貢献しました。また、防虫用ファンシステムの開発に貢献しました。

▶ **妖怪神社・おみくじロボット**

企業名: 株式会社アズ(徳島県) 機械工学科: 松本 聖 教授

2010年秋開催、妖怪パレードでも活躍したおみくじロボット。おみくじロボットが、おみくじを運ぶ人型ロボットが、おみくじの運搬に貢献しました。また、おみくじの運搬に貢献しました。

▶ **日南振興株式会社 エコテックウッドハウス (木製農業用ハウス)**

企業名: 日南振興株式会社 建築学科: 堀田 純二 教授

地産木材を用いた新たな建築物を開発。地元産の木材資源を活用し、地産地消の推進に貢献しました。また、おみくじの運搬に貢献しました。

産 地域 学

企業技術者等と連携した地域共同教育の推進

○課題設定と課題解決能力を養う実践的な教育に取り組んでいます。
○地元企業と連携し、ものづくり技術の継承と地域の人材確保を推進しています。

▶ **地域ニーズに対応した地域共同教育を推進**

EV(電気自動車)等の生産を担っている株式会社「特別研究」の子会社に認定し、地元企業との「地域共同教育」を行うことで、実践的な教育が展開され、即戦力となる人材の育成につながります。また、これらの活動を通して学生の意欲が地元企業へと高く、人材の定着やものづくり産業の発展にも貢献しています。

▶ **電気自動車の分解・組立実習を通じて次世代の技術者を養成**

EV(電気自動車)等の生産を担っている株式会社「特別研究」の子会社に認定し、地元企業との「地域共同教育」を行うことで、実践的な教育が展開され、即戦力となる人材の育成につながります。また、これらの活動を通して学生の意欲が地元企業へと高く、人材の定着やものづくり産業の発展にも貢献しています。

▶ **建築学科の学生達のアイデアをもとに、自動車教習所のトイレリニューアル**

学校法人 米子自動車学校からの依頼を受け、建築学科・高専研究部の学生達が民間企業の公共施設トイレを調査するなどして設計をまとめました。男性用には光触媒トイレを、女性用にはパウダールームを、多目的トイレには心の交流を促すために設置し、利便性を高めました。限られた空間となり、予算を上回る出来栄に満足しています。と依頼元からも好評でした。

教育・研究成果を活用した、地域への貢献活動を推進

○小・中学生や地域の方を対象にした公開講座、ジョイント講座などを開催しています。
○教育・研究成果を広く地域に還元し、地域に貢献します。

▶ **出前講座** 地域における生涯学習機会の提供を目的として「出前講座」を行っています。本校の講師が積極的に地域へ出張し、「科学」のつくづく生活などをテーマに講演や実験を行います。

▶ **公開講座** 青少年の科学・技術等に対する関心を高めることを目的として、各機関への出張講座として「科学」のつくづく生活などをテーマに講演や実験を行います。

▶ **米子高専文化セミナー** 農産物の生産技術や地域の文化をテーマにした講演や実験を行います。また、米子高専の魅力を伝えるための講演や実験を行います。

米子高専振興協力会

1991年の発足以来、米子高専の教育・研究等の諸活動を支援、「高専教育を支援する」「技術の出会い」「人と出会う」をテーマに掲げ、産学官交流の場として技術交流会や講演会など様々な事業を展開しています。多くの地元企業にも加入いただき、2011年には会員企業が10社を超えています。

地域課題を解決し地域の活性化を推進

○本校の特長を生かし、地元の産業課題や教育・文化の発展に寄与します。
○自治体や各機関と包括連携協定を締結し、多様な分野で地域を盛り上げます。

CASE 1 中瀬の水質調査

連携先: 米子市 技術教育支援センター 大辻 文雄 技術部長 技術教育支援センター 白野 英吾 技術員

1999年から受託研究として、中瀬の水質調査で水質、溶解酸素(DO)(化学的酸素要求量)などの項目を調査しています。水質、溶解酸素(DO)などの項目が、中瀬の水質調査に貢献しました。また、水質調査の結果を地域に還元し、水質調査の推進に貢献しています。

CASE 2 JR岸本駅前周辺遊歩道整備計画の立案

連携先: 建築学科 堀田 純二 教授 学生

計画から立案された学生達が、立案の立案に貢献しました。また、立案の結果を地域に還元し、遊歩道の整備に貢献しました。

CASE 3 自然エネルギー(地熱・太陽光)の利用による農作物の育成促進研究

連携先: 鳥取県農林総合研究所 機械工学科 堀田 純二 教授

地産地消の推進に貢献しました。また、地産地消の推進に貢献しました。

(出典 地域共同テクノセンターパンフレット)

資料 A-1-①-14

米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター

技術相談申込み・お問い合わせ
TEL 0859-24-5007

ホームページからの
お問い合わせはこちら

TOP	組織概要	研究・技術について	公開講座	出前講座	人材育成事業	年間スケジュール
-----	------	-----------	------	------	--------	----------

米子高専 研究分野カテゴリ

	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	教養教育科	技術教育支援センター
環境/エネルギー関連：e x. エコカー・風力や太陽光発電・リサイクルなど	大塚 茂 早水 庸隆 森田 慎一	石倉 規雄 庄倉 克彦 松原 孝史 宮田 仁志		伊達 勇介 藤井 貴敏	前原 勝樹	中島美智子	大谷 文雄 上田 輝美 大塚 鐵雄 日野 英幸
福祉/医療/健康関連：e x. 福祉ロボット・人工関節など	大塚 宏一 松本 至		中山 繁生			池本 幸雄 大野 政人 南 雅樹	
材料/次世代デバイス関連：e x. LED・液晶など	藤田 剛 原 圭介	浅倉 邦彦 田中 博美 松岡 祐介	井上 学 角田 直輝 能登路 淳	青木 薫 小川 和郎 谷藤 尚貴 小田 耕平 竹中 敦司 田中 晋	北農 幸生 山田 祐司		
バイオ/食品関連：e x. バイオセンサー・氷温など			山本 英樹	榎間 由幸 藤井 雄三 村田和加恵			
計測/制御関連：e x. アメニティ技術など	矢壁 正樹	奥雲 正樹 権田 英功 新田 陽一	香川 律 原田 篤			竹内 彰継	松本 充 和田 実 岡部 誠
システムデザイン/情報・通信/ICT関連：e x. ソフトウェアデザイン・情報科学など		松本 正己	青柳 敏 河野 清尊 徳光 政弘			倉田 久靖	横田 晴俊 加納 史朗
コミュニティ関連/まちづくり・デザイン：e x. 都市計画・文化コミュニケーションなど					小椋 弘佳 金澤 雄記 熊谷 昌彦 高増 佳子 西川 賢治 細田 智久	加藤 博和 長福 香菜 布施 圭司 松崎 安子 山藤 良治	景山 肇
加工/生産/プロセス技術/ものづくり関連分野	権田 岳 山口 顕司				福田 祐二 玉井 孝幸		谷本 明逸 小口 英樹 山脇 貴士 森 智広 岸 悠
自然科学						大庭 経示 川邊 博 古清水大直 小林 玉青 堀畑 佳宏	
人文社会						酒井 康宏 中井 大造 早水 (岸野) 英美 森田 典幸	

国立米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター

〒683-8502 TEL : 0859-24-5007
鳥取県米子市彦名町4448 FAX : 0859-24-5009
E-mail : kikaku@yonago-k.ac.jp

(出典 校外向け Web ページ 地域共同テクノセンター研究分野カテゴリー)

<p>論文</p> <p>ME-scopVES によるモーダム解析実験 新田 陽一 米子工業高等専門学校研究報告 (43) 1-13, 2008年</p> <p>フレゼンターションツールを利用した電気回路の授業改善 新田 陽一 高等教育 No.281 369-374, 2005年 (誌名付リ)</p> <p>電気回路の授業におけるフレゼンターションツール利用の効果 新田 陽一 米子工業高等専門学校研究報告 38 15-26, 2002年</p> <p>マイクロフォン差重測定分布計測システムの構築 新田 陽一 米子工業高等専門学校研究報告 37 35-40, 2001年</p> <p>発音源の変動式位置計測 新田 陽一 米子工業高等専門学校研究報告 29 7-11, 1999年</p>	<p>テキストで表示 1 2 3 ></p>
<p>講演・口頭発表等</p> <p>心算習得評価重を用いたスピーチカシステムの実験 新田 陽一 第18回高専シンポジウムn山由 2018年1月26日</p> <p>熱習得冷部システムの高効率化に関する基礎的検討 新田 陽一 第18回高専シンポジウムn山由 2018年1月26日</p> <p>骨伝導ヘッドホンの慣性伝導特性の改善 新田 陽一 第18回高専シンポジウムn山由 2018年1月26日</p> <p>カスケードアンテナの構造を駆使した単一指向性スピーチカの実験と特性測定 山本 茂志, 新田 陽一 第18回高専シンポジウムn山由 2018年1月26日</p> <p>マルチウェイスピーチカにおけるタイムアライメント調整の効果 新田 陽一 第7回高専シンポジウムn山由 2012年1月28日</p>	<p>テキストで表示 1 2 3 4 ></p>
<p>担当経験のある科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気伝導 (国立米子工業高等専門学校) ・ 電気回路工学 (国立米子工業高等専門学校) ・ 電気回路 (国立米子工業高等専門学校) ・ システム回路 (国立米子工業高等専門学校) ・ 電気伝導基礎 (鳥取県立大学) 	
<p>所属学協会</p> <p>電気学会(120)、日本電気学会(100)、日本オーディオ協会(12)</p>	
<p>特許</p> <p>特許504907: マイクロプロセッサ 新田 陽一</p> <p>特許304907: テキスト駆動装置 森洋一, 新田 陽一</p> <p>特許3049244: スピンドルモータ 新田 陽一, 山崎賢一, 奥龍人</p>	<p>テキストで表示</p>

<p>日本語 英語 ログアウト</p> <p>新規登録</p> <p>researchmap</p> <p>ホーム 研究者検索 マイボータル</p> <p>新田 陽一</p> <p>プロフィール</p> <p>鳥取県出身 鳥取県立大学在学中は放射線応用計測の研究に従事 米子高専赴任後は習得計画に携わる 最近では心理習得評価の工学的応用に興味あり</p> <p>研究キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気電子工学 / 計測工学 / <p>経歴</p> <p>2006年10月 - 現在 独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 電気情報工学科 教授</p> <p>2004年4月 - 2006年9月 独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 電気情報工学科 准教授</p> <p>1994年10月 - 2004年3月 国立米子工業高等専門学校 電気工学科 助教授</p> <p>1991年10月 - 1994年9月 国立米子工業高等専門学校 電気工学科 助手</p> <p>1991年4月 - 1991年9月 日本電産株式会社 中央研究所 研究課1部副研究員(主任)</p> <p>学歴</p> <p>1987年4月 - 1990年3月 国立鳥取県立科学大学大学院 工学研究科博士後期課程 総合エネルギー工学専攻</p> <p>1985年4月 - 1987年3月 国立鳥取県立科学大学大学院 工学研究科修士課程 電気・電子工学専攻</p> <p>1983年4月 - 1985年3月 国立鳥取県立科学大学 工学部 電気・電子工学課程</p> <p>1978年4月 - 1983年3月 国立米子工業高等専門学校 電気工学科</p> <p>委員歴</p> <p>2012年12月 - 現在 鳥取県商工労働部経済通商経営政策推進室 鳥取県大規模小売店構立地審議会委員</p> <p>2012年6月 - 現在 一般社団法人鳥取県発明協会 理事</p> <p>2012年4月 - 現在 公益社団法人鳥取県産業界協議会 評議員</p> <p>2012年4月 - 現在 公益社団法人鳥取県産業界協議会 次世代・地域経済産業育成事業審査委員会委員</p> <p>2012年4月 - 現在 鳥取県商工労働部産業界振興推進室 ものづくり事業化対応補助金審査会審査員</p> <p>受賞</p> <p>2004年6月 独立行政法人国立高等専門学校機構 平成16年度高等専門学校教職員研究奨励会 教育研究分野文部科学大臣賞(フレゼンターションツールを利用した電気回路の授業改善の試み)</p> <p>1994年3月 社団法人電気学会 電気学会論文発表賞 2つのマイクを用いた音源方向センサ</p> <p>電気学会創立100周年記念論文賞(奨励賞)による</p>	<p>テキストで表示 1 2 ></p>
--	-------------------------

(出典 researchmap Web ページ)

資料A-1-①-16

平成25年3月31日

平成24年度・産学連携コーディネーター活動報告

産学連携コーディネーター:足立新治

1 活動期間(雇用期間)	平成24年4月～平成25年3月	
2 企業訪問件数(延数)	70 社	非会員(22)、情報交換、表敬訪問、技術相談対応、新規開拓、他
内訳	西部	51 社
	中部	8 社
	東部	9 社
	島根	2 社
3 産業支援機関訪問件数	16 機関	産業振興機構、産業技術センター、商工会議所、市役所、他(情報交換、連絡調整等)
4 会議等出席状況		
内訳 外部会議等	11 回	鳥大西部連絡会(5)、医工連携会議(2)、中部地域産学金官連絡会議、他
講演会・フォーラム	10 回	北東アジア産業技術フォーラム、ものづくりカイゼン塾、SPACフォーラム、その他産学官連携推進関連フォーラム等
イベント等	5 回	「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業」、「とっとり産業フェスティバル&鳥取環境ビジネス交流会2012」、デンソー展示商談会、他
交流会	11 回	米子6:00クラブ(3)、中部元気クラブ(1)、その他上記関連交流会
5 広報活動		
1) 境港商工会議所議員懇話会・校長講演企画		
2) デンソー展示商談会企画への対応(シーズ発表選定・OB連絡、連絡調整等関連業務)		
3) 米子鉄工センター青年部「新年例会」講演会講師 (演題:「米子高専の産学連携」)		
4) 他		
6 技術相談対応	11 件	
7 外部資金		
共同研究	3 件	中井技研(1000)、日野建設業組合(452)、こざさ建設(650)
受託研究	件	
寄付金	4 件	アイズ(500、150)、赤松産業(150)、日本海冷凍魚(100)
8 振興協力会新規会員勧誘	5 会員	XPLAN、大協組、島津組、日南振興、ビックツール
9 境港市連携協定締結の推進		企画推進 (計画、基礎資料作成、協定素案作成、連絡調整、他)
10 求人・インターンシップ支援		
1) 求人情報	3 件	学科へ情報提供(M、E、D、C)
2) インターンシップ情報	7 件	E科支援(1)、キャリア支援室へ情報提供(6)
3) その他	3 件	企業の中途採用支援
11 その他		
1) 振興協力会支援		①理事就任要請(3社)、②西部地区企業見学会、③プロポーザル発表関連(企業依頼・調整)、④他
2) 他		オープンファクトリー、合同企業説明会等支援 卒研発表会(本課、S科)出席

(出典 平成25年8月 地域共同テクノセンター運営委員会資料)

資料A-1-①-17

平成25年度 教育研究活性化経費配分について

I. 教育研究活性化経費の総枠について

(単位：千円)

平成22年度予算額	平成23年度予算額	平成24年度予算額	平成25年度予算額(案)
プレ科研費	プレ科研費	プレ科研費	プレ科研費
3,500	3,500	3,500	3,500
地域に根ざした特色ある研究経費	地域に根ざした特色ある研究経費	地域に根ざした特色ある研究経費	地域に根ざした特色ある研究経費
500	500	500	500
新任・若手教員支援研究費	新任・若手教員支援研究費	新任・若手教員支援研究費	新任・若手教員支援研究費
3,000	3,000	3,000	3,000
GP・科研費推進経費			
2,000			
教育・研究特別支援経費 (教育評価・研究評価による)	教育・研究特別支援経費 (教育評価・研究評価による)	教育・研究特別支援経費 (教育評価・研究評価による)	教育・研究特別支援経費 (教育評価・研究評価による)
1,000	1,000	1,000	1,000
10,000	8,000	8,000	8,000

II. 事項等

1. プレ科研費(継続事項) 3,500千円

本校の教育研究を推進するうえで特に重要と思われ、来年度(再来年度)科学研究費補助金採択の可能性が高いと思われる事業について支援を行う。

【配分方針】

平成24年度と同様(上限:1件につき1,000千円)

【配分方法】

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、別に定める選考基準に基づき、運営会議メンバーが書類審査(必要に応じヒアリングを行う)を実施のうえ決定し、配分する。

2. 地域に根ざした特色ある研究経費(継続事項) 500千円

教育研究の活性化を図るため、地域貢献等のインパクトのある研究に対して、その活動の支援を行う。

【配分方針】

1~2件の採択(上限:1件につき500千円)

科学研究費補助金以外の研究であって、地域貢献等のインパクトのある研究に対して配分する。

【配分方法】

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、別に定める選考基準に基づき、運営会議メンバーが書類審査(必要に応じヒアリングを行う)を実施のうえ決定し、配分する。

3. 新任・若手教員支援研究費 3,000千円

(1) 新任教員支援研究費(継続事項)

【配分方針】

新任教員に対し、1人20万円を2年間配分する。

新任教員は、本校に採用後2年以内の教員とし、非常勤講師を除く。

【配分方法】

年度当初の採用者については20万円を支援し、中途採用者については予算の状況により決定する。

なお、予算の執行が遅いと判断される場合は、理由を付して報告書を提出するものとする。

(出典 総務課財務係資料)

(2)若手教員支援研究費(継続事項)

教育研究の活性化を図るため、立ち上げ経費が不足していると思われる若手教員の教育研究活動の支援を行う。

【配分方針】

若手教員に対し、1人20万円を上限として配分する。

申請者は、39歳未満の講師又は助教(長期海外渡航者を除く)とする。

ただし、本校に採用後、3年目以降7年以内の者に限る。

【配分方法】

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、別に定める選考基準に基づき、運営会議メンバーが書類審査(必要に応じヒアリングを行う)を実施のうえ決定し、配分する。

採択者は、必ず研究成果を学会等に報告すること。

報告しなかった教員については、翌年度採択しない。

4. 教育・研究特別支援経費(教育評価、研究評価による) 1,000千円

【趣旨】

本校における教育・研究分野等において、顕著な業績をあげた教員に対して以下により配分する。

ただし、非常勤講師は除く。

【配分方針】

①教育分野特別支援経費

ア. 過去1年間に教育方法の改善等により、学会等から表彰を受けた教員に50千円を配分する。

イ. 過去1年間に学生の教育指導について、顕著な業績があると校長が認めた教員に50千円を配分する。

②研究分野特別支援経費

ア. 過去1年間に教育分野を除く研究により、学会等から表彰を受けた教員に50千円を配分する。

イ. 過去1年間にファーストオーサー(代表執筆者)学術論文(査読付き)を投稿し、掲載許可を受けた教員に掲載に要した経費の50千円を上限として配分する。

ただし、本校名が付された教員の論文に限る。

ウ. 過去1年間において、特許を出願した教員に50千円を配分する。

③その他

配分に当たり、上記各項目の重複を妨げない。

【配分方法】

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、運営会議で審議のうえ決定し、配分する。

ただし、上記①のイ. については、学生主事が推薦し、また、上記②のウ. については、担当部署に確認したそれぞれの案件について、運営会議で審議のうえ決定し、配分する。

(出典 総務課財務係資料)

審査員氏名 ()

教育研究活性化経費に係る選考基準

1.【ブレ科研費】

評価項目等	評価方法	評価結果等																		
		申請者1	申請者2	申請者3	申請者4	申請者5	申請者6	申請者7	申請者8	申請者9	申請者10									
① 科研申請者における「日本学術振興会」の評価結果 (評価結果には、個人名を付さない措置を講じる)	評価結果																			
② 研究課題の状況	※5段階評価は、評価の高いものを5点とし、低いものを1点とする。																			
ア. 学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。	5段階評価																			
イ. 研究構想や研究目的が具体的、且つ明確に示されているか。	5段階評価																			
ウ. 研究目的を達成するため、研究計画が十分練られたものになっているか。	5段階評価																			
エ. 研究対象、研究方法やもたらされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか。	5段階評価																			
オ. 科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献が期待できるか。	5段階評価																			
③ 参考事項																				
ア. 前年度ブレ科研費の採択者における本校「評価・改善委員会」の評価結果	評価結果																			
イ. 前年度ブレ科研費の採択者における科研費の申請状況	必須																			
ウ. 前年度ブレ科研費の採択者における予算の執行時期及び執行状況	効果の検証																			
エ. 学会発表等の状況	発表の有無																			
オ. 論文掲載等の状況	掲載の有無																			
カ. 他の研究機関等との共同研究の状況	研究の有無																			
点数計	5段階評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採択に係る順位	総合判定																			
予算配分額	(千円)																			

2.【地域に根ざした特色ある研究経費】

評価項目等	評価方法	評価結果等																		
		申請者1	申請者2	申請者3	申請者4	申請者5	申請者6	申請者7	申請者8	申請者9	申請者10									
① 研究課題の状況	※5段階評価は、評価の高いものを5点とし、低いものを1点とする。																			
ア. 地域貢献等において、推進すべき必要又は重要な研究課題であるか。	5段階評価																			
イ. 研究構想や研究目的が具体的、且つ明確に示されているか。	5段階評価																			
ウ. 研究目的を達成するため、研究計画が十分練られたものになっているか。	5段階評価																			
エ. 研究内容について、地域貢献等としての独創性や革新性が認められるか。	5段階評価																			
オ. 期待される効果・成果が、地域に与えるインパクト・貢献に期待できるか。	5段階評価																			
② 参考事項																				
ア. 前年度採択者における本校「評価・改善委員会」の評価結果	評価結果																			
イ. 前年度採択者における予算の執行時期及び執行状況	効果の検証																			
ウ. 学会発表等の状況	発表の有無																			
エ. 論文掲載等の状況	掲載の有無																			
オ. 他の研究機関・県内企業等との共同研究の状況	研究の有無																			
カ. 将来的に共同研究契約等に発展する見込みがあるか。(県等からの助成金等の見込みがあるか)	見込の有無																			
点数計	5段階評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採択に係る順位	点数判定																			
予算配分額	(千円)																			

3.【新任・若手教員支援研究費 - (2)若手教員支援研究費】

評価項目等	評価方法	評価結果等																		
		申請者1	申請者2	申請者3	申請者4	申請者5	申請者6	申請者7	申請者8	申請者9	申請者10									
① 研究課題の状況	※5段階評価は、評価の高いものを5点とし、低いものを1点とする。																			
ア. 学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。	5段階評価																			
イ. 研究構想や研究目的が具体的、且つ明確に示されているか。	5段階評価																			
ウ. 研究目的を達成するため、研究計画が十分練られたものになっているか。	5段階評価																			
エ. 研究対象、研究方法やもたらされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか。	5段階評価																			
オ. 科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献が期待できるか。	5段階評価																			
② 参考事項																				
ア. 前年度採択者における本校「評価・改善委員会」の評価結果	評価結果																			
イ. 前年度採択者における予算の執行時期及び執行状況	効果の検証																			
ウ. 学会発表等の状況	発表の有無																			
エ. 論文掲載等の状況	掲載の有無																			
オ. 他の研究機関等との共同研究の状況	研究の有無																			
点数計	5段階評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採択に係る順位	総合判定																			
予算配分額	(千円)																			

(出典 総務課財務係資料)

資料A-1-①-19

平成25年度教育研究活性化経費の配分について

【ブレ科研究費】(配分上限:1件につき1,000千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	申請額	配分額	摘要
1	大塚 宏一	機械工学科	728,535	543,000	関節シミュレータによる人工関節駆動部のバルク温度評価とその制御に関する研究
2	早水 庸隆	機械工学科	567,000	486,000	テイラー・ディーン流れを利用したカオス混合
3	権田 岳	機械工学科	294,105	0	多孔質材料の透過度推定(多孔質体内を流れる流体挙動に関する研究)
4	田中 博美	電気情報工学科	999,560	1,000,000	省エネルギー型電気自動車モータへの応用を目指した高温超伝導材料の開発
5	石倉 規雄	電気情報工学科	1,000,000	0	磁座標変換を用いた電気鉄道用パワーラインコンディショナにおける出力電流の追従制御
6	徳光 政弘	電子制御工学科	1,000,000	0	動的環境に適應する自律分散システムへ向けた適応的戦略による解析と設計
7	田中 晋	物質工学科	973,940	0	パーフルオロポレイドを用いた新規Rotor相化合物の自立薄膜化
8	伊達 勇介	物質工学科	939,000	746,000	呼吸診断用ガス検知デバイスの開発を指向した層状無機/発光性色素複合材料の創製
9	藤井 貴敏	物質工学科	631,050	0	鉄鋼スラグ溶出物質が微生物相へ及ぼす影響評価
10	谷藤 尚貴	物質工学科	1,000,000	950,000	実用的な高機能二次電池材料の合成研究
11	金澤 雄記	建築学科	1,000,000	0	「米子城の復元的研究と米子城下町成立の複合的研究」
12	堀畑 佳宏	教養教育科	900,000	0	数学におけるエコロジーの実践～複素解析学の逆数学を通じて～
	合計		10,033,190	3,725,000	

※配分額は渡し切り経費とする。 (予算額) 3,500,000
(差引残額) -225,000

【地域に根ざした特色ある研究経費】(配分上限:500千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	申請額	配分額	摘要
1	早水 庸隆	機械工学科	500,000	500,000	フィードバック流れ中における精子内イオン動態観測と機械的刺激との関連性
2	石倉 規雄	電気情報工学科	483,000	0	ガソリン発電における電力変換システムの教材製作
3	加藤 博和	教養教育科	250,000	202,000	地域と連携した主権者教育プログラムの開発
	合計		1,233,000	702,000	

※配分額は渡し切り経費とする。 (予算額) 500,000
(差引残額) -202,000

【新任・若手教員支援研究費】

(1)《新任教員支援研究費》(配分:本校に採用後2年以内の教員1名につき200千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	採用年月	配分額	摘要
1	小林 玉青	教養教育科	平成24年4月	200,000	25.9.11承認済み
2	角田 直輝	電子制御工学科	平成24年4月	200,000	25.9.11承認済み
3	藤井 貴敏	物質工学科	平成24年4月	200,000	25.9.11承認済み
4	堀畑 佳宏	教養教育科	平成24年10月	200,000	25.9.11承認済み
5	石倉 規雄	電気情報工学科	平成25年4月	200,000	25.9.11承認済み
6	徳光 政弘	電子制御工学科	平成25年4月	200,000	25.9.11承認済み
7	金澤 雄記	建築学科	平成25年4月	200,000	25.9.11承認済み
8	古清水大直	教養教育科	平成25年4月	200,000	25.9.11承認済み
	合計			1,600,000	

※配分額は渡し切り経費とする。 (予算額) 1,600,000
(差引残額) 0

(2)《若手教員支援研究費》(配分上限:1名につき200千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	申請額	配分額	摘要
1	原 圭介	機械工学科	196,000	145,000	表面処理鋼板に添加される添加剤の添加量と硬着力に関する研究
2	村田和加恵	物質工学科	200,000	180,000	発芽酵母の糖鎖系における細胞骨格の動態
3	伊達 勇介	物質工学科	195,000	0	呼吸診断用ガス検知デバイスの開発を指向した層状無機/発光性色素複合材料の創製
4	中川 右也	教養教育科	200,000	189,000	認知的アプローチを採用した実証的研究
5	大野 政人	教養教育科	167,365	132,000	股関節の内転・外転筋力に関する研究
6	小椋 弘佳	建築学科	200,000	190,000	人口分布と土地所有実態からみた国立公園の山岳信仰集落の特徴と課題に関する研究
	合計		1,158,365	836,000	

※配分額は渡し切り経費とする。 (予算額) 3,000,000
(差引残額) 564,000

【教育研究特別支援経費】

①教育分野特別支援経費

ア. 教育分野(学会等からの表彰)【配分:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	平成24年度電気・情報関連学会中国支部第63回連合大会【電気学会優秀論文発表賞】2013.2.1
2					
	合計			50,000	

(出典 総務課財務係資料)

②研究分野特別支援経費

ア. 研究分野(学会等からの表彰) 【配分:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	大塚 茂	教授	機械工学科	50,000	日本機械学会中国四国支部学生会第43回学生員卒業研究発表講演会【優秀発表賞】2013.3.8
2	矢壁 正樹	准教授	機械工学科	50,000	工作機械技術振興財団【工作機械技術振興賞(奨励賞)】2012.6.12
3	森田 慎一	教授	機械工学科	50,000	とっとり産業フェスティバル2012【ポスター研究発表優秀賞】2012.10.12
4	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	International Conference of Young Researchers on Advanced Materials2012【ICYRAM2012PosterAward】2012.7.6
5	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	22nd Symposium of Materials Research Society of Japan [Award for Encouragement of Research in Materials science] 2012.10.15
6	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	International Union of Materials Research Societies-International Conference on Electronic Materials [UMRS-ICEM2012,Silver Award of Young Scientist Award] 2012.9.28
7	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	国立高等専門学校機構【第1回高専教育論文賞】2012.8.28
	合計			350,000	

イ. 学術論文投稿支援(掲載許可を受けた論文の掲載に要した経費) 【配分上限:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	早水 庸隆	准教授	機械工学科	17,022	平成24年12月掲載 Open Journal of Fluid Dynamics
2	権田 英功	准教授	電気情報工学科	46,500	平成24年10月掲載 ハイオテディカル・ファジィ・システム学会誌
3	中島美智子	准教授	教養教育科	50,000	平成24年10月掲載 「カウンターパートイブから語るアメリカ文学」
4	松岡 祐介	助教	電気情報工学科	50,000	平成24年10月掲載 Nonlinear Theory and Its Applications,IEICE
5	中川 右也	助教	教養教育科	20,080	平成25年3月掲載 全国高等専門学校英語教育学会研究論集第32号
6	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	平成25年2月掲載 日本建築学会技術報告集
	合計			233,602	

(予算額) 1,000,000
(差引残額) -333,602

エ. 教育指導等の業績 【配分:1件につき50千円】

(学会等からの表彰)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	早水 庸隆	准教授	機械工学科	50,000	日本機械学会流体工学部門【第11回流れの夢コンテスト】【最優秀賞】2012.11.17(対象学生:安田直幸 他)
2	早水 庸隆	准教授	機械工学科	50,000	日本機械学会中国四国支部学生会第43回学生員卒業研究発表講演会【優秀発表賞】2013.3.8(対象学生:田原功一郎)
3	青木 薫	教授	物質工学科	50,000	第一回低温・水素研究会【優秀賞】2013.3.2(対象学生:高村茅重)
4	谷藤 尚貴	准教授	物質工学科	50,000	第9回高校化学グランドコンテスト【文部科学大臣賞】2012.11.4(対象学生:大江ひかる 他)
5	山口 顕司	教授	機械工学科	50,000	工作機械技術振興財団【工作機械技術振興賞・奨励賞】2012.6.12(対象学生:中澤謙一 他)
6	山口 顕司	教授	機械工学科	50,000	精密工学会中国四国支部【優秀講演賞】2012.10.6(対象学生:神村 大)
	合計			300,000	

(課外活動等)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	国民体育大会 ヨット 女子SS級優勝
2	角田 直輝	助教	電子制御工学科	50,000	全国高専体育大会 卓球 女子ダブルス優勝
3	浅倉 邦彦	准教授	電気情報工学科	50,000	全国高校体育大会 ボクシング出場
4	河野 清尊	教授	電子制御工学科	50,000	全国高専ブロンコ 自由部門審査員特別賞
5	北農 幸生	助教	建築学科	50,000	全国高専デザイン 構造デザイン部門最優秀賞・審査員特別賞
6	小椋 弘佳	助教	建築学科	50,000	全国高専デザイン 環境デザイン部門優秀賞・
7	谷藤 尚貴	准教授	物質工学科	50,000	高校化学グランドコンテスト 文部科学大臣賞・先端技術大臣特別賞・
8	森田 慎一	教授	機械工学科	50,000	スターリングテクノロジー 10Vクーラー部門・3Vクーラー部門優勝
	合計			400,000	

(出典 総務課財務係資料)

地域共同テクノセンター研究助成金制度について

資料 A - 1 - ① - 20

22.2.17 運営会議了承

1. 共同研究助成

目的: 共同研究の活性化のため、「共同研究契約」の締結された共同研究に対し研究の円滑化をはかるため助成をする。

助成: 共同研究(研究経費)契約金額の10%、限度額は15万円/件とする。ただし、原資に対し助成金の総額が過大になると判断される場合はこれを減額することが出来る。

原資: 地域共同テクノセンター運営費

2. 地域共同技術研究・開発援助費

目的: 将来本校との共同研究や受託研究等への発展的な展開を期待した萌芽的な研究に対し助成をする。

条件: すでに共同研究、受託研究、寄付金などの受け入れが行われているテーマ、もしくはそれと関連性の認められる内容のものは対象外とする。

優先順位: 優先順位を次のとおりとする。

- 1 位 米子高専振興協会「技術交流会」PROPOSAL のテーマ
- 2 位 米子高専振興協会会員企業との共同テーマ
- 3 位 その他

採択: 採択にあたっては、米子高専振興協会会長の意見を聞くことが出来る。

助成: 15万円/件以内、1件/(年度・人)、助成件数: 6件(弾力的に扱う。)

原資: 地域共同テクノセンター運営費及び振興協会からの寄付金

報告: 研究終了後、報告書を提出する。

報告書は、校内ホームページ及び地域共同テクノセンター活動報告に掲載する。但し内容の公表は、知的財産権保護の観点から申し出により掲載を省略することが出来る。

申請: 詳細は別途定める。

3. 技術相談助成

目的: 技術相談事業の活性化のための研究助成をする。

助成: 1.2万円/件 とする。ただし、原資に対し助成金の総額が過大になると判断される場合はこれを減額することが出来る。

条件: 産官からの技術相談を対象とする。すでに共同研究、受託研究、寄付金などの受け入れが行われているテーマ、若しくはそれと関連性の認められる内容のものは対象外とする。

原資: 地域共同テクノセンター運営費

申請: 詳細は別途定める。

報告: 別に定める技術相談報告書を提出する。

4. 配分の時期

(1) 共同研究助成及び技術相談助成は前期(4月から9月)実績分を10月に、後期(10月から翌年3月)実績分を4月に配分する。

(2) 地域共同技術研究・開発援助費は1月に校内募集後、新年度当初に配分する。

5. 適用

この取扱いは、平成22年度以降の助成金について適用する。

なお、平成21年12月から平成22年3月分に係る共同研究助成及び技術相談助成は改正前の助成額算出方法により算出した額を平成22年4月に配分する。

(出典 地域共同テクノセンター資料)

平成25年 共同研究助成・技術相談助成(H25.4~H25.9分)

単位:円

学 科 名	氏 名	内 訳		合 計
		共同研究助成	技術相談助成	
機 械 工 学 科	大 塚 茂	10,000	120,000	130,000
	森 田 慎 一		144,000	144,000
	山 口 顕 司		12,000	12,000
	早 水 庸 隆		12,000	12,000
	矢 壁 正 樹	30,000		30,000
	大 塚 宏 一		12,000	12,000
電 気 情 報 工 学 科	宮 田 仁 志	75,000		75,000
	田 中 博 美	27,000	12,000	39,000
	石 倉 規 雄		24,000	24,000
電 子 制 御 工 学 科	香 川 律		48,000	48,000
物 質 工 学 科	青 木 薫		108,000	108,000
	田 中 晋		12,000	12,000
	谷 藤 尚 貴	12,900	12,000	24,900
	伊 達 勇 介		96,000	96,000
建 築 学 科	高 増 佳 子		12,000	12,000
	小 椋 弘 佳	30,000		30,000
教 養 教 育 科	竹 内 彰 継		12,000	12,000
合 計		184,900	636,000	820,900
件 数		7件	53件	

※ H25.10.2 運営会議了承

地域共同テクノセンターから上記のとおり予算振替願います。

財源:授業料収入(教育研究費)地域連携経費

平成25年10月2日

総務課 企画・社会連携係長

田中大輔



(出典 地域共同テクノセンター資料)

取扱注意

資料A-1-①-22

◎平成25年度地域共同技術研究・開発援助費申請一覧

共同研究題目	申請者(代表)	優先順位	決定額	財源	研究終了予定	予算
1 ベーントップR研削ヤケ防止に関する基礎研究	山口順司	1位	150,000円	地域共同テクノセンター 寄附金 共同研究助成金	25年度末	寄附金収入 (寄附金) 共同研究助成事業
2 リチウムイオン電池を用いたLEDソーラー照明システムの開発	宮田仁志	1位	150,000円	地域共同テクノセンター 寄附金 共同研究助成金	26年度末	寄附金収入 (寄附金) 共同研究助成事業
3 災害時避難誘導のためのネットワーク対応モニタリング・ロボットの試作	香川 律	2位	150,000円	地域共同テクノセンター 寄附金 共同研究助成金	25年度末	寄附金収入 (寄附金) 共同研究助成事業
4 食品に対する圧力・氷温併用処理効果の基礎的検討	藤井貴敏	2位	150,000円	地域共同テクノセンター 寄附金 共同研究助成金	26年度末	寄附金収入 (寄附金) 共同研究助成事業
5 LVL トライアングルユニットを用いた新架橋システムの開発	稲田祐二	2位	150,000円	地域共同テクノセンター 教育研究費 地域連携経費	26年度末	授業料収入 (教育研究費) 地域連携経費
6 金属を複合化した竹炭によるガス吸着特性の評価	伊達勇介	3位	75,000円	地域共同テクノセンター 教育研究費 地域連携経費	26年度末	授業料収入 (教育研究費) 地域連携経費
7 建築設備の実測モニターシステム開発に関する研究	前原勝樹	3位	75,000円	地域共同テクノセンター 教育研究費 地域連携経費	25年度末	授業料収入 (教育研究費) 地域連携経費

※ H25.3.19 運営会議了承

地域共同テクノセンターから上記のとおり予算振替願います。

1~4について 財源：寄付金収入（寄附金）共同研究助成事業
5~7について 財源：授業料収入（教育研究費）地域連携経費

平成25年4月9日

総務課 企画・社会連携係長
田中 大 輔

(出典 地域共同テクノセンター資料)

○外部資金受入れに係る間接経費の取扱いに関する申合せ

資料A-1-①-23

平成17年4月1日

校長裁定

平成20年4月1日

一部改訂

平成22年4月1日

一部改訂

平成25年4月1日

一部改訂

1. 目的

この申合せは、本校が外部の機関（以下「外部機関」という。）から外部資金を受け入れる場合の間接経費の額及びその使途等について定めることを目的とする。

2. 定義

(1) 外部資金

- ① 共同研究において外部機関が負担する経費
- ② 受託研究経費
- ③ 受託事業費
- ④ 寄附金
- ⑤ 科学研究費補助金
- ⑥ その他上記に準じるもの

(2) 間接経費

外部資金による研究を遂行するために必要となる本校施設の使用料、光熱水費等の経費

3. 間接経費の留保

外部資金を受け入れる場合は、4. に定める間接経費の額を本校に留保するものとする。

4. 間接経費の額

間接経費の額は、次の各項に定めるものとする。ただし、千円未満の端数を生じたときは、特段の定めのない限りこれを切り捨てた額とする。

- (1) 共同研究の間接経費については、独立行政法人国立高等専門学校機構共同研究実施規則によるものとする。
- (2) 受託研究及び受託事業の間接経費については、独立行政法人国立高等専門学校機構受託研究実施規則によるものとする。
- (3) 寄附金（学術研究に要する経費に限る。）

寄附金額のうち5%に相当する額

(出典 地域共同テクノセンター資料)

資料 A-1-②-1 平成 24 年度

【 学術表彰の受賞者一覧表 】

※ 平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日までの間に教育・研究上の業績が認められ、特に権威のある学術上の表彰を受けた場合の自己申請

所属学科	職名	氏名	受賞年月日	賞名及び主催者名	備考
機械工学科	教授	大塚 茂	平成24年3月7日	優秀発表賞 日本機械学会中国四国学生会第42回学生員卒業研究発表講演会	学生受賞
機械工学科	教授	大塚 茂	平成24年6月12日	工作機械技術振興賞(奨励賞) 公益財団法人工作機械技術振興財団	
機械工学科	教授	松本 至	平成24年3月7日	優秀発表賞 日本機械学会中国四国学生会第42回学生員卒業研究発表講演会	学生受賞
機械工学科	教授	森田 慎一	平成24年11月9日	優勝(5年連続) 第16回スターリングテクノロジー	学生受賞
機械工学科	教授	矢壁 正樹	平成24年6月12日	工作機械技術振興賞(奨励賞) 公益財団法人工作機械技術振興財団	
機械工学科	教授	山口 顕司	平成24年6月12日	工作機械技術振興賞(奨励賞) 公益財団法人工作機械技術振興財団	
機械工学科	助教	権田 岳	平成24年10月27日	入賞(生物1位, 物理2位, 化学3位) 科学の甲子園鳥取県大会(実験部門)	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成24年7月6日	ポスター賞 先端材料分野における若手研究者の国際学会 (国際学会ICYRAM)	
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成24年8月9日	優秀発表賞 豊橋技術科学大学-高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成24年8月28日	優秀ポスター賞(2件) 日本高専学会第18回年会	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成24年9月28日	Yong Scientist Award - Silver Award 国際材料研究学会-電子材料国際会議	
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成24年10月15日	材料科学研究における奨励賞 第22回日本材料研究学会学術シンポジウム	
電子制御工学科	教授	河野 清尊	平成24年10月14日	特別賞 全国高専第23回プログラミングコンテスト (自由部門)	学生受賞

(出典 総務課人事労務係資料)

【 学術表彰の受賞者一覧表 】

資料A-1-②-1 平成25年度

※ 平成25年1月1日～平成25年12月31日までの間に教育・研究上の業績が認められ、
特に権威のある学術上の表彰を受けた場合の自己申請

所属学科	職名	氏名	受賞年月日	賞名及び主催者名	備考
機械工学科	教授	大塚 茂	平成25年3月7日	優秀発表賞 日本機械学会中国四国学生会第43回学生員卒業研究発表講演会	学生受賞
機械工学科	教授	森田 慎一	平成25年11月9日	優勝 第17回スターリングテクノロジー	学生受賞
機械工学科	准教授	早水 庸隆	平成25年3月7日	優秀発表賞 日本機械学会中国四国学生会第43回学生員卒業研究発表講演会	学生受賞
電気情報工学科	教授	宮田 仁志	平成25年10月13日	最優秀論文賞 バイオメディカル・ファジィ・システム学会	
電気情報工学科	准教授	権田 英功	平成25年10月13日	最優秀論文賞 バイオメディカル・ファジィ・システム学会	
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成25年2月1日	電気学会中国支部奨励賞(3件) 電気・情報関連学会中国支部第63回連合大会	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成25年3月8日	電気学会中国支部長賞 電気学会中国支部第5回高専研究発表会	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成25年7月6日	Best Poster Award International Conference on Materials for Advanced Technologies 2013(先端技術のための材料に関する国際学会)	
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成25年8月23日	優秀発表賞 豊橋技術科学大学-高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	学生受賞
電気情報工学科	准教授	田中 博美	平成25年9月2日	Award NIMS Internship Program 2013	学生受賞
電子制御工学科	教授	河野 清尊	平成25年3月7日	特別賞(グリー賞・三三賞) 第2回起業家甲子園	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年3月3日	協力企業社賞(株式会社ワイエムシー賞) 第2回サイエンス・インカレ	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年3月25日	最優秀賞 高校生研究発表会(日本農芸化学会主催)	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年5月11日	最優秀プレゼンテーション賞 中国四国地区生物系三学会合同大会	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年9月1日	奨励賞 第19回日本高専学会年会	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年9月18日	ポスター賞 第16回ヨウ素学会シンポジウム	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成25年11月4日	大阪市長賞・パナソニック賞 第10回高校化学グランドコンテスト	学生受賞
建築学科	准教授	前原 勝樹	平成25年6月14日	論文賞(学術論文部門) 第51回空調調和・衛生工学会賞	

所属学科	職名	氏名	受賞年月日	賞名及び主催者名	備考
物質工学科	准教授	櫻間 由幸	平成24年8月9日	優秀発表賞 豊橋技術科学大学-高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	学生受賞
物質工学科	准教授	櫻間 由幸	平成24年9月8日	優秀ポスター賞 第28回若手研究者のための化学道場 一島根2012-	学生受賞
物質工学科	准教授	櫻間 由幸	平成24年10月27日	入賞(生物1位, 物理2位, 化学3位) 科学の甲子園鳥取県大会(実験部門)	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成24年2月19日	最優秀賞 第1回サイエンス・インカレ(卒業研究部門)	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成24年3月1日	理事長特別表彰 平成23年度独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成24年7月24日	特別賞 第26回独創性を拓く先端技術大賞(学生部門)	学生受賞
物質工学科	准教授	谷藤 尚貴	平成24年11月4日	最優秀賞(文部科学大臣賞)(2年連続) 第9回高校化学グランドコンテスト	学生受賞
建築学科	准教授	細田 智久	平成24年8月28日	高専論文賞 国立高等専門学校機構 ※連名: 熊谷昌彦, 小椋弘佳	
一般科目	准教授	大庭 経示	平成24年8月28日	高専論文賞 国立高等専門学校機構	

(出典 総務課人事労務係資料)

電気情報工学科・田中博美准教授がAward for Encouragement of Research in Materials Scienceを受賞

部署 : 総務係
公開日時 : '12/12/21



9月23日(日)~25日(火)横浜みなとみらいで開催された第22回日本MRS学術シンポジウム(MRS: Material Research Society)において、電気情報工学科 田中博美准教授が優れた研究内容を評価され、Award for Encouragement of Research in Materials Science (奨励賞)を受賞しました。発表テーマは“Hydrogen Storage in High Temperature Superconductor (高温超伝導体における水素吸蔵)”であり、高温超伝導体が水素を吸蔵する能力があることを発見したという内容でした。この発見により、高温超伝導体を燃料電池の材料としても利用できる可能性が広がりました。

この賞は選考対象者、約120名の中から選出された受賞でした(受賞者数:6名)。また、本受賞は前回大会に続き、2年連続での受賞でした。このたび、齊藤校長へ受賞の報告を行いました。

国際学会ICYRAMでPoster Awardを受賞

部署 : 総務係
公開日時 : '12/09/24



7月1日(日)~6日(金)シンガポールのBiopolisで開催された国際学会International Conference of Young Researchers on Advanced Materials 2012 (ICYRAM:先端材料分野における若手研究者の国際学会)において、電気情報工学科 田中博美准教授が優れた研究内容を評価され、Poster Awardを受賞しました。発表テーマは“Growth of High Temperature Superconducting Single Crystal with High-Performance Controlling Nanosized Structural Defect (ナノサイズ構造至制御による高機能高温超伝導単結晶の作製)”であり、高い電気的性能を持つ高温超伝導体の作製を実現できたという内容でした。

このPoster Awardは、選考対象者約700名の中から選出された受賞でした(受賞者数:計20名)。なお、日本人による受賞は東北大学と米子高専の2件のみでした。また、高専教員による受賞は初であり、快挙であると言えます。



電気情報工学科・田中博美准教授が国際学会ICMATで Best Poster Awardを受賞しました。

部署 : 総務係
公開日時 : '13/07/10



6月30日(日)~7月5日(金)シンガポールで開催された国際学会 International Conference on Materials for Advanced Technologies 2013(ICMAT:先端技術のための材料に関する国際学会)において、電気情報工学科 田中博美准教授が優れた研究内容を評価され、Best Poster Awardを受賞し、このたび、齊藤校長へ受賞の報告を行いました。

(上) 受賞式の様子(ノーベル化学賞受賞者Alan Heeger博士より授与される)

発表テーマは“Novel Method to Fabricate Intrinsic Josephson Junction Using Hydrogen-Annealing Effect (水素アニール効果を利用した固有ジョセフソン接合の新規作製法)”であり、高温超伝導体の磁気センサー応用につながる重要な結果が得られたという内容でした。このBest Poster Awardは、選考対象者約1,000名の中から選出された受賞でした(受賞者数:計27名)。また、本受賞は前回大会に続き、2大会連続での受賞でした。



(出典 校外向け Web ページ抜粋)

学生表彰推薦書

1 特別優秀賞

Table with columns: 被推薦者 (Category, Department, Year, Student Name), 大会等の名称 (Competition Name), 成績 (Result). Includes categories like スターリングエンジン, ヨット, 建築, 水泳, デザコン, 専攻科.

学生表彰推薦書

2 優秀賞

Table with columns: 被推薦者 (Category, Department, Year, Student Name), 大会等の名称 (Competition Name), 成績 (Result). Includes categories like 陸上, バスケット, 卓球.

学生表彰推薦書

2優秀賞

団体名	被推薦者	大会等の名称	成績	
柔道	物質工学科 第3学年 南口 弓子	第48回中国地区高等専門学校体育大会柔道競技	1位	
	物質工学科 第3学年 南口 弓子	第47回全国高等専門学校体育大会柔道競技	3位	
ハンドボール	物質工学科 第5学年 牧田 仁		3位	
	物質工学科 第5学年 立瀬 大雅		3位	
	電気情報工学科 第5学年 種藤 聖		3位	
	電気情報工学科 第5学年 野口 真一郎		3位	
	電気情報工学科 第5学年 玉井 将也		3位	
	物質工学科 第4学年 武良 亮介		3位	
	物質工学科 第4学年 山根 創		3位	
	建築学科 第4学年 石賀 恵太		3位	
	電気情報工学科 第3学年 荒木 宏平	第47回全国高等専門学校体育大会ハンドボール競技	3位	
	電気情報工学科 第3学年 阿部 舜也		3位	
	機械工学科 第2学年 岸立 拓也		3位	
	建築学科 第2学年 山田 尊希		3位	
	機械工学科 第2学年 谷口 勇人		3位	
	電気情報工学科 第2学年 福田 駿		3位	
水泳	建築学科 第5学年 瀨元沙也加		3位	
	建築学科 第2学年 中田 希望		3位	
	建築学科 第5学年 村尾 太一	第65回鳥取県選手権水泳競技大会男子200m平泳ぎ	1位	
	建築学科 第5学年 村尾 太一	第65回鳥取県選手権水泳競技大会男子100m平泳ぎ	2位	
	建築学科 第5学年 村尾 太一	第65回鳥取県選手権水泳競技大会男子400mリレー	3位	
	建築学科 第5学年 村尾 太一	第64回中国五県対抗水泳競技大会鳥取県予選会男子60m平泳ぎ	3位	
	建築学科 第5学年 村尾 太一	第64回中国五県対抗水泳競技大会鳥取県予選会男子100m平泳ぎ	2位	
	物質工学科 第3学年 福楽 幹平	第66回鳥取県選手権水泳競技大会男子400mリレー	3位	
	建築学科 第2学年 森田 悠史	平成24年度鳥取県高等学校総合体育大会水泳競技男子100m平泳ぎ	2位	
	機械工学科 第2学年 森田 悠史	第65回鳥取県選手権水泳競技大会男子400mリレー	3位	
	電気情報工学科 第1学年 池内 悠人	平成24年度鳥取県高等学校総合体育大会水泳競技男子1500m自由形	3位	
	電気情報工学科 第1学年 澤田 遠平	平成24年度(62回)鳥取県高校新人水泳競技大会男子50m自由形	3位	
	電気情報工学科 第1学年 澤田 遠平	第65回鳥取県選手権水泳競技大会男子400mリレー	3位	
	ヨット	物質工学科 第5学年 平岡 拓洋	第67回国民体育大会鳥取予選会	1位
物質工学科 第5学年 平岡 拓洋		第67回国民体育大会セーリング競技会 天皇杯団体	8位	
電気情報工学科 第3学年 西尾 知美		平成24年度鳥取県高校総体鳥取県予選ヨットの部	2位	
電気情報工学科 第3学年 西尾 知美		第67回国民体育大会鳥取予選会	1位	
電気情報工学科 第3学年 西尾 知美		第67回国民体育大会セーリング競技会	1位	
機械工学科 第2学年 倉田 康平		平成24年度鳥取県園以降総体鳥取県予選ヨットの部	3位	
電気情報工学科 第2学年 倉田 康平		第26回全国高等学校選抜ヨット選手権大会(鳥取大会)	1位	
機械工学科 第1学年 平岡 智磨		第67回国民体育大会鳥取予選会	1位	
電子制御工学科 第5学年 横山 大志		第47回全国高等専門学校体育大会テニス競技(男子ダブルス)	3位	
電子制御工学科 第5学年 藤井 駿哉			3位	
建築学科 第3学年 吉岡 大輝			2位	
物質工学科 第3学年 竹内 和也			2位	
物質工学科 第3学年 七瀬 浩希			2位	
物質工学科 第3学年 井田 健太郎			2位	
テニス	電気情報工学科 第3学年 井中 雄也		2位	
	電気情報工学科 第3学年 角 龍彦	平成24年度鳥取県高校総体鳥取県予選テニスの部(団体)	2位	
	電気情報工学科 第3学年 梅林 浩規		2位	
	電子制御工学科 第3学年 笠原 慎		2位	
	物質工学科 第2学年 阿部 和弥		2位	
	機械工学科 第2学年 藤澤 康太		2位	
	機械工学科 第2学年 竹内 大貴		2位	
	機械工学科 第2学年 和田 直樹		2位	
	建築学科 第1学年 中山 貴裕	平成24年度鳥取県高校総体鳥取県予選空手道の部 男子個人形	3位	
	建築学科 第1学年 中山 貴裕	平成24年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子個人形	2位	
	建築学科 第1学年 中山 貴裕		2位	
	機械工学科 第1学年 泉山 晴規		2位	
	機械工学科 第1学年 福光 偉太郎	平成24年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位	
	空手	機械工学科 第1学年 宮本 凌輝		2位
建築学科 第1学年 新宮 嘉平			2位	
建築学科 第1学年 平野 達太			2位	
電気情報工学科 第3学年 岡本 美紀			3位	
電気情報工学科 第1学年 生田 悠華		平成24年度鳥取県高校総体鳥取県予選空手道の部 女子団体組手	3位	
建築学科 第1学年 木下 聖哉			3位	
科学		電気情報工学科 第3学年 林原 真史		入選
		物質工学科 第3学年 大脇 秀捷		入選
		物質工学科 第3学年 加山 謙一		入選
		物質工学科 第3学年 川上 優太		入選
		物質工学科 第3学年 久古 貴得	2012年「天文ガイド」3月号読者の天体写真月例コンテスト	入選
		物質工学科 第3学年 富田 拓也	2012年「天文ガイド」4月号読者の天体写真月例コンテスト	入選
		物質工学科 第3学年 渡多野 瑠	2012年「天文ガイド」12月号読者の天体写真月例コンテスト	入選
		物質工学科 第3学年 渡多野 瑠	2013年「天文ガイド」1月号読者の天体写真月例コンテスト	入選
	物質工学科 第2学年 笹谷 航		入選	
	物質工学科 第1学年 田原 早太郎		入選	
	物質工学科 第1学年 水見 翔奈		入選	
	物質工学科 第4学年 谷村 幸太		1位	
	機械工学科 第4学年 新田 晃大		1位	
	電気情報工学科 第4学年 平木 飛鳥	第16回スターリングテクノロジー100Vクラス部門	1位	
スターリングエンジン	機械工学科 第3学年 石賀 博志		1位	
	電気情報工学科 第3学年 影岡 大輔		1位	
	電気情報工学科 第3学年 山根 大典		1位	
	機械工学科 第2学年 高津 昇吾		1位	
	電子制御工学科 第2学年 清水 航		1位	
	機械工学科 第1学年 影岡 翔太		1位	
	機械工学科 第1学年 影山 千香		1位	
	機械工学科 第1学年 平野 翔哉		1位	
	機械工学科 第1学年 渡邊 航大		1位	
	電気情報工学科 第1学年 山田 集		1位	
	電子制御工学科 第1学年 大杉 隼人	第16回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	3位	
	電子制御工学科 第1学年 澤田 将吾		3位	
	建築学科 第1学年 小川 桂吾		3位	
	機械工学科 第4学年 佐藤 浩一		3位	
電気情報工学科 第4学年 富尾 信也		3位		
電気情報工学科 第4学年 坂野 俊彦		6位		
電気情報工学科 第4学年 山西 晋太郎		6位		
機械工学科 第4学年 柴田 夏菜		6位		

資料 A - 1 - ② - 3

学生表彰推薦書

2 優秀賞				大会等の名称		成績
団体名	学科	学年	学生氏名			
放送	建築学科	第3学年	松本 里佳子			
	電子制御工学科	第3学年	※西尾 彰加			
	建築学科	第3学年	若本 直樹			
	建築学科	第3学年	菊 隆太郎			
	建築学科	第3学年	田中 優哉			
	電気情報工学科	第2学年	楠田 雄馬	第59回NHK杯全国高校放送コンテスト・全国大会		
	電気情報工学科	第2学年	※勝部 佳輝	制作ラジオドラマ部門 準優勝(2位)		
	電気情報工学科	第2学年	可知 佳晃	制作テレビドラマ部門 制作奨励(同率11位)		
	電気情報工学科	第2学年	小西 那奈	テレビドキュメント部門 出場		
	電子制御工学科	第2学年	田原 健太郎	ラジオドキュメント部門 出場		
	電子制御工学科	第2学年	※小森 輝			
	電気情報工学科	第2学年	※中野 真吾			
	電気情報工学科	第2学年	澤田 暉伊里			
	物質工学科	第2学年	村上 明音			
	電子制御工学科	第2学年	内田 幸佑			
	機械工学科	第2学年	榎藤 正也			
	機械工学科	第1学年	※武田 成洋	第59回NHK杯全国高校放送コンテスト・鳥取県大会		
	電気情報工学科	第1学年	石田 平雷	制作テレビドラマ部門 最優秀(1位)		
	電気情報工学科	第1学年	※金賀 朝明	制作ラジオドラマ部門 最優秀(1位)		
	電子制御工学科	第1学年	恩田 悠彦	テレビドキュメント部門 最優秀(1位)		
	電気情報工学科	第1学年	葛藤 真吾	ラジオドキュメント部門 最優秀(1位)		
	電気情報工学科	第1学年	香 尚史			
	電気情報工学科	第1学年	※谷口 正明			
	電子制御工学科	第1学年	小椋 創太			
	電子制御工学科	第1学年	※山根 匡翔			
	物質工学科	第1学年	※竹内 彩緒実			
	物質工学科	第1学年	田中 佑季			
	物質工学科	第1学年	谷口 聖空子			
	建築学科	第1学年	※荒田 俊利	※印の学生のみ下記功績も追加		
	建築学科	第1学年	※高下 弘路	3分映画賞 奨励賞(3位相当)		
建築学科	第1学年	田口 舞				
建築学科	第1学年	※高山 瑞穂				
書道	電気情報工学科	第4学年	前田 果徳	第17回全日本高校・大学生書道展		展覧
	物質工学科	第4学年	増田 朋			優秀賞
ボート	機械工学科	第1学年	二島 雅英	第47回鳥取県高等学校総合体育大会ボート競技の部		3位
	電気情報工学科	第3学年	松水 勝利	平成24年度第6回中国高等学校ボクシング選手権大会		ベスト4
ボクシング	電気情報工学科	第3学年	松水 勝利	平成24年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技 パンタム級		出場
	機械工学科	第1学年	恩田 晃匠	中国3x3カール4人制カールリング選手権大会		1位
カヌー	建築学科	第5学年	竹本 悠里	第26回全国高校電気機器取組大会		1位
	電子制御工学科	第4学年	近藤 静			
プロコン	電子制御工学科	第4学年	木山 雄太	全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門		特別賞
	電子制御工学科	第4学年	野見 知洋			
	電子制御工学科	第4学年	盛山 寛之介			
	電子制御工学科	第4学年	田中 雄介			
デザイン	建築学科	第5学年	浦本 博之			最優秀賞
	建築学科	第4学年	石賀 恵大			
	機械工学科	第1学年	渡部 航大			
	建築学科	第1学年	高田 穂乃香			
	建築学科	第1学年	坪倉 那奈	全国高等専門学校デザインコンペティション2012 in 小山 構造デザインコンペティション部門		
	建築学科	第1学年	菅原 杏葉			
	建築学科	第5学年	尾立 恵理子			
	建築学科	第5学年	安達 知里			
	建築学科	第4学年	上田 信良			
	建築学科	第4学年	藤原 淳			
	建築学科	第4学年	岡崎 椋平			
	建築学科	第5学年	藤山 愛己			
建築学科	第5学年	清水 悠里	全国高等専門学校デザインコンペティション2012 in 小山 空間デザインコンペティション部門		優秀賞	
外国語	物質工学科	第4学年	長谷川 美桜	第28回中国地区高等専門学校英語弁論大会スピーチ部門		1位
	物質工学科	第2学年	竹信 龍	第31回さんいん珠算競技大会個人総合(中学校以上の部)		3位
珠算	物質工学科	第2学年	竹信 龍	第31回さんいん珠算競技大会総上級(中学校以上の部)		3位
	物質工学科	第2学年	竹信 龍	第31回さんいん珠算競技大会フラスコ級(中学校以上の部)		2位
	物質工学科	第2学年	竹信 龍			
機械	機械工学科	第2学年	澤田 龍一			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	岩田 寛大			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	中西 明日可	科学の甲子園鳥取県大会		実験部門(生物2位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	持田 宝			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	山根 映介			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	山尾 涼介			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第2学年	山村 章人			実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
	機械工学科	第5学年	井田 康夫	第11回流れの夢コンテスト		最優秀賞
	機械工学科	第5学年	岡本 百合子	日本設計工学会武蔵栄次賞優秀学生賞		受賞
	機械工学科	第5学年	神村 大	2012年度精密工学会中国四国支部高根地方講演会		優秀講演賞
電気	機械工学科	第5学年	北村 慎章			最優秀賞
	機械工学科	第5学年	田原 功一郎	第11回流れの夢コンテスト		最優秀賞
	機械工学科	第5学年	松田 有加			最優秀賞
	電気情報工学科	第5学年	上本 光太	平成24年度(第68回)電気・情報関連学会中国支部連合大会		奨励賞
	電気情報工学科	第5学年	角 浩志	平成24年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会		奨励賞
	電気情報工学科	第5学年	角 浩志	第18回日本高専学会年会講演会		奨励賞
	電気情報工学科	第5学年	松本 凌	平成24年度(第68回)電気・情報関連学会中国支部連合大会		優秀ポスター賞
	物質工学科	第2学年	田中 美樹	第9回高校化学グランプリコンテスト		奨励賞
	物質工学科	第2学年	若原 千晶	第9回高校化学グランプリコンテスト		文部科学大臣賞
	物質工学科	第2学年	大木 悠平	科学の甲子園鳥取県大会		実験部門(生物1位、物理2位、化学3位)
物質	物質工学科	第3学年	井田 健太郎	中国四国地区生物系三学会(日本動物学会中国四国支部会・中国四国植物学会・日本生徳学会中国四国地区会)合同大会		最優秀プレゼン賞
	物質工学科	第3学年	井田 健太郎	第9回高校化学グランプリコンテスト		文部科学大臣賞
	物質工学科	第3学年	遠藤 未来	中国四国地区生物系三学会(日本動物学会中国四国支部会・中国四国植物学会・日本生徳学会中国四国地区会)合同大会		最優秀プレゼン賞
	物質工学科	第3学年	遠藤 未来	第9回高校化学グランプリコンテスト		文部科学大臣賞
	物質工学科	第3学年	遠藤 未来	ジュニア農業化学会2012		最優秀賞
	物質工学科	第3学年	大江 ひかる	中国四国地区生物系三学会(日本動物学会中国四国支部会・中国四国植物学会・日本生徳学会中国四国地区会)合同大会		最優秀プレゼン賞
	物質工学科	第3学年	大江 ひかる	第9回高校化学グランプリコンテスト		文部科学大臣賞
	物質工学科	第3学年	大江 ひかる	ジュニア農業化学会2012		最優秀賞
	物質工学科	第3学年	西尾 幸祐	中国四国地区生物系三学会(日本動物学会中国四国支部会・中国四国植物学会・日本生徳学会中国四国地区会)合同大会		最優秀プレゼン賞
	物質工学科	第3学年	西尾 幸祐	第9回高校化学グランプリコンテスト		文部科学大臣賞

資料 A - 1 - ② - 3

学生表彰推薦書

2. 優秀賞

団体名	被推薦者	大会等の名称	成績		
学科	学年	学生氏名			
物質	物質工学科	第4学年	安部 希綱	ジュニア農芸化学会2012	金賞(最優秀賞)
	物質工学科	第4学年	春川 奈緒子	ジュニア農芸化学会2012	金賞(最優秀賞)
	物質工学科	第4学年	魚水 早月	ジュニア農芸化学会2012	金賞(最優秀賞)
	物質工学科	第4学年	谷輪 弥香	ジュニア農芸化学会2012	金賞(最優秀賞)
	物質工学科	第5学年	浅中 美希	Asia Science Camp 2012	金賞(最優秀賞)
	物質工学科	第5学年	横山 聡美	曹橋技術科学大学 高専進修教育研究プロジェクト学生成果報告会	派遣員選出
	物質工学科	第5学年	横山 聡美	Asia Science Camp 2012	優秀発表賞
	物質工学科	第5学年	門脇 演奈	第28回若手化学者のための化学道場島根2012	派遣員選出
	物質工学科	第5学年	赤井 大気	日本化学会西日本大会	優秀ポスター賞
	物質工学科	第5学年	松井 穂出	2012 ハロゲン利用ミニシンポジウム	優秀ポスター賞
建築	建築学科	第3学年	安部 夏緑	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	努力賞
	建築学科	第3学年	松本 萌夏	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	努力賞
	建築学科	第4学年	千原 那月	ジュニア農芸化学会2012	金賞(最優秀賞)
	建築学科	第5学年	山根 万寿	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	最優秀賞
	建築学科	第5学年	清水 俊里	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	最優秀賞
	建築学科	第5学年	林原 孝樹	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	優秀賞
	建築学科	第5学年	松崎 翔洋	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	優秀賞
	建築学科	第5学年	村山 隼介	平成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト	優秀賞
	専攻科	第1学年	荒木 優一	曹橋技術科学大学 高専進修教育研究プロジェクト学生成果報告会	優秀発表賞
	専攻科	第1学年	荒木 優一	第18回日本高専学会年会講演会	優秀ポスター賞
専攻科	専攻科	第1学年	遠藤 弘樹	第11回流れの夢コンテスト	最優秀賞
	専攻科	第1学年	中澤 諒一	工作機械技術振興賞	奨励賞
	専攻科	第2学年	河本 悠平	平成24年度技術士第一次試験機械部門(技術士補)	合格
	専攻科	第2学年	富谷 真吾	第18回日本高専学会年会講演会	優秀ポスター賞
	専攻科	第2学年	富谷 真吾	平成24年度(第63回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	奨励賞
	専攻科	第2学年	西林 祐弥	工作機械技術振興賞	奨励賞
	専攻科	第2学年	安田 直幸	第11回流れの夢コンテスト	最優秀賞
	専攻科	第2学年	渡邊 健太	廃棄物資源循環学会研究討議会	最優秀賞ポスター賞

資料 A-1-②-3

資料 4

H26.3 教員会議資料

1 特別優秀賞

団体名	学科	学年	学生氏名	大会等の名称	成績	
学業優秀	物質工学専攻	第2学年	末福 至	学業優秀, 日本化学会中国四国支部支部長賞		
	機械工学科	第5学年	高山 貞之	学業優秀, 日本機械学会岡山賞		
	電気情報工学科	第5学年	前田 果彦	学業優秀, 電気・情報関連学会中国支部賞		
	電子制御工学科	第5学年	高橋 健太郎	学業優秀, 電気・情報関連学会中国支部賞		
	物質工学科	第5学年	廣水 卓月	学業優秀, 日本化学会中国四国支部支部長賞		
スターリングエンジン	機械工学科	第5学年	谷村 幸太	第13回スターリングテクノロジー4Vクラス部門	2位	
				第14回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
				第15回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
				第16回スターリングテクノロジー100Vクラス部門	1位	
				第14回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
	電気情報工学科	第5学年	平本 飛鳥	第15回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
				第16回スターリングテクノロジー100Vクラス部門	1位	
				第13回スターリングテクノロジー4Vクラス部門	2位	
				第14回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
				第15回スターリングテクノロジー3Vクラス部門	1位	
柔道	電気情報工学科	第5学年	中曾 智史	第49回中国四国地区高等学校体育大会柔道競技 男子90kg超級	1位	
				第46回中国四国地区高等学校体育大会柔道競技 (男子個人90kg超級)	1位	
				第46回全国高等学校体育大会柔道競技 90kg超級	3位	
				第48回全国高等学校体育大会 柔道 男子個人 90kg超級	3位	
				第49回中国高等学校ヨット選手権大会 女子F級デュエット	2位	
	ヨット	建築学科	第5学年	砂原 香葉奈	平成21年度全国高等学校総合体育大会 女子F級ソロ	出場 (33位)
					第50回中国高等学校ヨット選手権大会 女子F級ソロ (第51回全国高等学校ヨット選手権大会中国水域予選会)	5位
					第50回中国高等学校ヨット選手権大会 女子F級デュエット (第51回全国高等学校ヨット選手権大会中国水域予選会)	2位
					平成22年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 女子F級ソロ (インターハイ)	37位
					第51回中国高等学校ヨット選手権大会 女子F級ソロ (第52回全国高等学校ヨット選手権大会中国水域予選会)	6位
ハンドボール				平成23年度第46回県高校総合体育大会 ヨット競技の部FJ級 (国体予選を兼ねる) 一団出場権獲得	1位	
				第66回国民体育大会 (おいでませ山口国体) セーリング競技 少年女子SS級	17位	
				第47回全国高等学校体育大会ハンドボール競技	3位	
デザコン	建築学科	第5学年	石賀 忠太	全国高等専門学校デザインコンペティション2012 in 小山 構造デザインコンペティション部門	最優秀賞	
				全国高等専門学校デザインコンペティション2013 in 米子 環境デザイン部門	優秀賞	
バスケットボール				第46回全国高等学校体育大会バスケットボール(女子)競技	3位	
デザコン	建築学科	第5学年	藤山 愛己	第46回県高校総合体育大会 ヨット競技の部FJ級 (国体予選を兼ねる) 一団出場権獲得	1位	
				全国高等専門学校デザインコンペティション2012 in 小山 構造デザインコンペティション部門	審査員特別賞	
				全国高等専門学校デザインコンペティション2013 in 米子 構造デザイン部門	最優秀賞	
				全国高等専門学校第21回プログラミングコンテスト自由部門	特別賞	
				全国高等専門学校第22回プログラミングコンテスト競艇部門	特別賞	
	ブロン	電子制御工学科	第5学年	鷺見 知洋	全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門	特別賞
					全国高等専門学校第22回プログラミングコンテスト競艇部門	特別賞
					全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門	特別賞
					第8回高校化学グランドコンテスト	文部科学大臣賞
					生物系三学会中国四国支部大会	最優秀賞
物質	物質工学科	第5学年	安部 希樹	ジュニア農芸化学会2012	金賞 (最優秀賞)	
				第19回日本高専学会年会	奨励賞	
				第16回ヨウ素学会シンポジウム	ポスター賞	
				第8回高校化学グランドコンテスト	文部科学大臣賞	
				生物系三学会中国四国支部大会	最優秀賞	
	物質工学科	第5学年	香川 奈緒子	ジュニア農芸化学会2012	金賞 (最優秀賞)	
				第19回日本高専学会年会	奨励賞	
				第8回高校化学グランドコンテスト	文部科学大臣賞	
				生物系三学会中国四国支部大会	最優秀賞	
				ジュニア農芸化学会2012	金賞 (最優秀賞)	
専攻科	専攻科	第2学年	荒木 優一	平成24年度 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	優秀発表賞	
				平成24年度 第18回日本高専学会年会講演会	優秀ポスター賞	
				平成25年度 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会	優秀発表賞	
				平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	電気学会中国支部奨励賞	
				平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	情報処理学会中国支部奨励賞	

資料 A - 1 - ② - 3

2 優秀賞

団体名	学科	学年	学生氏名	大会等の名称	成績	
陸上競技	電気情報工学科	第3学年	山崎 克海	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子走幅跳	2位	
				第48回全国高等学校体育大会 男子走幅跳	2位	
				第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般男子走幅跳	2位	
	電気情報工学科	第4学年	小谷 健太	第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般男子走幅跳	2位	
				第3学年 藤部 信彦	第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般男子走幅跳	3位
				第3学年 亀井 信之介	第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般男子走幅跳	2位
	物理工学科	第1学年	中村 国裕	第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般男子走幅跳	3位	
				第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位	
				第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子陸上投	1位	
	電子制御工学科	第4学年	森原 有枝	第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位	
				第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR オープン	1位	
				第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位	
物理工学科	第2学年	清川 雅月	第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR オープン	1位		
物理工学科	第2学年	松井 千佳	第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子800m	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR オープン	1位		
建築学科	第2学年	橋本 涼華	第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR オープン	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子総合	1位		
建築学科	第1学年	田川 桜	第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR オープン	1位		
			第56回鳥取県高等学校新人陸上競技大会兼中国高校新人選手権大会 女子やり投げ	2位		
			第24回全長杯陸上競技選手権大会 高校・一般女子やり投げ	1位		
卓球	機械工学科	第5学年	飯田 京佑	第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
	電気情報工学科	第5学年	米田 俊一	第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
				第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
	物理工学科	第5学年	野見 昌史	第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
				第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
	機械工学科	第4学年	松原 一喜	第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	2位	
				第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
	電気情報工学科	第4学年	河本 航大	第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	2位	
				第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
	電子制御工学科	第4学年	石塚 智大	第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	2位	
				第48回全国高等学校体育大会 団体	2位	
				第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位	
電子制御工学科	第4学年	山崎 大智	第48回全国高等学校体育大会 団体	2位		
			第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位		
			第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位		
機械工学科	第3学年	永井 知明	第48回全国高等学校体育大会 団体	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
電気情報工学科	第3学年	持田 空	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
電子制御工学科	第3学年	出井 雄大	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			第38回全長杯卓球大会 女子シングルス	3位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子ダブルス	1位		
物理工学科	第3学年	大畑 ひかり	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子ダブルス	1位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子ダブルス	1位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子学校対抗	3位		
建築学科	第3学年	橋本 昂	第49回中国地区高等専門学校体育大会 女子ダブルス	1位		
			第48回全国高等学校体育大会 女子ダブルス	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
電子制御工学科	第2学年	俱井 友美	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子ダブルス	1位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子ダブルス	1位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子学校対抗	3位		
物理工学科	第2学年	伊藤 達	第49回中国地区高等専門学校体育大会 女子ダブルス	1位		
			第48回全国高等学校体育大会 女子ダブルス	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	3位		
電気情報工学科	第1学年	小西 沙季	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子学校対抗	3位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
電子制御工学科	第1学年	大田 剛生	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子学校対抗	2位		
			第49回中国地区高等専門学校体育大会 男子団体	1位		
			第48回全国高等学校体育大会 団体	2位		
物理工学科	第1学年	河本 大地	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子ダブルス	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子ダブルス	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子学校対抗	3位		
電気情報工学科	第5学年	中曾 行史	第48回全国高等学校体育大会 柔道 男子個人 90kg超級	3位		
			第49回全国高等学校体育大会 柔道 女子個人 48kg級	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子個人60kg級	2位		
物理工学科	第1学年	葉浦 真	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子個人60kg級	2位		
			平成25年度(第63回)鳥取県高校新人水泳競技大会男子50m自由形	3位		
			第68回国民体育大会 セーリング競技会 成年女子 セーリング5ピロップ級	8位(入賞)		
水泳	第2学年	北本 昌也	平成25年度(第63回)鳥取県高校新人水泳競技大会男子50m自由形	3位		
			第68回国民体育大会 セーリング競技会 成年女子 セーリング5ピロップ級	8位(入賞)		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 ヨット競技	1位		
ヨット	第2学年	平岡 哲郎	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 ヨット競技	1位		
			第29回全国高等学校選抜ヨット選手権大会 ショーパバー級 SR	1位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 ヨット競技	1位		
テニス	電気情報工学科	第1学年	岡田 彩	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 中国高校テニス選手権大会 女子シングルス	3位	
				平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子シングルス	2位	
				第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 テニス 女子シングルス	1位	
				第36回全国高等学校テニス選手権大会	3位	
				第68回国民体育大会 鳥取県予選 女子シングルス (団体出場決定)	2位	
				平成25年度鳥取県高校テニス新人戦 女子シングルス	1位	
電子制御工学科	第4学年	佐々木 泉	2013中国Xmasトーナメント大会 鳥取県予選 女子シングルス	1位		
			MF6 ジュニアトーナメント for the world challenge 2014 鳥取県予選大会	1位		
			第4 9回中国地区高等専門学校体育大会 テニス 女子ダブルス	1位		
電気情報工学科	第2学年	橋本 侑太郎	平成25年度鳥取県高校テニス新人戦 男子シングルス	3位		
			平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 男子団体組手競技	3位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子団体組手	2位		
空手道	機械工学科	第2学年	福光 伸太郎	平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 男子団体組手	3位	
				平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子団体組手	2位	
				平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位	
	建築学科	第2学年	中山 貴裕	平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 男子団体組手	3位	
				平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子団体組手	2位	
				平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位	
建築学科	第2学年	平野 雄太	平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 男子団体組手	3位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 男子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位		
機械工学科	第1学年	田上 祐樹	平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位		
			平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 女子団体組手競技	2位		
電気情報工学科	第1学年	岸田 光司	平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 男子団体組手	2位		
			平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 女子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子団体組手	2位		
電気情報工学科	第2学年	生田 悠輝	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 女子団体組手	2位		
			平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 女子団体組手競技	2位		
建築学科	第2学年	水下 実優	平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 女子団体組手	2位		
			平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 女子団体組手競技	2位		
電子制御工学科	第1学年	岡本 優花	平成25年度中国高等学校空手道選手権大会 鳥取県予選会 女子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校総合体育大会 女子団体組手	2位		
			平成25年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会 女子団体組手	2位		

資料 A - 1 - ② - 3

2 優秀賞

団体名	学科	学年	学生氏名	大会等の名称	成績
科学	電気情報工学科	第4学年	林原 真史	2013年「天文ガイド」4月号読者の天体写真月例コンテスト 2013年「天文ガイド」5月号読者の天体写真月例コンテスト 2014年「天文ガイド」2月号読者の天体写真月例コンテスト 2014年「天文ガイド」2月号読者の天体写真月例コンテスト	入選
	物質工学科	第4学年	大越 秀捷		入選
	物質工学科	第4学年	加川 庸一		入選
	物質工学科	第4学年	川上 優太		入選
	物質工学科	第4学年	久古 真利		入選
	物質工学科	第4学年	富田 拓也		入選
	物質工学科	第4学年	渡多野 颯		入選
	物質工学科	第3学年	笠谷 航		入選
	物質工学科	第2学年	田原 早央莉		入選
	物質工学科	第2学年	木見 莉奈		入選
	建築学科	第2学年	田中 佐加		入選
	建築学科	第2学年	山根 優香		入選
	電気情報工学科	第1学年	永井 優一		入選
	電気情報工学科	第1学年	郷江 洗介		入選
	電子制御工学科	第1学年	尾上 創		入選
電子制御工学科	第1学年	藤原 悠子	入選		
電子制御工学科	第5学年	比 典季	第17回パブリックアクセスチャンネル大賞、 大賞(2年以上) 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト鳥取県大会 制作テレビドラマ部門 最優秀賞(1位)(30小森、2E赤賀、3E草田、1M丸瀬、2E菅、3E勝部、2E草登、2C田中、2C田中、2A高山、2A荒田、3E藤巻、3E可知、3E稲 田、1E平井、1D大久保、1C神庭、1C中村、1A大瀧) 制作ラジオドラマ部門 最優秀賞(1位)(2A高下、3D中野、3E小西、3D小森、3E藤田、2E菅、3E可知、1E平井、1A大瀧、3C村上、1C中村、1C神庭、2E谷口) テレビドキュメント部門 最優秀賞(1位)(3E可知、3E稲田、2A荒田、2C田中、1A大瀧、3D中野、2D山根、2A高下、2C竹内) ラジオドキュメント部門 優秀賞(2位)(3E勝部、2E草登、1M丸瀬、1E平井、2A高山) 校内放送研究発表 研究奨励(2E石田、2E谷口、2D山根、1M丸瀬、1A大瀧) 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 テレビドキュメント部門 入選(第1位)(3E可知、3E稲田、2A荒田、2C田中、1A大瀧、3D中野、2D山根、2A高下、2C竹内) 制作ラジオドラマ部門 制作奨励(第11位)(2A高下、3D中野、3E小西、3D小森、3E藤田、2E菅、3E可知、1E平井、1A大瀧、3C村上、1C中村、1C神庭、2E谷口) ラジオドキュメント部門 優秀賞(2位)(1D大久保、2A高下、2E石田、1C神庭、1E下屋) 校内放送研究発表 研究奨励(2E石田、2E谷口、2D山根、1M丸瀬、1A大瀧) 第86回高校生映画コンクール(映画甲子園) 優秀賞(第2位)(2E赤賀、2E草登、3D中野、2E菅、2E石田、2A高下、1M丸瀬、1C長谷川、1D大久保、1E下屋、3E可知、3E勝部、3E小西、3C村上) 最優秀賞(第1位)(2E赤賀、2E草登、3D中野、2E菅、2E石田、2A高下、1M丸瀬、1E下屋、1D大久保、1C長谷川) 最優秀賞(第2位)(1D大久保、2A高下、2E石田、1C神庭、1E下屋) 男子演説賞(第2位)(2E菅) 第6回米子映像フェスティバル 準グランプリ(30小森、2E赤賀、3E勝部、2A荒田、3D中野、4D西尾、2C竹内、2E谷口、2D山根、2A高下、2A荒田、2A高山)		
電子制御工学科	第4学年	西尾 彩陽		入選	
建築学科	第4学年	若本 暁樹		入選	
建築学科	第4学年	瀬 聡太郎		入選	
建築学科	第4学年	田中 優哉		入選	
建築学科	第4学年	松本 聖之		入選	
機械工学科	第3学年	桂澤 正也		入選	
電気情報工学科	第3学年	稲田 悠明		入選	
電気情報工学科	第3学年	可知 佳典		入選	
電気情報工学科	第3学年	藤部 佳輝		入選	
電気情報工学科	第3学年	小西 匠奈		入選	
電気情報工学科	第3学年	瀧口 聖伊里		入選	
電気情報工学科	第3学年	田原 隼太高		入選	
電子制御工学科	第3学年	小森 伊		入選	
電子制御工学科	第3学年	中野 真直		入選	
物質工学科	第3学年	村上 明音	入選		
機械工学科	第2学年	武田 成輝	入選		
電気情報工学科	第2学年	石田 宇宙	入選		
電気情報工学科	第2学年	余賀 理明	入選		
電子制御工学科	第2学年	草登 真高	入選		
電気情報工学科	第2学年	菅 真史	入選		
電気情報工学科	第2学年	谷口 正樹	入選		
電子制御工学科	第2学年	山根 匡臣	入選		
電子制御工学科	第2学年	田中 舞	入選		
物質工学科	第2学年	竹内 彩結実	入選		
物質工学科	第2学年	田中 佑季	入選		
建築学科	第2学年	荒田 信利	入選		
建築学科	第2学年	高下 弘樹	入選		
機械工学科	第1学年	丸瀬 彰花	入選		
電気情報工学科	第1学年	平井 悠翔	入選		
電気情報工学科	第1学年	下坂 美沙希	入選		
電子制御工学科	第1学年	大久保 真世	入選		
物質工学科	第1学年	神庭 宏実	入選		
物質工学科	第1学年	中村 真梨子	入選		
物質工学科	第1学年	長谷川 真梨実	入選		
放送	建築学科	第1学年	大澤 和恵	第17回スターリングテクノロジー 100V ターラー部門 第17回スターリングテクノロジー 3V ターラー部門 第17回スターリングテクノロジー 3V ターラー部門 第17回スターリングテクノロジー BC無線機械部門	金賞(1位)
	機械工学科	第4学年	石冢 博志		金賞(1位)
	機械工学科	第3学年	安田 慎		金賞(1位)
	機械工学科	第1学年	平野 克磨		金賞(1位)
	機械工学科	第1学年	福井 海斗		金賞(1位)
	電気情報工学科	第1学年	松本 智之		金賞(1位)
	電子制御工学科	第1学年	八幡 拓音		金賞(1位)
	機械工学科	第3学年	高津 昇吾		金賞(1位)
	機械工学科	第2学年	影山 翔太		金賞(1位)
	機械工学科	第2学年	影山 千泰		金賞(1位)
	電気情報工学科	第2学年	山田 隼		金賞(1位)
	電子制御工学科	第2学年	大杉 隼人		金賞(1位)
	電子制御工学科	第2学年	澤田 将吾		金賞(1位)
	機械工学科	第4学年	藤田 夏来		金賞(1位)
	電気情報工学科	第4学年	影岡 大輔		金賞(1位)
合唱	建築学科	第2学年	小川 祥彦	第52回全日本合唱コンクール鳥取県大会 大学級場一般部門・大学ユース合唱の部	銅賞(2位)
	機械工学科	第1学年	岡田 一志		銅賞(2位)
	機械工学科	第1学年	高力 海星		銅賞(2位)
	機械工学科	第1学年	辻 薫		銅賞(2位)
	電気情報工学科	第4学年	山根 大哉		銅賞(2位)
	電気情報工学科	第4学年	平賀 亮己		銅賞(2位)
	物質工学科	第4学年	山本 陽菜美		銅賞(2位)
	物質工学科	第4学年	柳本 崇帆		銅賞(2位)
	電気情報工学科	第3学年	米原 滯平		銅賞(2位)
	電気情報工学科	第3学年	安本 岳規		銅賞(2位)
	電気情報工学科	第3学年	田中 宏尚		銅賞(2位)
	電子制御工学科	第3学年	菊野 隆輝		銅賞(2位)
	電子制御工学科	第3学年	福田 将介		銅賞(2位)
	物質工学科	第3学年	杉本 竜一		銅賞(2位)
	物質工学科	第3学年	田中 典樹		銅賞(2位)
物質工学科	第3学年	若狭 亮弥	銅賞(2位)		
電子制御工学科	第2学年	目下部 将規	銅賞(2位)		
電子制御工学科	第2学年	塚田 典香	銅賞(2位)		
物質工学科	第2学年	長谷川 博平	銅賞(2位)		
物質工学科	第2学年	井上 祥彦	銅賞(2位)		
電気情報工学科	第1学年	加藤 竜太	銅賞(2位)		
電気情報工学科	第1学年	下坂 美沙希	銅賞(2位)		
電子制御工学科	第1学年	武田 隼	銅賞(2位)		
電子制御工学科	第1学年	若谷 実希	銅賞(2位)		
建築学科	第1学年	飯内 希幸	銅賞(2位)		

資料 A - 1 - ② - 3

2 優秀賞

団体名	学科	学年	学生氏名	大会等の名称	成績
非道	建築学科	第3学年	養 瑠希	第18回全日本高校・大学生書道展	全日本高校・大学生書道展大賞
	機械工学科	第4学年	池淵 智史		全日本高校・大学生書道展賞
	電気情報工学科	第2学年	生田 悠哉		全日本高校・大学生書道展優秀賞
	電気情報工学科	第2学年	生田 悠哉	第29回高円宮杯日本武道館書道大会	日本武道館賞
ボート	機械工学科	第2学年	桑名 雄次	平成25年度第57回中国高等学校選手権鳥取県予選会男子ダブルスカル	1位
	電子制御工学科	第1学年	石塚 修一郎	平成25年度全国高校選抜ボート大会鳥取県予選会 男子ダブルスカル	1位
スキー	建築学科	第1学年	天根 賢哉	第25回全日本学生スキー選手権大会	3位
	電子制御工学科	第4学年	八木 智弥	第25回全日本学生スキー選手権大会	3位
将棋	建築学科	第3学年	河本 和香	第20回全国高等専門学校将棋大会 団体	3位
	電気情報工学科	第3学年	田中 聖也	第32回さんいん将棋競技大会 個人総合中学校以上の部 終上階層	第2位
ボーイスカウト	電気情報工学科	第3学年	田中 聖也	第32回さんいん将棋競技大会 個人総合中学校以上の部 フラッシュ階層	第2位
	電気情報工学科	第3学年	田中 聖也	ボーイスカウト日本連盟 ベンチャースカウト	富士章
デザイン	専攻科	第1学年	吉田 千紀	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 空間デザイン部門	審査員特別賞
	専攻科	第1学年	遠藤 貴子		優秀賞
	建築学科	第4学年	石川 泰理	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 空間デザイン部門	優秀賞
	建築学科	第4学年	野津 美瑠		
	建築学科	第4学年	藤原 佳美		
	建築学科	第5学年	藤原 博		
	建築学科	第5学年	藤山 愛巳		
	建築学科	第4学年	藤原 圭彦	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 構造デザイン部門	最優秀賞
	建築学科	第4学年	石原 優奈		
	建築学科	第4学年	柴田 孝社		
	建築学科	第4学年	渡部 伸生		
	建築学科	第4学年	渡部 智生		
	建築学科	第4学年	中町 昌人		
	建築学科	第4学年	田中 優哉	全国高等専門学校デザインコンペティション2014in米子 構造デザイン部門	優秀賞
	建築学科	第4学年	高森 伸仁		
機械工学科	第2学年	渡部 賢大			
専攻科	第1学年	瀧本 清之			
建築学科	第5学年	永井 直	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 環境デザイン部門	最優秀賞	
建築学科	第5学年	瀧本 貴子			
建築学科	第5学年	石賀 恵太	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 環境デザイン部門	優秀賞	
建築学科	第5学年	上田 信良			
建築学科	第5学年	岡崎 悠平	全国高等専門学校デザインコンペティション2013in米子 創造デザイン部門	優秀賞	
建築学科	第5学年	原山 翔			
ロボコン	機械工学科	第4学年	角 聖哉		
	機械工学科	第4学年	藤原 大和		
	機械工学科	第4学年	村岡 隼太		
	機械工学科	第3学年	澤田 龍一	アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2013 全国大会	第3位
	機械工学科	第3学年	大木 悠平		
	機械工学科	第3学年	河越 大典		
	機械工学科	第3学年	生田 広大		
電気	電気情報工学科	第2学年	山本 紗久香		
	電気情報工学科	第5学年	前田 果穂	平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	電気学会中国支部奨励賞
	電気情報工学科	第5学年	浜田 圭佑	平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	電気学会優秀論文発表賞B
	電気情報工学科	第3学年	可知 佳晃	第十回高校化学グランプリコンテスト	大阪市長賞(第3位)、パナソニック賞
	電気情報工学科	第3学年	小西 悠希	中国四国地区生物系三学会合同大会	最優秀プレゼンテーション賞
	電気情報工学科	第3学年	小林 開平	第十回高校化学グランプリコンテスト	大阪市長賞(第3位)、パナソニック賞
物質	電気情報工学科	第3学年	西澤 侑香	平成25年度 電気学会高校生懸賞論文コンテスト	最優秀論文賞
	物質工学科	第5学年	安部 希綱	第16回ユウ素学会シンポジウム	ポスター賞
	物質工学科	第5学年	菊川 泰穂子	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第5学年	重水 祐月	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第5学年	谷輪 悠希	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第4学年	井田 隼太郎	日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
	物質工学科	第4学年	井田 隼太郎	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第4学年	大江 ひかる	日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
	物質工学科	第4学年	西尾 幸祐	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第4学年	西尾 幸祐	日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
	物質工学科	第3学年	杉本 竜一	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第3学年	田中 美田	第十回高校化学グランプリコンテスト	大阪市長賞(第3位)、パナソニック賞
専攻科	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	第19回日本高専学会年会	奨励賞
	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	中国四国地区生物系三学会合同大会	最優秀プレゼンテーション賞
	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	第十回高校化学グランプリコンテスト	大阪市長賞(第3位)、パナソニック賞
	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	日本農芸化学会2013年度大会 ジュニア農芸化学会	金賞
	物質工学科	第3学年	若柳 千晶	中国四国地区生物系三学会合同大会	最優秀プレゼンテーション賞
学会表彰	物質工学科	第3学年	プリシラ	Asia Science Camp 2013	ゴールドアワード
	専攻科	第1学年	田原 功一郎	日本機械学会中国四国学生会 第43回学生会卒業研究発表講演会	優秀発表賞
	専攻科	第1学年	松本 凌	NIMS Internship Program 2013	Award for NIMS Internship Program 2013
	専攻科	第2学年	島本 優一	平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	情報処理学会中国支部奨励賞
学会表彰	専攻科	第2学年	島本 優一	平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	電気学会中国支部奨励賞
	専攻科	第2学年	島本 優一	平成25年度 電気・情報関連学会中国支部第64回連合大会	情報処理学会中国支部奨励賞
	専攻科	第2学年	島本 優一	平成25年度 日本高専学会論文奨励賞	優秀賞
	専攻科	第2学年	園岡 成央	日本機械学会中国四国学生会 第43回学生会卒業研究発表講演会	優秀発表賞
	専攻科	第2学年	園岡 成央		
学会表彰	機械工学科	第5学年	山本 直人	日本設計工学会奨励賞優秀学生賞	
	物質工学科	第5学年	久保田 知子	日本農芸化学会中国四国支部学生奨励賞	
	物質工学科	第5学年	野見 昌宏	化学工学会中国四国支部長賞	
	建築学科	第5学年	小泉 友樹	日本建築学会中国支部優秀卒業設計作品	
学会表彰	建築学科	第5学年	小泉 友樹	日本建築学会中国支部優秀卒業設計作品	
	専攻科	第2学年	佐本 泰太郎	日本建築学会中国支部優秀賞	

資料A-1-②-4 (抜粋)

全国高専デザインコンテストの構造部門において国土交通大臣賞受賞！

部署 : 学生係
公開日時 : '12/11/29



11月10日(土)11日(日)にかけて、栃木県小山市で行われた全国高専デザコン2012 in 小山において、米子高専は構造部門で最優秀賞(国土交通大臣賞、建築学科と機械工学科の協働チーム)と審査員特別賞(建築学科チーム)を、空間部門で優秀賞(建築学科5年生)を獲得しました。

今回のデザコンはメインテーマを「デザインが起つ」とし、豊かな生活環境を実現する「デザイン」について、あらためて深く考え、高専の総合的な技術力を社会に発信する場として開催されました。



本選には、「構造部門」、「空間部門」、「環境部門」の3部門に建築学科・機械工学科・物質工学科の計24名の学生が参加しました。本選に参加した3部門のうち2部門で優秀な賞をいただくことができましたが、残念ながら入選どまりであった学生たちも、本選にいたる直前まで、試行錯誤を繰り返して、名前があがっていない多くの学生たちの協力や教員の事前指導などの過程からも多くを学んだものと思います。

来年は、いよいよ米子でのデザコン本選が開催されます。せっかくの機会ですので、米子高専学生たちと他高専生と共に盛り上げられる学習の機会としたいと思います。

(出典 校外向け Web ページ 抜粋)

高専ロボコン2013全国大会でベスト4！！

資料A-1-②-5 (抜粋)

部署 : 学生係
公開日時 : '13/11/25



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013全国大会が、11月24日(日)に両国国技館にて開催されました。今年度の課題は、「Shall We Jump?」で、ロボットと学生が一緒に長縄跳びをする競技です。

本校からは、中国地区大会を勝ち抜いたロボット「妖怪大奔走(ようかいだいほんそう)」が出場しました。

1回戦～準々決勝をスピードと正確さで見事勝ち抜き、準決勝で奈良高専と対戦しました。途中まではリードしていたものの、最後の連続ジャンプを僅差で越され、惜しくも敗退となりましたが、ベスト4入りを果たし、大健闘しました。



この大会の様子は、12月21日(土)16:00よりNHK総合テレビにて放送される予定です。

詳しい大会成績については、下記HPをご参照ください。



(出典 校外向け Web ページ 抜粋)

平成24年度掲載分

資料A-1-②-6 (抜粋)

月	日	曜	記事タイトル等	掲載誌名等
3	5	火	水温研究会の開催	日本海新聞
3	1	金	鳥取県の人材開発プログラムでEV車開発を学生に講義	山陰中央新報
2	15	金	スポーツ賞団体表彰	日本海新聞
2	6	水	理系女子を支援	日本海新聞
2	4	月	米子高専「企業・大学合同面談会」	日本海新聞
2	4	月	米子高専学生ら企業・大学面談会	読売新聞
2	1	金	三十六歌仙額複製品小鴨神社に奉納	朝日新聞
1	31	木	三十六歌仙額複製お披露目	日本海新聞
1	30	水	三十六歌仙額 倉吉市文化財に	読売新聞
1	17	木	県教委, 体協とスポーツ協定締結	日本海新聞
1	17	木	県教委, 県体協とスポーツ振興協定締結	山陰中央新報
1	15	火	哲西地区で体験学習を実施	備北民報
1	13	日	旧戸井線 竹で鉄筋代用?	北海道新聞
1	11	金	本物の投票箱使い模擬選挙	山陰中央新報, 日本海新聞
1	11	金	模擬選挙で1票の重さ学ぶ	朝日新聞
12	31	月	スターリングテクノラリー 2冠	日本海新聞
12	29	土	スターリングテクノラリー 2部門制す	山陰中央新報
12	27	木	鳥取県スポーツ回顧2012 国体ヨット日本一	日本海新聞
12	20	木	デザコン「最優秀賞」「審査員特別賞」「優秀賞」受賞	日本海新聞
11	28	水	三朝町で学生2名が表彰	日本海新聞
11	27	火	デザコン小山大会	日刊建設工業新聞
11	25	日	「鹿島家の風雅展」監修	日本海新聞
11	19	月	第9回高校化学グランドコンテスト	読売新聞
11	18	日	学生科学賞県審査で県教育長賞	読売新聞
11	16	金	新聞の読み方 記者が出前授業	毎日, 読売, 日本海新聞
11	15	木	「三十六歌仙」複製し寄贈	日本海新聞
11	5	月	第9回高校化学グランドコンテストで最優秀賞の文部科学大臣賞受賞	読売新聞
11	2	金	鳥取県学生建築アイデアコンテスト最優秀賞受賞	日本海新聞
10	29	月	米子市景観審議会会長細田先生インタビュー	山陰中央新報
10	25	木	卓球全日本ジュニア県予選優勝	日本海新聞
10	21	日	「高校生化学グラコン」口頭発表チーム決まる	読売新聞
10	8	月	国体セーリング優勝2	山陰中央新報
10	8	月	国体セーリング優勝1	山陰中央新報
10	8	月	国体セーリング優勝2	日本海新聞
10	8	月	国体セーリング優勝1	日本海新聞
10	1	月	校長講演「産学連携の鍵は人材」	日本海新聞
9	26	水	ラジオドラマでキャラに命	日本海新聞
9	19	水	境港市長に訪韓成果報告	山陰中央新報
9	13	木	訪韓の収穫報告	日本海新聞
9	3	月	女子中生も米子高専へ	山陰中央新報
9	1	土	放送部全国準V	日本海新聞
8	28	火	全国高専体育大会結果	日本海新聞
8	23	木	全日本高校・大学生書道展 展賞喜びの声㊦	読売新聞
8	22	水	全日本高校・大学生書道展 展賞喜びの声㊦	読売新聞
8	22	水	全国高専体育大会結果	日本海新聞
8	20	月	建築学科の学生が作品展	山陰中央新報
8	18	土	飛行リングづくりなど体験(科学教室)	日本海新聞
8	15	水	三十六歌仙絵	山陰中央新報
8	10	金	小学生がエコ工作(公開講座)	日本海新聞
8	9	木	卵殻膜太陽電池長持ち	朝日新聞
8	4	土	NIEくらしと経済・法律講座	山陰中央新報
8	2	木	NIEくらしと経済・法律講座	朝日新聞
8	2	木	NIEくらしと経済・法律講座	日本海新聞
7	28	土	最先端の実験(科学教室)	日本海新聞
7	25	水	先端技術大賞授賞式	フジサンケイビジネスアイ
7	24	火	先端技術大賞授賞式	フジサンケイビジネスアイ

(出典 校内 Web ページ 新聞等掲載記事)

資料A-1-②-7 (抜粋)

▶ 米子高専校外向ホームページ		平成25年度掲載分			
図書館情報センター (情報ネットワーク)	月	日	曜	記事タイトル等	掲載誌名等
▶ シラバス	1	8	水	3Dプリンター企業、教育現場導入進む	山陰中央新報
▶ 授業アンケート	12	30	月	米子まちなか空家活用プロジェクト	山陰中央新報
▶ 教員顕彰	12	28	土	国体ヨットで8位	日本海新聞
▶ 総務部実施学生アンケート	12	28	土	スターリングエンジン実用化(特許取得)	山陰経済新聞
▶ 米子工業高等専門学校情報倫理ガイドライン	12	27	金	米子まちなか空家活用プロジェクト	山陰中央新報
▶ 情報システムユーザーズガイドライン(機構本部作成)	12	20	金	デザインコンペティションin米子	日本海新聞
▶ 情報教育ホームページ	12	17	火	産学チームに米子高専建築学科協力	朝日新聞
▶ 米子高専情報セキュリティポリシー	12	17	火	アンサンブルコンテスト県大会	朝日新聞
▶ 行事予定・施設予約	12	12	木	MUFGジュニアテニストーナメント鳥取県予選	日本海新聞
▶ 教職員の「一斉連絡システム」申請・登録について	12	7	土	米子高専放送部映画甲子園で準優勝	日本海新聞
▶ 教育・研究	12	4	水	米子“えーとこ”発見フェスタ	日本海新聞
▶ 教育研究活性化経費成果報告書	12	4	水	スターリングエンジン テクノラリー	日本海新聞
▶ 研究助成公募等情報	12	4	水	映画甲子園2013	山陰中央新報
▶ 研修等報告	11	28	木	全国デザインコンペ結果を市長に報告	日本海新聞
▶ 教職員提案意見箱	11	28	木	第59回近畿硬式卓球選手権大会(女子ダブルスで頂点)	日本海新聞
▶ 総務課(総務部門)	11	26	火	空家活用し共有住宅	読売新聞
▶ 総務担当補佐	11	26	火	デザコン2013in米子	日刊建設工業新聞
▶ 総務係	11	24	日	米子まちなか空家活用プロジェクト	日本海新聞
▶ 人事労務係	11	22	金	イベント情報	山陰中央新報
▶ 企画・社会連携係	11	20	水	米子高専卒業生ゴルフ大会	日本海新聞
▶ 総務課(財務部門)	11	20	水	中国ジュニアクリスマストーナメントテニス県予選	日本海新聞
▶ 財務担当補佐	11	20	水	スターリングテクノラリー2年連続2冠	山陰中央新報
▶ 財務係	11	19	火	中国高校新人大会(テニス)	日本海新聞
▶ 契約係	11	18	月	ロボットコンテスト2013中国地区大会	朝日新聞
▶ 施設係	11	18	月	第10回高校化学グランドコンテスト	読売新聞
▶ 学生課	11	17	日	鳥取県高校新人サッカー	日本海新聞
▶ 学務担当補佐	11	16	土	県高校新人サッカー	日本海新聞
▶ 教務・キャリア支援係	11	15	金	全日本高校バレー県予選	日本海新聞
▶ 学生係	11	14	木	学生科学賞県審査	読売新聞
▶ 寮務係	11	13	水	鳥取県高校新人戦	日本海新聞
▶ 学術情報係	11	13	水	流れのふしぎ科学教室	ニューズレター
▶ 図書	11	12	火	シンポジウム和歌文化をつなぐ	日本海新聞
▶ 情報	11	10	日	叙位叙勲	日本海新聞
▶ 技術教育支援センター	11	10	日	全国高専デザインコンペティション2013in米子	日本海新聞
▶ 後援会	11	9	土	ロボコン米子高専中国大会優勝V	日本海新聞
▶ 環境への取り組み	11	9	土	彦名町公民館祭で米子高専留学生参加	日本海新聞
▶ 専攻科資料ダウンロード	11	9	土	消費者懇談会で講演	山陰中央新報
▶ Call教室のホームページ	11	5	火	第10回高校化学グランドコンテスト	読売新聞
関連施設など	11	5	火	全国高専デザインコンペティション2013	山陰中央新報
	11	4	月	高校駅伝県予選	毎日新聞
	11	3	日	秋の叙勲(県内)	毎日新聞
	11	3	日	米子市児童文化センターで(科学クラブ)	日本海新聞
	11	3	日	秋の叙勲(鳥取)	日本海新聞
	11	3	日	秋の叙勲(鳥取)	山陰中央新報
	11	1	金	第48回鳥取県高校総体駅伝競走大会	毎日新聞
	10	30	水	全国高校駅伝県予選	毎日新聞
	10	28	月	氷温全国大会開催	山陰経済新聞
	10	25	金	米子高専来年創立50周年(同窓会)	日本海新聞
	10	25	金	県高校新人テニス	日本海新聞
	10	25	金	ロボコン中国大会優勝	山陰中央新報
	10	22	火	全国高校サッカー選手権鳥取大会	日本海新聞
	10	21	月	全国高校サッカー選手権鳥取大会	読売新聞
	10	21	月	全国高校サッカー選手権鳥取大会	山陰中央新報
	10	20	日	全国高校サッカー選手権鳥取大会	読売新聞
	10	20	日	全国高校サッカー選手権鳥取大会	日本海新聞
	10	20	日	高校化学グラコンチーム決定	読売新聞
	10	20	日	全国高校サッカー鳥取大会	山陰中央新報
	10	18	金	第6回米子映像フェスティバル(準グランプリ)	日本海新聞
	10	17	木	米子高専で企業フェア開催	山陰中央新報
	10	16	水	米子こどもの科学教室2013	日本海新聞
	10	16	水	同窓会関西支部の設立総会開催	大阪日日新聞

(出典 校内 Web ページ 新聞等掲載記事)

科学 MONDAY

発色性安定有機カチオンの研究 (山角拓也)



大阪府知事賞

山角拓也先生は、不安定な物質の発色特性について、独自の研究成果を発表された。これは、有機カチオンを用いた新しい発色材料の開発につながる重要な発見である。

好奇心と工夫で

第9回高校化学グランドコンテスト

文部科学大臣賞

米子高専の学生が、第9回高校化学グランドコンテストで、文部科学大臣賞を受賞した。これは、学生が自主的に取り組んだ化学実験の成果を高く評価されたことである。

不安定な物質 特徴探る

不安定な物質の発色特性を詳しく調査し、その反応機構を明らかにした。これは、有機カチオンの発色特性を制御するための重要な手がかりとなる。

卵の膜でエコ発電

鶏卵の殻の膜を利用したバイオ燃料電池の開発が進められている。これは、環境に優しいエネルギー源としての可能性を秘めている。

大阪府知事賞

大阪府知事賞を受賞した。これは、学生が自主的に取り組んだ化学実験の成果を高く評価されたことである。

(出典 平成 24年 11月 19日 読売新聞)

「工作機械技術振興賞・奨励賞」をダブル受賞

米子高専初の快挙



よく頑張った おめでとう!



就職先でも生かしたい **西林郁弥さん (22)**

西林さんは、今回のダブル受賞で、専攻科の教育・研究の質の高さが認められた。地道な努力が基礎研究を支えている」と高く評価されている。

ステップアップ目指す **中沢諒一さん (20)**

中沢さんは「実験は大変だったが有意義だった。これからは基礎研究を更にステップアップしたい」と語る。指導した山口頭教授(46)も「油で手を汚してばかりの実験だったが、よく頑張ってくれた」と評価する。

同賞は工作機械振興財団が毎年選考しており、今年は177件の論文から東京大学や大阪大学など7件が受賞した。

大倉教授(55)は、本賞受賞者を「指導する西林さんらに、ハードディスクなどに使用されている超小型軸受の潤滑の状態を超音波で測定できること、この量産した際のチェックも可能となることから、実用化への期待を高まっている。

西林さんは「実験機を1から作るが大変だった。3Dプリンタで設計し、試行錯誤を繰り返して完成させた。矢野教授は「研究の方向性を認められた。さらに励んでいきたい」と喜ぶ。

中沢さんは、金属加工の際に使われる水溶性加工液をリサイクルする方法を開発。親水性の高い添加剤を使わない「フッ素加工液」を使用し、約8カ月間をわたって性能変化の測定と定量的な回収処理を行った。その結果、従来の加工液と同レベルの性能、非常に高いリサイクル性を持つことが確認されたという。

編集部

西林さんは「今回のダブル受賞で、専攻科の教育・研究の質の高さが認められた。地道な努力が基礎研究を支えている」と高く評価されている。

(出典 平成 24年 7月 11日 日本海新聞)

(出典 平成 25 年 11 月 28 日 日本海新聞)



賞状や盾を手に野坂市長（後列右から3人目）と記念撮影に臨む学生たち＝27日、米子市役所

23人入賞、実力示す

米子高専、全国デザインコンペ結果を市長に報告

米子市で8～10日に「ザインコンペティション2013 in 米子」

米子高専、全国デザインコンペ結果を市長に報告した。大会は全国の高専が生活環境に関連したデザインや土木技術など計5部門で競った。米子高専は33人が出場し、2部門で最優秀賞、4部門で優秀賞、1部門で審査員特別賞に輝くなど23人が入賞、このうち13人が市役所を訪れた。

建築学科5年の浜本真子さん(19)は剣路高専などの混成チームで、皆生温泉活性化の「青写真」を描いて環境デザイン部門で最優秀賞を獲得。「空き地を活用して住民がゲームなどで触れ合える環境を考えたい。多くの観光客が訪れるようになる」と説明した。重みに耐える木材建築を披露して構造デザイン部門で最優秀賞となった同、藤原淳さん

に出場した米子高専の学生が27日、同市の野坂康夫市長に結果を報告した。

野坂市長は「米子の(20)は「何度も実験を重ねた」と苦勞を語った。

野坂市長は「米子の実力を全国に示せてうれし。さらに勉強を深めた

スターリングエンジン テクノラリー

2部門で日本一

米子高専



2部門日本一を喜ぶスターリングエンジン部のメンバー

改良重ね 2年連続の快挙

米子高専(米子市彦名町)スターリングエンジン部が、11月に埼玉県で行われた「第17回スターリングエンジン」の3Vクラス

1部門と100Vクラス部門で、いずれも日本記録で優勝した。2部門制覇は、水素ガスやヘリウムガスをなど気体の熱膨張や収縮を利用して作動させるエンジン。ラリーはクーラーや

無線コントロールなどの部で行われる。スターリングクーラーは、環境に優しく将来的に期待されている技術。大会には国内外の大学や高校などから215チームが参加した。14チームが参加した3V部門は単三型乾電池2本を3分間動作させ、冷凍機の冷却部が室温より低下する温度差を競った。3チーム参加の100V部門はアルミを10度冷却させる省電力性を競い、昨年の約3倍性能をアップさせて優勝。昨年の冷凍機のモーターの出力を変えながら、改良を重ねたことが結果につながった。

山根大典部長(19)「電気情報工学科4年」は「先輩が残してきた記録を超えることができてよかった」とほっとした様子。機械の部品は29人の部員で手分けして作製した。同部顧問の森田真一教授は「一部品の精度が鍵を握るが、性能、結果とも満足のいく内容だった」と話していた。

(渡部 ちゆみ)

(出典 平成 25 年 12 月 4 日 日本海新聞)

資料A-1-②-10

資料 3

学科長会議資料

平成25年度 外部資金等受入状況について (平成25年4月1日～平成26年3月18日)

※番号太字, ゴシックが今回報告分

1. 共同研究

(単位:円)

No.	研究者名		申請者	研究課題	研究経費	うち 間接経費	申請書 受付	CD 関与
	所属	氏名						
◎ -	機械工学科	森田慎一	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター	狭い流路より伝熱面に流入する作動流体の熱伝達特性	(200,000)	0	25.4.9	-
◎ -	機械工学科	早水庸隆	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター	波力発電用直線翼垂直軸タービンの性能に及ぼす案内羽 根の影響	(200,000)	0	25.4.9	-
1	電気情報工学科	田中博美	豊橋技術科学大学	高機能高温超伝導金属/酸化ナノコンポジットの開発	150,000	13,000	25.6.27	-
2	物質工学科	谷藤尚貴	豊橋技術科学大学	廃棄物からの有価物の抽出・分離	129,000	11,000	25.6.27	-
◎ 3	物質工学科	谷藤尚貴	豊橋技術科学大学	太陽電池についての研究・教育のための高専-TUT-連 携・協同プログラム	(1,000,000)	0	25.6.27	-
◎ 4	電子制御工学科	徳光政弘	豊橋技術科学大学	ダイアグラム視覚化「道場」による連携教育・研究システム	(300,000)	0	25.6.27	-
◎ 5	電子制御工学科	徳光政弘	豊橋技術科学大学	ネットワーク衛星デザイン「工房」のための連携教育フォー ラム	(600,000)	0	25.6.27	-
6	機械工学科	矢壁正樹	長岡技術科学大学	多孔質焼結結合油材料を用いた電気摺動接点のトライボロ ジー特性と油膜厚さに関する研究	300,000	27,000	25.9.2	-
7	機械工学科	大塚 茂	長岡技術科学大学	〃	100,000	9,000	25.9.2	-
8	建築学科	小椋弘佳	長岡技術科学大学	人口分布と土地所有実態からみた国立公園の山岳信仰集 落の特徴と課題に関する研究	300,000	27,000	25.9.2	-
◎ 9	建築学科	熊谷昌彦	長岡技術科学大学	〃	(〃)	0	25.9.2	-
◎ 10	建築学科	細田智久	長岡技術科学大学	〃	(〃)	0	25.9.2	-
11	電気情報工学科	田中博美	長岡技術科学大学	機能性酸化膜の作製技術の高度化とその高精度評 価法の確立	120,000	10,000	25.9.2	-
12	電気情報工学科	宮田仁志	(株)エンドウ商事	各種商品に搭載可能なスマートフォンまたはタブレット端末 のインターフェースとユーザーアプリケーションの研究開発	750,000	68,000	25.9.2	足立
13	物質工学科	中野陽一	認定NPO法人 自然再生センター	中海深溝の調査研究	600,000	54,000	25.10.2	-
14	技術教育 支援センター	日野英志	(株)エプト	鉄炭団子の敷設による水質改善の検討	840,000	76,000	25.10.29	-
15	電気情報工学科	石倉規雄	米子西日本(株)	溶接はんた付け機の開発	260,000	23,000	26.2.21	西本
合 計					3,549,000	318,000		

◎は括弧内金額が共同研究者へ配分。機構が取りまとめる技科大との共同研究は、実績報告のため件数にカウントする。 ※昨年同月 13件 4,023,523円
(24年度 13件 4,023,523円)

2. 受託研究等

(単位:円)

No.	研究者名		申請者	研究等課題	研究等経費	うち 間接経費	申請書 受付	CD 関与
	所属	氏名						
1	物質工学科	青木 薫	米子市	中海及び米子湾における水質状況等の調査及び解析	498,750	0	25.4.2	-
2	物質工学科	谷藤尚貴	鳥取県	食品廃棄物を機能性材料としてリサイクルする発電デバイス材 料の新規開発	2,100,000	191,000	25.6.10	-
3	電気情報工学科	田中博美	鳥取県	高トルク・超省エネルギー型電気自動車モーターへの応用を目指 した高温超伝導線材の開発	1,440,000	131,000	25.6.10	-
4	建築学科	前原勝樹	鳥取県	既存建築物の消費エネルギー管理手法開発のための実践的研 究	1,378,000	125,000	25.6.10	-
5	建築学科	細田智久	鳥取県	CASBEE学校を用いた鳥取県内の学校施設の環境評価と改 善提案の研究	503,000	45,000	25.6.10	-
6	電子制御工学科	河野清尊	鳥取県	サークルコードとスマートフォンを用いた景観再現・観光創造シ ステムの開発	1,269,000	115,000	25.6.10	-
7	教養教育科	南 雅樹	鳥取県	校庭芝生化が及ぼす教育環境への影響	441,000	40,000	25.6.10	-
8	物質工学科	青木 薫	鳥取県	中海および周辺河川における水質と難分解性溶存有機物の動 態	1,203,000	109,000	25.6.10	-
9	建築学科	高増佳子	鳥取県	全国の高専生による皆生温泉活性化計画の立案に向けた調査 およびワークショップの実施	1,382,000	125,000	25.6.10	-
10	機械工学科	山口顕司	(公財)鳥取県産業振興機構	環境対応車用中空シヤフトの熱間中空鍛造と回転加工による複 合成形技術の開発	942,480	85,680	25.7.1	西本
11	機械工学科	森田慎一	(独)科学技術振興機構	潜熱物質微細化分散型蓄熱材を用いる蓄熱システムの研究開 発	1,700,000	392,307	25.8.1	足立
12	物質工学科	伊達勇介	(株)カン	防刃性を具備し、発泡性樹脂材料を用いた緊急時のみ膨張す る自動救命胴衣の開発	420,000	96,000	25.9.10	-
13	物質工学科	伊達勇介	(株)エコログ・リサイクリング・ ジャパン	廃棄繊維製品由来の再生PET樹脂を原料とした医療系廃棄物 回収容器等大型射出成形品の試作開発	180,000	41,000	26.2.4	-
14	物質工学科	中野陽一	広島大学	製鋼スラグと浸漬土により造成した干潟・藻場生態系内の物質 フローと生態系の評価	1,500,000	345,450	26.2.12	-
合 計					14,957,230	1,841,437		

※昨年同月 14件 13,442,050円
(24年度 14件 13,442,050円)

3
(出典 平成 26 年 3 月 19 日 学科長会議資料)

資料A-1-②-10

3. 寄附金

(単位:円)

No.	担 当 者 名 所 属 氏 名	申 込 者	寄 附 の 目 的	寄附金額	うち 間接経費	申請書 受 付	CD 関与
1	機械工学科 早水庸隆	水野ストレーナー工業㈱	マイクロバブル発生装置の評価・検討	250,000	12,500	25.4.2	-
2	機械工学科 早水庸隆	㈱鶴見製作所	粒子レス可視化計測法の検討	800,000	40,000	25.4.2	-
3	物質工学科 谷藤尚貴	財団法人旗影会	米子工業高等専門学校物質工学科の研究助成	2,000,000	100,000	25.4.19	-
4	機械工学科 矢壁正樹	㈱ミツバ	超音波による油膜、接着膜厚さ測定に関する研究	300,000	15,000	25.4.30	-
5	物質工学科 中野陽一	㈱パブルタンク	液膜装置等の共同研究における経費負担金として	50,000	2,500	25.5.9	-
6	物質工学科 中野陽一	中国高圧コンクリート工業㈱	学術助成のため	300,000	15,000	25.5.20	-
7	機械工学科 松本 至	㈱デザインネットワーク	制御技術に関する研究助成	50,000	2,500	25.5.22	-
8	機械工学科 大塚 茂	フマキラー㈱開発本部	産学連携 シーズ・ニーズマッチング	300,000	15,000	25.5.22	-
9	物質工学科 谷藤尚貴	㈱ADEKA	谷藤尚貴准教授研究助成のため	300,000	15,000	25.5.24	-
10	機械工学科 大塚 茂	㈱米子シンコー	軸流ファン自動設計システムに関する研究	300,000	15,000	25.5.29	-
11	技術教育 支援センター 日野英亮	日野建設業協同組合	中海水域に関する環境研究	154,110	7,710	25.6.5	足立
12	機械工学科 松本 至	鳥取グリコ㈱	「自走式配管外周掃除ロボットの開発」に関する調査研究	60,000	3,000	25.6.7	足立
13	物質工学科 伊達勇介	㈱ロジコム	中海水域に関する環境研究	77,060	3,860	25.7.1	-
14	機械工学科 早水庸隆	水野ストレーナー工業㈱	マイクロバブル発生装置の評価・検討	150,000	7,500	25.7.9	-
15	機械工学科 大塚 茂	㈱フジコー	光触媒型殺菌・消臭装置用省エネファンシステムの開発	300,000	15,000	25.7.16	-
16	機械工学科 松本 至	鳥取グリコ㈱	「自走式配管外周掃除ロボットの開発」に関する調査研究	80,000	4,000	25.8.7	足立
17	建築学科 小椋弘佳	小椋弘佳	研究助成金(大山国立公園協会)	100,000	0	25.8.8	-
18	機械工学科 森田慎一	㈱ござ建設	自然エネルギー利用暖房器の研究	100,000	5,000	25.9.2	足立
19	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ株式会社	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	25.9.2	-
20	機械工学科 権田 岳	㈱守谷刃物研究所	SPS装置を用いた用途開発	300,000	15,000	25.9.2	-
21	機械工学科 松本 至	㈱アイズ	ロボット技術の研究助成	300,000	15,000	25.9.3	足立
22	学生課長 古杉俊輔	米子高専振興協力会	全国高専プログラミングコンテストへの参加支援	100,000	0	25.9.27	-
23	学生課長 古杉俊輔	米子高専振興協力会	全国高専デザインコンテスト2013in米子への参加支援	100,000	0	25.9.27	-
24	地域共同 センター長 新田陽一	米子高専振興協力会	共同研究助成事業に関する研究助成金	600,000	0	25.9.27	-
25	地域共同 センター長 新田陽一	米子高専振興協力会	産官学連携助成事業に関する研究助成金	200,000	0	25.9.27	-
26	地域共同 センター長 新田陽一	米子高専振興協力会	人材確保支援事業	200,000	0	25.9.27	-
27	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ㈱	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	25.10.1	-
28	機械工学科 森田慎一	㈱カンダ技工	温泉熱駆動エンジンの研究開発	500,000	25,000	25.10.1	-
29	機械工学科 森田慎一	松原産業㈱	農業用加温冷却器の開発のため	200,000	10,000	25.10.1	西本
30	建築学科 玉井孝幸	美保テクノス㈱	鳥取県内の建築技術向上の推進に伴う費用として	200,000	10,000	25.10.3	-
31	機械工学科 松本 至	鳥取グリコ㈱	「自走式配管外周掃除ロボットの開発」に関する調査研究	70,000	3,500	25.10.4	足立
32	学生課長 古杉俊輔	米子高専振興協力会	全国高専ロボットコンテスト2013への参加支援	100,000	0	25.10.21	-
33	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ㈱	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	25.11.1	-
34	機械工学科 大塚 茂	㈱米子シンコー	軸流ファン自動設計システムに関する研究	300,000	15,000	25.11.7	-
35	機械工学科 大塚 茂	㈱フジコー	光触媒型殺菌・消臭装置用省エネファンシステムの開発	300,000	15,000	25.11.20	-
36	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ㈱	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	25.12.2	-
37	物質工学科 谷藤尚貴	㈱ADEKA	谷藤尚貴准教授研究助成のため	300,000	15,000	25.12.2	-
38	機械工学科 松本 至	鳥取グリコ㈱	「自走式配管外周掃除ロボットの開発」に関する調査研究	90,000	4,500	25.12.6	足立
39	建築学科 前原勝樹	平井建設㈱	室内環境測定のため	100,000	5,000	25.12.10	-
40	機械工学科 大塚 茂	フマキラー㈱開発本部	産学連携 シーズ・ニーズマッチング	300,000	15,000	25.12.16	-
41	機械工学科 森田慎一	丸高工業㈱	微圧蒸気発生改良装置の開発のため	100,000	5,000	25.12.16	西本
42	校長 齊藤正美	前田道路㈱	全国高専デザインコンペティション2013 in 米子への助成	500,000	0	25.12.19	-
43	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ㈱	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	26.1.10	-
44	電子制御工学科 徳光政弘	(公財)中部電気利用基礎研究 振興財団	論文投稿費用に関する助成	100,000	0	26.1.23	-
45	機械工学科 森田慎一	スリーエステクノ㈱	セパレート型床冷・暖房装置開発のため	100,000	5,000	26.2.3	-
46	機械工学科 森田慎一	丸高工業㈱	微圧蒸気発生改良装置の開発のため	100,000	5,000	26.2.3	西本
47	校長 齊藤正美	米子高専後援会	米子工業高等専門学校学生教育環境充実助成費	10,490,000	0	26.2.12	-
48	機械工学科 森田慎一	丸高工業㈱	微圧蒸気発生改良装置の開発のため	100,000	5,000	26.2.25	西本
合 計				21,921,170	471,570		

※昨年同月 36件 22,960,000円
(24年度 36件 22,960,000円)

4(出典 平成 26 年 3 月 19 日 学科長会議資料)

資料A-1-②-10

4. 受託事業

(単位:円)

No.	担当者名		委託者	受託事業	事業費	うち 間接経費	契約 年月日	CD 関与
	所属	代表者名						
1	教養教育科	加藤博和	鳥取県消費生活センター	くらしの経済・法律講座	154,000	14,000	25.4.1	-
2	建築学科	北農幸生	鳥取県職員人材開発センター	課題対応スキル向上事業	272,560	53,000	25.9.4	-
合 計					426,560	67,000		

※昨年同月 4件 2,487,074円
(24年度 4件 2,487,074円)

5. 科学研究費補助金

No.	担当者名		分担者等	研究課題	事業費	うち 間接経費	研究期間	種目
	所属	氏名						
1	物質工学科	谷藤尚貴	分担者:名古屋大学 吉川浩史	1分子における規則的構造変化を材料化できる新規フォトクロミック材料の開発	1,300,000	300,000	H23~25	基C
2	機械工学科	大塚 茂	-	多孔質動圧スラスト・ラジアル複合軸受における非定常時軸心挙動の実験的解明	1,300,000	300,000	H24~26	基C
3	建築学科	細田智久	-	歴史的町並地区で多世代が同居近居により支え合う持続可能な居住環境整備に関する研究	1,300,000	300,000	H24~27	若B
4	教養教育科	小林玉青	-	非振動くりこみ群によるマルチスケールアプローチ	780,000	180,000	H24~26	萌芽
5	技術教育 支援センター	上田輝美	-	廃ガラスの高度化利用を目指した学生実験の取り組みに関する研究	500,000	0	H25	奨励
6	物質工学科	谷藤尚貴	代表者:名古屋大学 吉川浩史	高機能なナノポーラスカーボンの開発とエネルギー材料への応用	650,000	150,000	H25~26	萌芽
7	教養教育科	原 豊二	代表者:聖徳大学 正道寺康子	『琴操』を中心とした中国古琴曲および音楽説話の日本古典文学への影響に関する研究	624,000	144,000	H23~25	基C
8	建築学科	小原弘佳	代表者:長岡技科大 松川寿也	自然公園地域での売電施設立地を含めた機動的・連携型土地利用制御手法に関する研究	130,000	30,000	H25~27	基C
合 計					6,584,000	1,404,000		

※金額は今年度分のみ

6. 登録特許

No.	担当者名		特許権者	発明の名称	登録番号	出願 年月日	登録 年月日
	所属	氏名					
1	電気情報工学科	榎田英功	(株)SOMジャパン 高専機構	自己組織化マップを用いた健康状態判定支援システム及び自己組織化マップ生成システム	5296392号	20.2.8	25.6.21
2	(電子制御工学科)	(雑賀憲昭)	高専機構	血中グルコース濃度情報の取得方法	5360718号	21.11.2	25.9.13
3	機械工学科	森田慎一	高専機構	スターリングエンジン	5392675号	21.3.30	25.10.25

ちゅうごく経済

中山間地 潜むパワー

電源 選択 小水力

農業用水でも発電可能




ニッパを全産する鳥取県倉吉市の養馬場。池から黒いホースが伸びる。約100以下の細状の発電装置（出力100W・1.5kW）に、5分の高圧水を使って水を流し、水車を回転させる。計3台で発電した電気は、畜舎の照明や排水槽に使われている。実証実験している鳥取県産業技術センター・機械系研究所によると、装置は通常の100Wと比較的持ち運びやすく、落着き水車によって発電量が決まる。農業用水など

どの量の水でも発電できるため、中山間地向けの電源として利用している。昨秋、地産企業に技術者を渡す。格別な販売に向け、準備を進めている。

出力100ワット以下のマイクロ水力発電機が、福馬場一原の事故以降、こわかに注目をされている。発電量も少ないが、わずかな水でも簡単に利用できるからだ。

こうした小水力発電も水利権の調整が必要だが、大規模ダムと違って環境への負担が少なく、中国地方での関心は高い。小出力の装置を開発するメーカーも増えた。門脇正所氏は、電力が小さいため、当面は畜舎でも、農作業の補助電源や非常用電源として奨励したいと話した。

一方、すでに小水力発電に取り組んでいる事業者にとっても、追い風が吹いている。再生可能エネルギーで発電した電力を電力会社が固定価格で買い取る新制度が、買い取り対象が、新設の施設だけでなく、既存施設も対象にする方針が最近、示されたからだ。

この価格なら、つちも十たつていける。岡山県西粟倉村の上山隆浩・産業観光課長は、既存施設の「制度の価格は改修促進にもつながり歓迎したい」と話した。

農政担当の土井副課長は、新制度の価格改修促進にもつながり歓迎したいと話した。

協会の事務局のJ.A.岡中会長（広島市）によると、会員施設がつくる電力は全量、中国電力に売っているが、価格は平均約9円。これで改修費がつかさで半数以上が赤字という。

西粟倉発電所の水車や配電盤。老朽化で施設の改修が検討されている＝岡山県西粟倉村

(出典 平成24年6月14日 朝日新聞)

学

企業技術者等と連携した地域共同教育の推進

- 課題設定と課題解決能力を養う実践的な教育に取り組んでいます。
- 地元企業と連携し、ものづくり技術の継承と地域の人材循環サイクル確立を目指します。



▶ 地域ニーズに対応した地域共同教育を推進

地元企業が抱える課題やニーズを学生の「卒業研究」、「特別研究」のテーマに設定し、地元企業との「地域共同教育」を行うことで、実践的な教育が展開され、即戦力となる人材の育成につながります。また、これらの活動を通して学生の意識が地元企業に向くことで、人材の地元定着やものづくり基盤技術の継承なども期待できます。



▶ 電気自動車の分解・組立実習を通じて次世代の技術者を養成

EV(電気自動車)等の生産を計画している株式会社ナノオプトニクス・エナジー米子工場において、同社員が講師を務める実習を行いました。EV小型車を対象に、事前に学生達自らが作成した構成部品の工作図や作業手順書をもとに作業を進め、効率的に組み付けるための生産技術やEV車の構造について理解を深めました。



▶ 建築学科の学生達のアイデアをもとに、自動車教習所のトイレをリニューアル

学校法人 米子自動車学校からの依頼を受け、建築学科・高増研究室の学生達が山陰両県の公共施設トイレを調査するなどして設計図をまとめ上げました。男性用には光触媒タイルを、女性用にはパウダーコーナーを、多目的トイレにはオムツ交換台を新たに設置し、利便性を高めました。「居心地の良い空間になり、予想を上回る出来栄えに満足しています。」と依頼先からも好評でした。

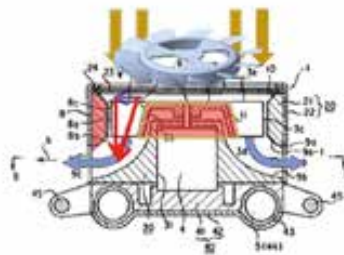
(出典 地域共同テクノセンターパンフレット)

産

技術相談・共同研究などの推進

- 民間企業が抱える技術的な課題に対するご相談を承ります。
- 米子高専との共同開発により新しい発想を取り入れた技術革新が可能です。

▶ フマキラー・どこでもベープ(ファン式害虫防除装置) 防虫用ファンシステム開発設計



企業名:フマキラー株式会社 開発研究部
機械工学科:大塚 茂 教授

独自の「ファン自動設計プログラム」を用いて最適化設計を行い、ファンの最小・最軽量化を実現。大きな風量を生み出す「メリディアン加速流ファン」、ファンの効率を高める新設計の特殊壁「環状ケーシング」を開発しました。薬剤を効率よく拡散するファンのおかげで、虫よけ効果が従来品の5倍となりました。

▶ 妖怪神社・おみくじロボット



企業名:株式会社アイズ(境港市)
機械工学科:松本 至 教授

2006年秋以降、妖怪ブロンズ像で有名な境港市の水木しげるロードに「おみくじロボット」が登場。おみくじを運ぶ人気キャラクターの頭部が入れ替わる仕組みを、本校学生と教員が開発しました。ユニークな動作が観光地を盛り上げています。

▶ 日南振興株式会社・エコテクウッディハウス (木製農業用ハウス)



企業名:日南振興株式会社
建築学科:稲田 祐二 教授

地場産木材を用いた新たな構造物を開発。地元の豊富な森林資源を活用し、地場産木材や間伐材の需要拡大の一躍を担うとともに、環境にも配慮しています。

(出典 地域共同テクノセンターパンフレット)

地域課題を解決し地域の活性化を推進

- 本校の特長を生かし、地元の産業振興や教育・文化の発展に寄与します。
- 自治体や各機関と包括連携協定を締結し、多様な分野で地域を盛り上げます。

CASE.1 中海の水質調査



連携先：米子市
技術教育支援センター：大谷 文雄 技術長
日野 英彦 技術職員

1999年から受託研究として、中海の各調査地点で水深、透明度やCOD(化学的酸素要求量)などの項目を調査しています。水質、無酸素水域や潮流の変化が将来的に中海の水環境に及ぼす影響を解析し、水質保全に資することを目的としています。

CASE.2 JR岸本駅前周辺整備計画の立案



連携先：伯耆町
建築学科：細田 智久 准教授・学生

伯耆町から依頼を受けた学生達が、JR岸本駅前に建設される待合施設の基本構想を地域住民と意見交換を重ねながらまとめ上げました。駅利用者の利便性向上にむけた調査を実施し、駅舎周辺の景観に配慮した設計図や模型を作製しました。木材利用、太陽光発電システムなどエコ設備が盛り込まれ、研究成果をまちづくりに活かしています。

CASE.3 自然エネルギー(地熱・太陽光)の利用による農作物の育成促進研究



連携先：鳥取県農林総合研究所
機械工学科：森田 慎一 教授

作物には適正な育成温度があり、地温を制御すると成長を促進できます。これまでの石油や電気を使用する方法に代わり、季節にかかわらず安定した温度を保つ地熱を使うなど、自然エネルギーを利用する農作物の育成促進技術の確立を目指して研究しています。

(出典 地域共同テクノセンターパンフレット)

H25年度専攻科2年生 特別研究・指導教員・発表学会等一覧

資料A-1-②-12

専攻	特別研究テーマ	主査氏名	発表学会名(年度・開催地)
生産システム工学専攻	波力発電用直線翼垂直軸タービンに関する研究	早水 庸隆	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市) 日本機械学会 第91期日本機械学会流体工学部門講演会(H25年度・福岡)
生産システム工学専攻	Bi系高温超伝導ウィスカーの作製と特性評価	田中 博美	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 第19回日本高専学会年会(H25年度・高知) ISTS2012(H24年度・Bangkok) ISTS2013(H25年度・Hong Kong)
生産システム工学専攻	人工関節用材料に関する研究	大塚 宏一	日本機械学会 中国四国支部 第51期総会・講演会(H24年度・香美市)
生産システム工学専攻	テ일러・クエット流れ中における運動精子の挙動に関する研究	早水 庸隆	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第40回可視化情報シンポジウム(H24年度・東京) 日本機械学会 第90期日本機械学会流体工学部門講演会(H24年度・京都) 日本機械学会中国四国支部第51期総会・講演会(H24年度・香美市) 第11回日本流体力学会中国・九州支部総会・講演会(H25年度・広島) 日本機械学会 第91期日本機械学会流体工学部門講演会(H25年度・福岡)
生産システム工学専攻	2相発振器を応用した小規模R/Dコンバータの開発	井上 学	電子情報通信学会2012年総大会(専攻科入学直前のH23年3月末・岡山) 第22回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H25年度・山口)
生産システム工学専攻	支点の移動幅を考慮した倒立振り子のバラスト振り上げ制御	松本 至	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第21回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H24年度・広島) 第22回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H25年度・山口)
生産システム工学専攻	マイクロ水力発電のコンバータの製作	宮田 仁志	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
生産システム工学専攻	ECAP加工と焼鈍による微細粒Cu多結晶材の疲労挙動に及ぼすひずみ振幅および加工手順による影響	河添 久美	松山市 日本金属学会・日本鉄鋼協会・軽金属学会中国四国支部合同主催第27回「若手フォーラム」にて招待講演(平成25年度・岡山市)(上記講演大会において支部長賞を受賞したことによる)
生産システム工学専攻	ENF試験片を用いたプレコート鋼板における塗膜密着性評価	原 圭介	日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市)
生産システム工学専攻	超音波による油膜厚さ測定に関する研究	矢壁 正樹	日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市)
生産システム工学専攻	水溶性加工液リサイクルに関する研究	山口 頌司	日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市)
生産システム工学専攻	タブレット端末とeラーニングシステムを連動させた教材コンテンツの開発と評価	河野 清尊	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島) 第22回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H25年度・山口)
生産システム工学専攻	金属熱処理における数値シミュレーションの適用	権田 岳	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 日本高専学会第18回年会講演会(H24年度・三重県名張市) 日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市) 日本高専学会第19回年会講演会(H25年度・高知県南国市)
生産システム工学専攻	多孔質動圧スラスト・ラジアル複合軸受における非定常時潤滑特性の実験的検討(ヒボット支持タイプにおいて回転数勾配及びクリアランス変化が軸心振れ挙動へ及ぼす影響について)	大塚 茂	日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市)
生産システム工学専攻	無方向性けい素鋼板における画像解析を用いた局所磁化特性の推定	山本 英樹	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松)
生産システム工学専攻	心理音響評価量を用いたスピーカーシステムの音質評価	新田 陽一	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
生産システム工学専攻	実時間信号処理システムへの音声信号ブラインド分離アルゴリズムの実装と評価	河野 清尊	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島) 第22回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H25年度・山口)
物質工学専攻	含有硫黄有機ポリマーを用いた新しい電池材料開発	谷藤 尚貴	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 日本化学会西日本大会(H24年度・佐賀) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
物質工学専攻	シクロデキストリンおよびグリセリンを用いた吸着材の開発	小川 和郎	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
物質工学専攻	二重管式光触媒マイクロリアクタを用いた有機塩素化合物の分解	小田 耕平	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
物質工学専攻	ブドウ球菌由来の酵素によるアゾ色素の脱色	青木 薫	平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(高松) 第18回高専シンポジウム(H24年度・名取) 平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会(広島)
建築学専攻	明治～昭和前期の建築雑誌掲載図面に見る「住宅庭園」の分析	細田 智久	建築学会 中国支部 研究発表会(H24年度・岡山)
建築学専攻	事務所ビルの熱的混合損失・利得が発生する空調システムにおける制御パラメータの調整に関する研究	前原 勝樹	建築学会 中国支部 研究発表会(H24年度・岡山)
建築学専攻	東日本大震災におけるガレキ処理の実態と課題について	熊谷 昌彦	Vectorworks 教育シンポジウム 2013 OASIS奨学金授与生研究成果発表会(H25年度・東京)
建築学専攻	構造体コンクリート強度の評価手法	玉井 孝幸	建築学会 中国支部 研究発表会(H24年度・岡山) 日本建築学会大会(H25年度・札幌)
建築学専攻	降雨の影響を受ける構造体コンクリートの中性化速度に関する研究	玉井 孝幸	建築学会 中国支部 研究発表会(H24年度・岡山) 日本建築学会大会(H25年度・札幌)

(出典 専攻科資料)

H25年度専攻科1年生 特別研究・指導教員・発表学会等一覧

資料A-1-②-13

専攻	特別研究テーマ	主査氏名	発表学会名(年度・開催地)
生産システム工学専攻	ランドマークの選別によるロボットの自己位置検出精度の改善	中山 繁生	第22回計測自動制御学会中国支部学術講演会(H25年度・山口)
生産システム工学専攻	電動カートの商品化に関する研究	宮田 仁志	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島) 第15回IEEE学生シンポジウム(鳥取)
生産システム工学専攻	数値解析による不均質多孔質材料の機械的性質の推定	権田 岳	日本高専学会第18回年会講演会(H24年度・三重県名張市) 日本機械学会 中国四国学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会(H24年度・香美市) 日本高専学会第19回年会講演会(H25年度・高知県南国市)
生産システム工学専攻	脚部伸張型 3D準Passive Walkerの試作	松本 至	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
生産システム工学専攻	自然エネルギーの農業利用に関する実験的研究	森田 慎一	水温学会 第一回低温・水温研究会(H24年度・鳥取) 日本機械学会 2013年度年次大会 講演プログラム(岡山) 日本機械学会 熱工学コンファレンス(H25年度・弘前) 熱物性学会 熱物性シンポジウム(H25年度・富山)
生産システム工学専攻	iPad/iPhoneへのサークルコード傾き検出機能の実装と評価	河野 清尊	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
生産システム工学専攻	技能伝承の効率化に関する研究	山口 顕司	日本機械学会 中国四国学生会第44回学生員卒業研究発表講演会(鳥取)・予定
生産システム工学専攻	レアースを使用しない電気自動車用新型モータ及び駆動回路の試作	宮田 仁志	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島) 第15回IEEE学生シンポジウム(鳥取)
生産システム工学専攻	符号特性を持つ電流源を含むカオスバイキング発振回路の解析	宮田 仁志	第26回 回路とシステムワークショップ(H25年度・淡路島) 電子情報通信学会 非線形問題研究会(H25年度10月・高松)
生産システム工学専攻	二次流れのカオス化を利用したマイクロミキサの研究	早水 庸隆	日本機械学会 2013年度年次大会(岡山) 日本機械学会 第91期日本機械学会流体工学部門講演会(H25年度・福岡)
生産システム工学専攻	超音波による多孔質焼結油軸受の油膜厚さ測定	矢壁 正樹	日本機械学会 中国四国学生会 第44回学生員卒業研究発表講演会(H25年度・鳥取市)
生産システム工学専攻	iPad/iPhoneにおけるサークルコード認識の高速化	河野 清尊	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
生産システム工学専攻	低分解能磁極位置センサとDSPを用いたIPMSMのベクトル制御	宮田 仁志	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島) 中国地区高専・海外協定校 合同研究発表会 in Manila(フィリピン)
生産システム工学専攻	高温超伝導体における臨界電流密度の改善	田中 博美	応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会(H25年度・高松) 第19回日本高専学会年会(H25年度・高知) 真空・表面科学合同講演会(H25年度・つくば)
物質工学専攻	アクリロニトリルを用いたシクロデキストリンポリマーの合成と評価	小川 和郎	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
物質工学専攻	クリック法を利用した金属錯体の合成と機能	榎間 由幸	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
物質工学専攻	メルギのカルス誘導と繁殖法の検討	田原 麻里	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
物質工学専攻	高度に機能化した光増感剤の合成	榎間 由幸	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
物質工学専攻	天然物ケロノブシンの全合成研究	榎間 由幸	平成25年度中国・四国地区高等専門学校専攻科研究交流会(広島)
建築学専攻	安来市母里の歴史的町並み地区における居住環境と町並みファサードに関する研究	細田 智久	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	地場産材によるスペースフレームの開発	稲田 祐二	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	学生を中心に住民や専門家を交えた集団による空き家改修とその活用可能性	高増 佳子	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	山陰地方の地中熱を利用する環境配慮型住宅に関する研究	前原 勝樹	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	放課後の子どもの居場所づくりにおける施設計画および利用実態に関する研究	細田 智久	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	VAV方式における複数室制御の搬送動力低減に関する研究	前原 勝樹	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)
建築学専攻	行動心理学から見た公共施設計画に関する研究	熊谷 昌彦	建築学会 中国支部 研究発表会(H25年度・広島)

(出典 専攻科資料)

米子工業高等専門学校知的財産委員会規則
(設置)

資料A-1-②-14

第1条 本校に、独立行政法人国立高等専門学校機構知的財産ポリシー（平成17年1月13日独立行政法人国立高等専門学校機構理事長裁定。以下「ポリシー」という。）Iの5の四の規定に基づき、知的財産委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、ポリシーの定める審議事項について審議し、又はポリシーの定める知的財産に係る事項を処理する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者で組織する。

- (1) 地域共同テクノセンター長
- (2) 発明者が所属又は関係する学科長等
- (3) 総務課長
- (4) その他校長が必要と認める者

2 前項第1号から第3号に定めるいずれかの者が発明者となった場合は、その都度校長が指名する者をもって充てる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、地域共同テクノセンター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(雑則)

(後略)

(出典 規則集)

発明台帳

資料A-1-②-15

【H23～25 出願6件:うち3件は共同出願】

機構本部 受付番号	確定処分	発明の名称	発明者	共同出願人	機構承継		出願	
					機構承継	機構承継日 (非承継日)	出願日	出願番号
H23-032	出願済み	デジタル発振器	井上 学、稗田 祥正、小林 史典	高専機構 新日本無線株式会社 国立大学法人九州工業大学	○	2011/7/4	2011/9/12	2011-198037
H23-039	出願済み	回転角度検出装置	井上 学、稗田 祥正、小林 史典	高専機構 新日本無線株式会社 国立大学法人九州工業大学	○	2011/7/22	2011/9/12	2011-198036
H24-16	出願済み	救命胴衣	青木 薫、伊達 勇介、日野 英吾、竹本 利治	高専機構 株式会社カノン	○	2012/5/29	2012/5/31	2012-124065
H24-17	出願済み	卵殻膜の構造を活用した燃料電池向けの電解質膜開発	谷藤 尚貴		○	2012/10/17	2012/10/30	2012-238638
H25-49	出願済み	有機ボリスルフィド化合物の製造方法及び有機ボリスルフィド化合物	谷藤 尚貴		○	2013/9/11	2013/9/11	2013-188094
H25-79	出願済み	卵殻膜を用いた褐変又は色素沈着抑制剤、卵殻膜を用いた褐変又は色素沈着抑制剤、色素が吸着した卵殻膜、及び色素が吸着した卵殻膜粉末	谷藤 尚貴		○	2013/10/28	2013/10/31	2013-226494

【H23～25 登録査定6件:うち5件は共同出願】

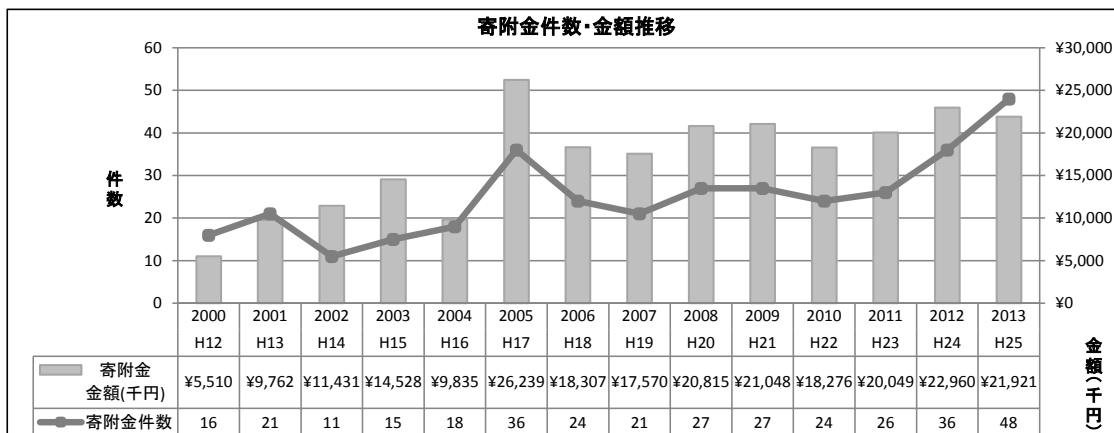
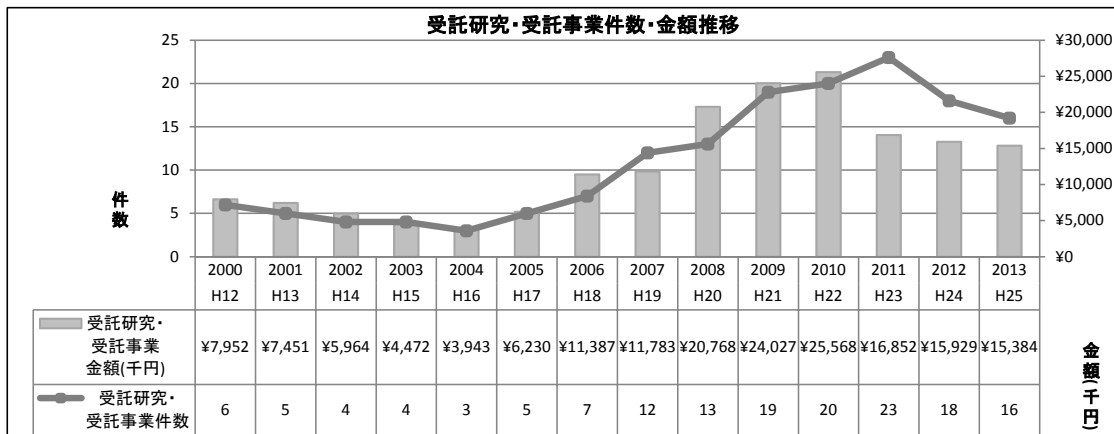
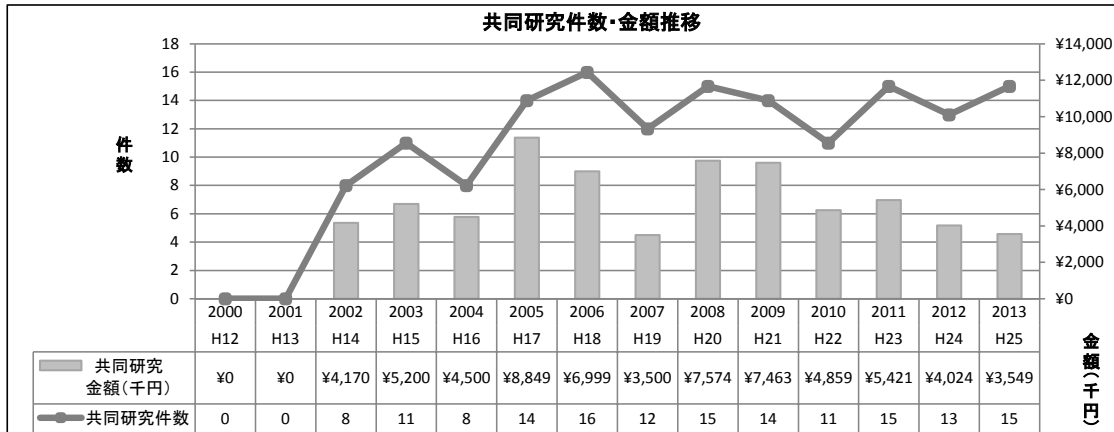
機構本部 受付番号	確定処分	発明の名称	発明者	共同出願人	機構承継		出願	
					機構承継	機構承継日 (非承継日)	出願日	出願番号
H17-081	登録査定	可視光応答型光触媒の製造方法	小田 耕平、青木 薫、生田 智章	鳥取県金属熱処理協業組合	○	38778	38828	2006-118581
H17-083	登録査定	食用肉の鮮度評価装置及びこれをを用いた食用肉の鮮度維持装置	雑賀 憲昭、木下 雅登、濱田 長生、池田 順治	松下電工株式会社	○	38783	38828	2006-118484
H17-084	登録査定	光学的生体情報測定方法及びその装置	雑賀 憲昭、木下 雅登、濱田 長生、池田 順治	松下電工株式会社	○	38783	38985	2006-259557
H19-113	登録査定	自己組織化マップを用いた健康状態判定支援システム及び自己組織化マップ生成システム	権田 英功、大北 正昭、能宗 伸明、藤村 喜久、郎、宮城 大祐、徳高 平蔵、馬庭 秀朗	国立大学法人鳥取大学、有限会社SOMジャパン	○	39541	39486	2008-029103
H20-044	登録査定	血中グルコース濃度情報の取得方法	雑賀 憲昭、宮石 陸	有限会社HOG, JAPAN	○	39836	40119	2009-251861
H20-060	登録査定	スターリングエンジン	森田 慎一		○	39849	39902	2009-081134

(出典 地域共同テクノセンター資料)

資料A-1-②-16

V. 地域共同研究開発推進事業

共同研究、受託研究、寄附金の件数と受入金額の推移を下図に示す。昨年度からの推移は、共同研究は金額は減少したが、件数は2件増加している。受託研究・受託事業は、件数、金額ともに微減した。また、寄附金は金額は微減したが、件数は48件あり、昨年度より12件の大幅増で過去最多となった。



4. 平成 25 年度 技術相談一覧

※は内容開示不可につきテーマ名変更済

担当者名		相談内容	
所属	氏名		
機械工学科	大塚 茂	水中ポンプ特性向上について	
		モータの磁束飽和について	
		ポンプ特性の確認と高効率化検討について	
		シロッコファン自動設計プログラムについて	
		水中ポンプのスラスト軸受に関する長寿命化検討について	
		多孔質動圧複合軸受の新規コア金型:三円弧形状(TLT 形状)、および HB II 形状について試作金型品に関する修正打合せと軸振れ振幅時刻歴などの測定について	
		SPS(プラズマ焼結システム)を利用した用途開発として、具体的な製法・製品に関する実験とその試作サンプルの透過率やヤング率の測定に関する検討について	
		超音波を利用した金属接点ブラシの油膜厚さ測定に関する立ち会い実験について	
		超音波を利用したマグネットの接着状態把握、および検知に関する可能性検討と立ち会い実験の要請について	
		大塚研究室製作の軸流ファン自動設計プログラム、およびシロッコ・クロスフローファンタイプ設計プログラムのユーザインターフェイスに関する改善検討について	
		ポンプ特性の確認と高効率化検討について	
		シロッコ・クロスフローファンタイプ自動設計プログラムのインターフェイス改善について	
		お風呂用、電気分解清浄装置の開発に向けた仕様把握と実施状況調査について	
		多孔質動圧ジャーナル軸受の新規コア金型:新三円弧形状(TLT II 形状)の形状設計に関する相談および製作のアドバイスについて	
		多孔質動圧複合軸受 HB II 形状試作に関する動圧形状測定と試作品の軸振れ振幅時刻歴などの特性評価について	
		SPS(プラズマ焼結システム)を利用した用途開発として、圧縮空気による気泡発生に関する具体的な試作品実験とその試作品の透過率測定に関する検討について	
		超音波を利用したマグネット接着状態の3次元的(面データ)把握、および検知に関する可能性検討と立ち会い実験の要請について	
		大塚研究室製作の軸流ファン自動設計プログラムに対して、羽根面形状の自動生成方法に関するユーザインターフェイスの開発について	
		動圧流体軸受に関する解析ソフトの導入と、その利便性や有効性について	
		軸流ファン自動設計プログラムを活用した新規空気清浄ファンシステムの開発について	
		松本 至	アミューズメントロボットの開発について
		森田 慎一	デザインレビュー試作部品について
			コンクリート養生に使用する重油燃料消費量
配管からの熱損失			
肉の加熱処理による性質変化			
太陽光利用温風供給について			
壁材の結露について			
湿度の算出について			
湿り蒸気による加熱について			
水中噴出騒音について			
水蒸気加熱について			
米の炊飯について			
食用鳥の加工について			
木質燃焼温風機の煙について			
木質燃焼温風機の能力計算について			
木材水分量について			
空調性能について			
山口 顕司	切削工具について		
早水 庸隆	マイクロ・ナノバブルに関する相談		
	バンカールーパーの圧力損失に関する相談		
	風洞試験装置に関する相談		
大塚 宏一	精密鑄造鋳型初層の微小硬度測定について		
	鑄造鋳型初層の微小硬度測定について		
権田 岳	ひずみゲージに関する相談		

※は内容開示不可につきテーマ名変更済

担当者名		相談内容	
所属	氏名		
電気情報工学科	権田英功	未病を評価する ～自己組織化マップを用いた脈波応用～(デバイス分野)	
	田中博美	表面分析支援ソフトウェアの開発	
		表面分析支援ソフトウェアの開発	
	石倉規雄	※特殊用途用電源の開発	
		※電力監視システムの開発	
※特殊用途用電力変換回路の開発			
電子制御工学科	香川 律	廃プラスチック・リサイクル材料の曲げ強度について	
		廃プラスチック・リサイクル材料製デッキによる静電気の除去・軽減対策について	
		H8を用いた簡易センサ・ネットワークについて	
		FatFsとSDカードを活用した音声ガイドシステム	
		ネットワーク対応映像情報配信システム	
		組み込みマイコン・システム教材の企画・開発	
		クラント・シャフト径の自動測定について	
		シリンダ・ライナ径の自動測定について	
		歯車のバックラッシュ測定について	
		河野清尊	AR機能を用いた景観再現システムの開発
	物質工学科	青木 薫	とっとり花回廊内の池水の浄化と水質分析について
			アスファルト補修材について
			井戸水の販売について
新しい救命胴衣の試作に関する相談			
金型の加熱シミュレーション			
※材料の浄化機能に関する相談			
※自社材料による環境浄化機能のフィールド研究			
中海浚渫溝の共同調査			
高分子の燃焼反応式			
小型鯉の高品質化			
VOCの測定法			
ペーパーラッジの有効利用法			
湊山公園 日本庭園の池の浄化について			
スラブ軌道の劣化対応について			
蟹加工ライン			
榎間由幸		フコイダンの構造解析	
小川和郎		ポリ乳酸の分子量について	
田中 晋		砂利に含まれる鉱物の成分分析	
谷藤尚貴		リサイクル素材を用いた色素増感太陽電池の研究	
伊達勇介		※製品評価	
	※製品評価		
	※製品設計		
	※製品設計		
	※製品設計		
	※製品設計		
	※製品設計		
	※製品設計		
	※製品評価		
	※成分分析		
建築学科	高増佳子	米子市公会堂を保存活用する活動の学生協力	
	細田智久	鳥取県セーリング連盟関連施設の計画	
		伯耆町 町民の森 建物設計に関する相談	
教養教育科	竹内彰継	廃プラスチック・リサイクル材料製デッキによる静電気と除去・軽減対策について	

平成24年度 各種委員会等 参加状況

資料A-1-②-18

委員等	所属部署・役職	氏名
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター実用化研究評価委員会委員	機械工学科	大塚 茂
新防雷システム導入に係る評価委員	電気情報工学科	松原 孝史
公益財団法人鳥取県産業振興機構評議員	地域共同テクノセンター長	新田 陽一
次世代・地域資源産業育成事業審査委員会審査委員	地域共同テクノセンター長	新田 陽一
一般社団法人鳥取県発明協会理事	地域共同テクノセンター長	新田 陽一
鳥取県大規模小売店舗立地審議会委員	電気情報工学科	新田 陽一
企業局西部事務所太陽光発電設備工事に係るプロポーザル審査委員会委員	電気情報工学科	宮田 仁志
鳥取県企業局太陽光発電設備プロポーザル評価委員会委員	電気情報工学科	宮田 仁志
国家試験・工事担任者試験補助員	電気情報工学科	権田 英功
鳥取県立米子工業高等学校学校評議員	物質工学科	竹中 敦司
米子市廃棄物減量等 推進審議会委員	物質工学科	田原 麻里
米子市建設工事等入札・契約審議会委員	物質工学科	田原 麻里
鳥取県西部広域行政管理組合建設工事等入札・契約審議会委員	物質工学科	田原 麻里
鳥取県環境影響評価審査会委員	物質工学科	田原 麻里
米子市環境審議会委員	物質工学科	田原 麻里
一般財団法人境港市文化振興財団評議員	建築学科	熊谷 昌彦
NPO法人自然再生センター理事	建築学科	熊谷 昌彦
鳥取県認定西部建築 職業訓練校時間講師	建築学科	山田 祐司
鳥取県景観審議会委員	建築学科	高増 佳子
米子市公共事業 評価委員会委員	建築学科	高増 佳子
米子市美術館協議会委員	建築学科	高増 佳子
鳥取県景観審議会委員	建築学科	高増 佳子
景観アドバイザー	建築学科	玉井 孝幸
国立大学法人鳥根大学総合評価審査委員会委員	建築学科	玉井 孝幸
鳥取県生コンクリート品質管理会議特別委員	建築学科	玉井 孝幸
米子市景観計画策定審議会委員	建築学科	細田 智久
景観アドバイザー	建築学科	細田 智久
江府中学校建設準備検討委員会委員	建築学科	細田 智久
町民の森(仮称)基本構想策定委員	建築学科	細田 智久
鳥取県屋外広告物審議会委員	建築学科	細田 智久
鳥取県文化財保護審議会委員	建築学科	藤木 竜也
鳥取県の歴史民俗事象調査指導員	建築学科	藤木 竜也
米子市交通バリアフリー推進協議会委員	建築学科	北農 幸生
安来市消防新庁舎建設設計委託者選定プロポーザル方式審査委員	建築学科	前原 勝樹
須佐温泉出雲ゆかり館木質トップボイラー設置工事審査委員の就任について	建築学科	前原 勝樹
米子市中心市街地活性化基本計画推進委員会委員	建築学科	小椋 弘佳
鳥取県環境影響評価審査会委員	建築学科	小椋 弘佳
鳥取県日野地区中山間地域振興協議会委員	建築学科	小椋 弘佳
米子市歴史館運営委員	一般科目	山藤 良治
鳥取県文化財保護審議会委員	一般科目	山藤 良治
新鳥取県史編さん専門部会(近世)委員	一般科目	山藤 良治
米子市立図書館「古文書研究会」講師	一般科目	山藤 良治
子ども体力向上支援委員会委員	一般科目	南 雅樹
鳥取県環境学術等研究振興事業評価委員会委員	一般科目	松崎 安子
米子市歴史館運営委員	一般科目	原 豊二
米子市図書館協議会委員	一般科目	原 豊二
鳥取県環境学術研究振興事業評価委員会委員	一般科目	中島美智子
鳥取県中部地域公共交通協議会委員	一般科目	加藤 博和
鳥取県明るい選挙推進協議会委員	一般科目	加藤 博和

合計 49件

(出典 地域共同テクノセンター資料)

IV. 地域社会への参加・貢献

1. 各種委員会等 参加状況

委員等	所属部署	氏名
鳥取県雇用創造1万人推進会議委員	校長	齊藤正美
鳥取県グリーンウェーブ推進チームエネルギーシフトプロジェクトチーム委員	機械工学科	森田慎一
(公財)鳥取県産業振興機構評議員	地域共同テクノセンター長	新田陽一
次世代・地域資源産業育成事業審査委員会審査委員	地域共同テクノセンター長	新田陽一
(一社)鳥取県発明協会理事	地域共同テクノセンター長	新田陽一
鳥取県大規模小売店舗立地審議会委員	電気情報工学科	新田陽一
ものづくり事業化有識者委員会委員	電気情報工学科	新田陽一
鳥取県企業局太陽光発電設備プロポーザル評価委員会委員	電気情報工学科	宮田仁志
鳥取県企業局太陽光発電設備評価委員会委員	電気情報工学科	宮田仁志
鳥取県立米子工業高等学校学校評議員	物質工学科	竹中敦司
米子市廃棄物減量等推進審議会委員	物質工学科	田原麻里
米子市建設工事等入札・契約審議会委員	物質工学科	田原麻里
鳥取県西部広域行政管理組合建設工事等入札・契約審議会委員	物質工学科	田原麻里
鳥取県環境影響評価審査会委員	物質工学科	田原麻里
米子市環境審議会委員	物質工学科	田原麻里
米子市廃棄物減量等推進審議会委員	物質工学科	小川和郎
広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター客員研究員	物質工学科	中野陽一
太田川生体工学研究会委員	物質工学科	中野陽一
(一財)境港市文化振興財団評議員	建築学科	熊谷昌彦
しまね建築・住宅コンクール審査委員会委員	建築学科	熊谷昌彦
日吉津村複合施設等設計監理者選定委員会委員	建築学科	熊谷昌彦
境港市下水道料金等審議会委員	建築学科	熊谷昌彦
鳥取県立中央病院建替整備基本計画提案者選定委員会委員	建築学科	熊谷昌彦
隠岐の島町住宅マスタープラン検討委員会委員	建築学科	熊谷昌彦
鳥取県創造運動活動表彰審査会	建築学科	熊谷昌彦
鳥取県耐震診断等評定委員会委員	建築学科	稲田祐二
米子市空き家等対策審議会委員	建築学科	稲田祐二
鳥取県防災顧問	建築学科	稲田祐二
米子市美術館協議会委員	建築学科	高増佳子
米子市公共事業評価委員会委員	建築学科	高増佳子
鳥取県景観審議会委員	建築学科	高増佳子
鳥取県景観アドバイザー	建築学科	玉井孝幸
島根大学総合評価審査委員会委員	建築学科	玉井孝幸
鳥取大学工事請負契約入札監視委員会委員	建築学科	玉井孝幸
鳥取県景観アドバイザー	建築学科	細田智久
町民の森(仮称)基本構想策定委員	建築学科	細田智久
鳥取県屋外広告物審議会委員	建築学科	細田智久
米子市景観審議会委員	建築学科	細田智久
米子市交通バリアフリー推進協議会委員	建築学科	北農幸生
日吉津村複合施設等設計監理者選定委員会委員	建築学科	前原勝樹
鳥取県環境影響評価審査会委員	建築学科	小椋弘佳
米子市中心市街地活性化基本計画推進委員会委員	建築学科	小椋弘佳
松江市史専門部会(民俗学会)の専門委員	教養教育科	永井 猛
鳥取県史編さん調査委員	教養教育科	永井 猛
鳥取県文化財保護審議会委員	教養教育科	山藤良治
新鳥取県史編さん専門部会(近世)委員	教養教育科	山藤良治
米子市立図書館「古文書研究会」講師	教養教育科	山藤良治
米子市文化財保護審議会委員	教養教育科	山藤良治
米子市歴史館運営委員	教養教育科	山藤良治

資料A-1-②-18

委員等	所属部署	氏名
子ども体力向上支援委員会委員	教養教育科	南 雅樹
鳥取県生活環境部指定管理候補者審査委員会委員	教養教育科	南 雅樹
鳥取県環境学術等研究振興事業評価委員会委員	教養教育科	松崎安子
国文学研究資料館国文学文献資料調査員	教養教育科	原 豊二
人間文化研究機構国文学研究資料館共同研究員	教養教育科	原 豊二
米子市歴史館運営委員	教養教育科	原 豊二
山陰研究プロジェクト客員研究員	教養教育科	原 豊二
米子市図書館協議会委員	教養教育科	原 豊二
米子市地域公共交通会議委員	教養教育科	加藤博和
鳥取県明るい選挙推進協議会委員	教養教育科	加藤博和
鳥取県中部地域公共交通協議会委員	教養教育科	加藤博和
米子市建設工事等入札・契約審議会委員	教養教育科	小林玉青
鳥取県西部広域行政管理組合建設工事等入札・契約審議会委員	教養教育科	小林玉青


(出典 平成 25 年度地域共同テクノセンター活動報告 P. 11)

資料A-1-②-19 委員会の詳細内容



平成25年3月26日

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
 実用化研究評価委員会
 委員長 田中 久隆 様

機械素材分科会
 分科会長 田中 久隆 

審議結果報告書

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター研究評価委実施要綱に基づき、機械素材分科会の基盤技術開発研究及び実用化促進研究について評価を行いましたので、その審議結果を報告いたします。

1 機械素材分科会開催日程

日時 平成25年2月21日(木) 午前8時30分～午後3時20分
 場所 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター 機械素材研究所
 米子市日下1247

2 機械素材分科会委員 (五十音順)

大塚 茂 独立行政法人国立高等専門学校機構米子工業高等専門学校
 校長補佐

4 審議結果

評価は研究評価実施要綱第9条から第11条第1項までの規定に基づき行った。各委員による採点及びその集計結果については別資料を参照されたい。

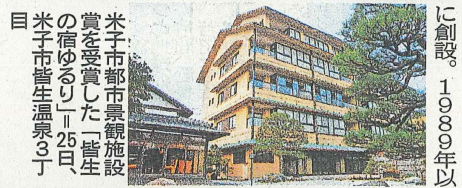
なお、評価コメントは完了課題については今後の課題として残る事項を、継続課題については今後の発展に向けての留意事項を、新規課題については効率的な推進に向けての注意すべき事項を委員間で共通認識としたものとして記載した。

① (基盤技術開発研究・完了) 表面結晶構造を制御したチタンシート被覆複合材料の開発 (H23-24) 中期計画関連 無機材料の加工技術、エネルギー関連技術及びリサイクル技術に関する分野 総合評点：3.83
評価コメント 成果普及のためのパンフレット等の作成、関係機関との連携による技術普及に努力すること。実用化プロセスでのコスト検討を行うこと。なお、特許出願、論文化とともに次の研究への発展を期待する。
その他、各委員の主なコメント <ul style="list-style-type: none"> ・当初目標に対しては、概ね達成していると思われる。 ・医療機器やエネルギー機器への製品実用化を目指して欲しい。 ・機能性評価項目にさらに定量的な要素を加えると、技術シーズとして企業にアピールしやすいと思う。 ・処理可能なサイズなどのデータを提示すると良い。研究継続して欲しい。

(出典 平成25年2月21日 鳥取県産業技術センター実用化研究評価委員会資料)

日本海新聞 平成 26 年 2 月 26 日(水) 25 面

米子都市景観施設賞
 「皆生の宿
 ゆるり」に
 米子市内の景観に調和した優れたデザイン
 の施設を表彰する第4
 回「平成の米子市都市
 景観施設賞」に、同市
 皆生温泉3丁目の旅館
 「皆生の宿ゆるり」が
 選ばれ25日、市役所で
 授与式があった。
 同賞は2010年度



に創設。1989年以
 米子市都市景観施設
 賞を受賞した「皆生
 の宿ゆるり」は25日、
 米子市皆生温泉3丁
 目

降に新築・改築され、
 公共の場所から見える
 民間施設が対象。今回
 は過去最多の4施設の
 応募があり、市景観審
 議会（会長・細田智久
 米子高専准教授）が選
 考した。
 ゆるりは9年、昭和
 20年代の建築とみられ
 る旅館の横に5階建て
 の新館を増築してリニ
 ュアル。新旧の建物
 のバランスが良く、周
 囲に施された植栽や庭
 園が手本になるとし
 て高い評価を受けた。
 授与式では、旅館を
 運営するアサヒエンタ
 ープライズ（同市皆生
 温泉3丁目）の浜本弘
 志副社長や設計、建設
 会社の関係者らが出
 席。細田会長が「昭和
 と平成の建物の融合が
 素晴らしく、緑の景観
 は趣がある」と評した。
 浜本副社長は取材に
 「施設の管理に苦勞し
 たかいがあつた。今後
 も地元の方々にかわ
 いがってもらえる施設
 でありたい」と話した。

(出典 平成 26 年 2 月 26 日 日本海新聞)

資料A-1-②-21

科学研究費申請・採択状況

21年度採択分()は継続
22年度採択分()は継続
23年度採択分()は継続
24年度採択分()は継続
25年度採択分()は継続
26年度採択分()は継続

資料
H26.5.16

(スタート支援公募含む)

26.5.16現在

	22	23	24	25	26	27	28	
機械工学科	大塚 茂		基C	基C	(基C)	(基C)		
	(河添久美)							
	松本 至	基C	基C	基C	基C	基C		
	森田 慎一	基B	基B	基C	基C	基C		
	山口 顕司	基C	(基C)	(基C)	基C	基C		
	権田 岳	若B	若B	若B	基C	基C		
	早水 庸隆	若B	若B	若B	若B	若B		
	矢壁 正樹	基B	基B	基B	基C	基C		
	(山根清美)					基C		
	大塚 宏一	若B	若B	若B	若B	若B		
	原 圭介		若B					
	藤田 剛							
	申請件数(継続含む)	7	9	8	8	8		
申請人数(継続含む)	7/10	9/10	8/10	8/11	8/10			
電気情報工学科	新田 陽一	挑戦	挑戦	挑戦	挑戦	挑戦		
	松原 孝史							
	松本 正己	挑戦						
	宮田 仁志	基C	基C	基C	基C	基C		
	浅倉 邦彦		(在外)	(在外)				
	権田 英功	若B	基C	基C	基C	基C		
	庄倉 克彦							
	田中 博美	若B	(若B)	(若B)	若B	若B	(若B)	(若B)
	奥雲 正樹		若B	挑戦	若B	若B		
	石倉 規雄				ス支	若B		
	松岡 祐介					若B		
	申請件数(継続含む)	5	5	5	6	7		
	申請人数(継続含む)	5/11	5/10	5/9	6/11	7/11		
電子制御工学科	青柳 敏							
	香川 律							
	河野 清尊	(基C)	(基C)	基C	基C	基C		
	能登路 淳							
	山本 英樹	基C	基C		基C	基C		
	中山 繁生	若B	若B	若B	挑戦	挑戦		
	井上 学					(在外)	(在外)	(在外)
	(村側博康)							
	角田 直輝					若B		
	徳光 政弘				ス支	若B		
	(加納尚之)	挑戦		挑戦	(挑戦)	(挑戦)		
	原田 篤					ス支		
	申請件数(継続含む)	3	3	2	4	6		
申請人数(継続含む)	3/8	3/9	2/8	4/10	6/9			
物質工学科	青木 薫	基C	基C	基C	基C	挑戦		
	小田 耕平	基C	基C	基C				
	竹中 敦司	基C	基C	基C	挑戦			
	藤井 雄三	基C	基C	基C	基C	基C		
	榎間 由幸	挑戦	若B	若B	若B	若A		
	小川 和郎	若B	若B	若B	若B	挑戦		
	田中 晋	若B	挑戦	挑戦	基C	基C		
	谷藤 尚貴	(特領)	基C	(基C)	(基C)	基B	(基B)	(基B)
		若B		特領	新学領	挑戦	(挑戦)	
	田原 麻里							
	(中野 陽一)					基C		
	伊達 勇介			若B	若B	若B		
	藤井 貴敏				若B	若B		
村田 和加恵			若A	若B	若B			
(里村 武範)	若B	(若B)	(若B)					
申請件数(継続含む)	10	8	11	11	10			
申請人数(継続含む)	9/11	8/11	10/12	10/13	9/11			

	22	23	24	25	26	27	28	
建築学科	稲田 祐二	基C	基C	基C		基C	(基C)	(基C)
	熊谷 昌彦							
	玉井 孝幸	基B	基C		基C			
	山田 祐司							
	高増 佳子	育休	(育休)					
	西川 賢治							
	細田 智久	(若B)	(若B)	若B	(若B)	(若B)	(若B)	
	前原 勝樹					基C		
	小椋 弘佳							
	金澤 雄記					若B		
	北農 幸生		若B	若B	若B	若B	(若B)	(若B)
	(藤木 竜也)							
	申請件数(継続含む)	3	4	2	3	5		
申請人数(継続含む)	3/10	4/10	2/10	3/10	5/10			
数学科	池本 幸雄							
	川邊 博	挑戦		挑戦	挑戦	基C		
	倉田 久靖	基C	基C	基C	基C	基C		
	酒井 康宏							
	竹内 彰継							
	中井 大造							
	(永井 猛)							
	布施 圭司	基C	基C	基C				
	南 雅樹							
	森田 典幸							
	山藤 良治							
	大庭 経示	挑戦				若B		
	加藤 博和	若B		若B	若B	若B		
中島 美智子	若B	若B	育休	(育休)				
(能登路 純子)								
(原 豊二)	若B			挑戦	挑戦			
松崎 安子	若ス							
大野 政人	若B	挑戦						
小林 玉青			挑戦	(挑戦)	(挑戦)			
早水 英美					若B	(若B)		
古清水 大直					ス支	若B		
(中川 右也)		若B	(若B)	若B	若B	(若B)	(若B)	
堀畑 佳宏					若B			
蔵岡 啓司								
(梶川 雄二)			基C					
(越智 信彰)	(若B)	若B	(若B)	(若B)				
(黒川 友紀)		若B	若B					
長福 香菜								
申請件数(継続含む)	10	7	8	7	8			
申請人数(継続含む)	10/23	7/23	8/22	7/21	8/20			

申請件数(継続含む)	38	36	36	39	44
申請件数(うち新規)	34	32	32	35	43
内新規採択	3	3	3	0	6
採択件数(継続)	4	4	4	4	3
採択件数(計)	7	7	7	4	9

申請人数(継続分を含む)	37/73	36/73	35/71	38/76	44/71
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

(出典 総務課企画・社会連携係資料)

米子工業高等専門学校評議員会規則

(設置)

第1条 米子工業高等専門学校(以下「本校」という。)に、学校運営に関し、外部からの意見を聴くため、評議員会を置く。

(審議事項)

第2条 評議員会は、校長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項について審議する。

(1)本校の教育研究活動に関する重要事項

(2)本校の地域貢献活動に関する重要事項

(3)その他本校の運営に関する重要事項

(委員)

第3条 評議員会の委員は10名以内とし、本校の教職員以外の者で高等専門学校に関し広くかつ高い識見を有する者の内から、校長が招へいする。

(会長)

第4条 評議員会に会長を置き、第3条に掲げる委員の互選によって決定する。

2 会長は、評議員会を招集し、その議長となる。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(意見の聴取)

第5条 評議員会は、必要があるときは関係者の出席を得て、意見を聴くことができる。

(事務)

第6条 評議員会に関する事務は、総務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、評議員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成16年3月31日規則第12号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年4月1日規則第24号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月6日規則第6号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(出典 規則集)

平成 25 年度米子工業高等専門学校評議員会議事要旨

1. 日 時 平成 25 年 12 月 9 日(月) 14:00～16:25

2. 場 所 米子全日空ホテル 2F 琥珀鳥の間

3. 出席者 【委員】

河田 康志 (議長) (鳥取大学工学部長)
 京兼 純 (明石工業高等専門学校校長)
 金田 昭 (財団法人鳥取県産業振興機構理事長)
 森脇 孝 (米子工業高等専門学校振興協会会長)
 杵築 邦昌 (トヨタ自動車株式会社 製品企画本部 PAZ 主査)
 増田 孝二 (米子工業高等専門学校後援会会長)

【米子工業高等専門学校】

齊藤 正美 校長
 大塚 茂 校長補佐 (企画)
 香川 律 校長補佐 (国際交流)
 森田 典幸 校長補佐 (学生)
 河野 清尊 校長補佐 (寮務)
 稲田 祐二 校長補佐 (専攻科)
 新田 陽一 地域共同テクノセンター長
 大山 正人 事務部長
 余村 豊 総務課長
 古杉 俊輔 学生課長

7. 議事

(1) 平成 24 年度自己点検・評価報告書について

大塚校長補佐 (企画) から、平成 24 年度自己点検・評価の紹介及び平成 25 年度の継続の部分について、細田企画主事補から説明する旨の説明があり、続けて、細田企画主事補から、パワーポイントの資料に基づき、教育に関する事項、研究に関する事項、社会との連携・国際交流及び管理運営に関する事項について説明があった。

【質疑応答】

- ・米子高専における第 3 期中期計画・中期目標の重点課題・重点目標について
- ・学生の英語力について
- ・入試での高倍率について
- ・女子学生について
- ・インターンシップについて (留学生のインターンシップ受け入れについて)
- ・国際交流について
- ・学生の活躍について
- ・卒業生ネットワークについて
- ・県教委との連携について
- ・学生募集活動について 等

(2) 地域貢献・産学連携について

新田地域共同テクノセンター長から、パワーポイント及び配布資料により、地域共同テクノセンター及び米子高専振興協会を通じた米子高専の地域連携・地域貢献について説明があった。

【質疑応答】

- ・共同研究、受託研究、寄付金の区別について
- ・鳥取県の戦略的雇用創造プロジェクトについて
- ・産学連携コーディネータの活用について
- ・科研費の採択率について 等

(3) その他

【全体を通じた質疑応答・意見等】

- ・高専からの進路について
- ・医工連携について 等

(出典 平成 25 年 12 月 9 日 評議員会議事要旨)

米子工業高等専門学校点検・評価委員会規則

(設置)

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、米子工業高等専門学校点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、校長の諮問に応じて、本校の教育研究及びその他の諸活動についての自己点検・自己評価、外部評価及び第三者評価に関する次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 点検及び自己評価の基本方針並びに実施に関すること。
- (2) 点検・評価の結果の公表に関すること。
- (3) 点検・評価の結果に対する意見・改善策等に関すること。
- (4) 外部評価及び第三者評価に関すること。
- (5) その他自己点検及び自己評価に関すること。

(点検部会)

第3条 委員会に、別表に掲げる点検部会を設置する。

2 点検部会は、それぞれの所掌に関する業務について年1回の自己点検・評価を行い、委員会へその点検結果を提出するものとする。

(構成員)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 校長補佐（企画、国際交流、教務、学生、寮務、専攻科）
- (2) 地域共同テクノセンター長
- (3) 事務部長

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、校長補佐（企画）をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集しその議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長の指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の出席)

第6条 委員長は、必要があると認める場合は、委員会に委員以外の者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則（平成24年3月28日規則第15号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 米子工業高等専門学校評価・改善委員会規則（平成17年12月22日規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成25年4月1日規則第28号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

第4回 点検・評価委員会議事要旨

日時 平成25年9月11日(水) 9:30~9:35 (運営会議前)
 場所 校長室
 出席者 校長補佐(企画)(委員長), 校長補佐(国際交流), 校長補佐(教務), 校長補佐(学生), 校長補佐(寮務), 校長補佐(専攻科), 地域共同テクノセンター長, 事務部長
 (陪席) 校長, 総務課長, 学生課長

議 題

(1) 平成24年度教育研究活性化経費に係る成果報告書評価(案)について
 (資料1)

大塚委員長から資料1に基づき, 異議申し立てのあった平成24年度教育研究活性化経費に係る研究成果の評価結果について, 既評価者と異なる評価者により再評価を行った旨報告があり, 評価結果について承認された。今後, 再評価結果を本人宛通知することとし, 再度異議申し立てがあった場合は校長裁量で評価を行うこととしたい旨併せて提案があり承認された。

(2) 教育研究活性化経費に係る事後評価について (資料2)

大塚委員長から資料2に基づき, 「教育研究活性化経費に係る事後評価について」の改正について提案があり承認された。

資料 /

平成24年度 教育研究活性化経費に係る成果報告書評価

○若手教員支援研究費

学科	研究者氏名	評価案作成担当者(評価・改善委員会)				判定
		担当者1	担当者2	担当者3	担当者4	
G	中川 右也	A+		A+		A+

参考 <区分と評価基準>

区 分	評 価 基 準
AA	申請した研究課題に関連する学会賞や論文賞の受賞, 特許申請, 科研費採択, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
A	申請した研究課題に関連する査読付論文, 著書, 商品化, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
B	申請した研究課題に関連する研究発表, 査読なし論文または報告書, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
C	上記のような成果がないか, または計画がほとんど達成されていないもの

(出典 平成25年9月11日 点検・評価委員会議事要旨)

資料A-1-③-4

資料 2

2013.9.11

教育研究活性化経費に係る事後評価について

I 報告書の内容に関する評価事項(期限内に報告書提出を義務付ける。)

1 プレ科研費

- ① 当初の研究目的・計画とその達成度
- ② 主な研究成果
- ③ 科研費への申請及び採択状況
- ④ 配分額 50 万円以上の研究課題にあっては、ヒアリングによる評価も行う。

2 地域に根ざした特色ある研究経費

- ① 当初の研究目的・計画とその達成度
- ② 主な研究成果
- ③ 研究成果の公表状況
- ④ 波及効果(教育部門及び研究部門)
- ⑤ 必要に応じて、ヒアリングによる評価も行う。

3 若手教員支援研究費

- ① 当初の研究目的・計画とその達成度
- ② 主な研究成果
- ③ 研究成果の公表状況
- ④ 波及効果(教育部門及び研究部門)

II 評価及びヒアリングは、各研究課題につき校長推薦の委員2～3名で行う。

III 以上により点検・評価委員会は、各研究に関し、次の基準で評価案を作成し、運営会議に答申する。

区分	評価基準			
	申請した研究課題に関連する研究発表、査読なし論文または報告書など	申請した研究課題に関連する査読付き論文、著書または商品化など	申請した研究課題に関連する学会賞や論文賞の受賞、特許申請、科研費の新規採択など	計画の達成状況
AA	(○)	(○)	○	≥50%
A	(○)	○	×	
B	○	×	×	
C	×	×	×	<50%

※ ()で表記される基準は下位の成果を示し、同区分右記の成果を上位とし、評価においてこれを優先する。

(出典 平成 25 年 9 月 11 日 点検・評価委員会議事要旨)

<評価基準>

- AA: 申請した研究課題に関連する学会賞や論文賞の受賞, 特許申請, 科研費の**新規**採択, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
- A: 申請した研究課題に関連する査読付き論文, 著書, 商品化, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
- B: 申請した研究課題に関連する研究発表, 査読なし論文または報告書, またはこれらと同等と認められる成果があり, かつ概ね計画どおり達成されたもの
- C: 上記のような成果がないか, または計画がほとんど達成されていないもの

なお, 計画の達成状況については研究者が属する学科長または科目主任のコメントを参考に評価委員が判断する。

IV 運営会議は, 評価結果に基づき, 次年度以降のこの経費の配分に活かす。

(出典 企画部資料)

運営会議議事要旨 (案)

- 1 日時 平成25年 9月11日 (水) 9:35~11:40
- 2 出席者 校長, 校長補佐 (企画), 校長補佐 (国際交流), 校長補佐 (教務), 校長補佐 (学生), 校長補佐 (寮務), 校長補佐 (専攻科), 地域共同テクノセンター長, 事務部長, 総務課長, 学生課長
- 3 議事要旨

【審議事項】

- (1) 平成25年度教育研究活性化経費の配分 (案) について
総務課長から, 資料1 (平成25年度教育研究活性化経費の配分について (案)) に基づき, 【新任・若手教員支援研究費】(1)《新任教員支援研究費》及び【教育研究特別支援経費】の配分額について提案があり, 審議の結果承認された。また, 【プレ科研費】, 【地域に根ざした特色のある研究経費】及び【新任・若手教員支援研究費】(2)《若手教員支援研究費》の配分については別途審議のうえ決定する旨連額があった。
- (2) 平成25年度非常勤講師の任用について
校長補佐 (教務) から, 資料2 (平成25年度非常勤講師の任用について) に基づき, 物質工学科田原先生の休みの間の授業について, 資料のとおり非常勤講師を任用して対応したい旨提案があり, 審議の結果承認された。
- (3) 平成25年度中国地区高専教員研修 (概ね着任5年以内) について
校長補佐 (教務) から, 資料3 (平成25年度中国地区高等専門学校教員研修 (概ね着任5年以内) 実施要項 (案)) に基づき, 今年度は本校が担当で開催する中国地区高専の初任教員研修について, 資料のとおり実施したい旨提案があり, 審議の結果承認された。

(出典 平成25年9月11日 運営会議議事要旨)

資料A-1-③-5

H25.5.15 会議資料
地域共同テクノセンター長

科学研究費補助金について

1) 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）の申請について

新任教員3名（石倉、徳光、古清水）申請

2) 科学研究費補助金審査結果に関する調査についてのお問い合わせ

先の教員会議にて、校長先生からお話がありましたとおり、本年度の科研費の新規採択案件（教員申請分）が皆無でした。この異例の事態に際し、本件を所管するテクノセンターとしては、何らかの対策を講じる必要があると考えます。

まずは状況を分析することから始めたく、本年度申請者の皆様におかれましては、下記に従って審査結果の報告をお願い申し上げます。

記

1.回答期限 平成25年6月14日(金)

2.回答先 c techno@yonago.k.ac.jp（地域共同テクノセンター長宛て）

3.回答方法 審査結果開示ページをファイルに保存し、メール添付で回答先まで

4.ファイルの作成・保存方法（IEの例）

科研費電子申請システムにログインし、審査結果開示ページを表示する

ツールメニューより「ファイル」「名前を付けて保存」を選択する

=>「CTRL」+「S」キーでもOK

ファイル名は「氏名」等、適宜

ファイルの種類は「Webアーカイブ、単一のファイル(*.mht)」で保存

5.備考

現在考えている対策は、申請書のポストレビュー（次回の申請に向けた改善点の提案）、プレ科研費の重点配分、申請件数増加のための啓蒙活動などです。

報告いただいた内容は運営会議メンバー、およびレビュー担当者以外には開示しません。

（出典 平成25年5月15日 運営会議資料）

運営会議議事要旨 (案)

- 1 日時 平成25年6月19日(水) 9:30~11:10
- 2 出席者 校長, 校長補佐(企画), 校長補佐(国際交流), 校長補佐(教務), 校長補佐(学生), 校長補佐(寮務), 校長補佐(専攻科), 地域共同テクノセンター長, 事務部長, 総務課長, 学生課長

3 議事要旨

【審議事項】

(1) 南ソウル大学校との交流について

校長補佐(国際交流)から, 席上配布資料(鳥取大学2013「海洋漂流ゴミを通して日韓の環境問題を考える」研修 米子高専担当プログラム(案))に基づき, 南ソウル大学校との交流事業について, 日程・プログラム等の説明があり, 審議の結果認められ, この内容で実施することとなった。

(2) 生産システム工学専攻及び物質工学専攻カリキュラム変更の申請について

校長補佐(専攻科)から, 資料1(変更の理由等)に基づき, 生産システム工学専攻と物質工学専攻のカリキュラム変更について説明があり, 審議の結果認められた。

【報告事項】

(1) 校長・部長会議の報告について

校長から, 資料2(高専機構校長・部長会議の説明要旨等)に基づき, 6月14日に行われた, 高専機構校長・部長会議についての報告があった。

なお, 本日開催の学科長会議でも校長から重点を口頭で報告することとなった。

(2) H19年度認証評価フォローアップ事項のまとめについて

校長補佐(企画)から, 席上配布資料(認証評価委員の個別指導と本校の改善策(案))に基づき, 企画部のほうで修正を加えた案について報告があり, 今後各部署で再度精査してほしい旨依頼があった。

(3) 平成25年度非常勤講師の任用について

校長補佐(教務)から, 資料3(平成25年度非常勤講師の任用について)に基づき, 教養教育科山藤先生が休みの間の担当科目について, 資料のとおり非常勤講師の時間数を増やして対応する旨報告があった。

(4) 科研費審査結果に関する調査について

地域共同テクノセンター長から, 席上配布資料(要回収)に基づき, 科研費の審査結果の報告を受け, 分析した結果について報告があった。

(5) 消防立入検査の実施について

総務課長から, 資料4(消防立入検査の実施について等)に基づき, 8月1日(木)に実施されることとなった消防の立入検査について, 検査内容・検査方法等の説明・連絡があった。

(6) 平成25年度防災避難訓練についての意見と次回に向けての対策

総務課長から, 資料5(平成25年度防災避難訓練についての意見と次回に向けての対策)に基づき, 5月22日に実施した防災避難訓練について, 教職員及び消防署からの意見・指摘事項とそれに対する対策について報告があった。

(出典 平成25年6月19日 運営会議議事要旨)

資料 A-1-③-7

平成24年度 FD 研修会



部署 : 企画・社会連携係
公開日時 : '12/09/21



また、審査員が1件の審査に何分間時間を割いているかを考慮したタイトルと概要の書き方のコツを伝授するとともに、「分かる」とはどういうことかについて、事例を挙げつつ解説しました。

さらに、実際の研究計画書や申請書類を教材に、研究テーマ名や概要の書き方・直し方についてワークショップを行いました。参加した教職員からは、「実際に文章を直すとなると難しかったが、講義で聴いた内容を思い出しながら修正することで以前より分かりやすい文章になったと思う。」といった声が上がりました。

声が上がり、講演終了後も熱心な質問が交わされ盛会のうちに終了しました。
米子高専では、このような外部資金獲得のための方策を引き続き行っていく予定です。



このたび、科学研究費の公募申請時期を控えた9月19日に米子高専産学連携コーディネーター 西本 弘之 氏(前:鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 所長)を講師に、「知って得する申請書・提案書の書き方」と題した教職員向けFD研修会を開催し、教職員約50名が受講しました。

講演では、在職していた産業技術センターでの経験に基づき、補助金等提案書類の書き方として、審査員は技術者ばかりではないため、一般的で分かりやすい文章で書くことや技術を細かく説明するのではなく上位階層の総論

や背景から説明することの重要性について説きました。



配布した演習課題について、審査委員になったつもりで、理解できれば○△×の記号を入れてください。
△×と記述したところには、何が不足しているか考えて下さい。
記述が終了したら、全員で印象をディスカッションします。

平成25年度 FD 研修会



米子高専では、科学研究費の公募時期を控えた8月29日、教職員向けFD研修会を開催しました。

ベストセラー「科研費獲得の方法とコツ」の著者・久留米大学 分子生命科学研究所 教授 児島将康 氏による講演『科研費獲得の方法とコツ:書き方次第でこんなに違う!』を行い、教職員約40名が受講しました。

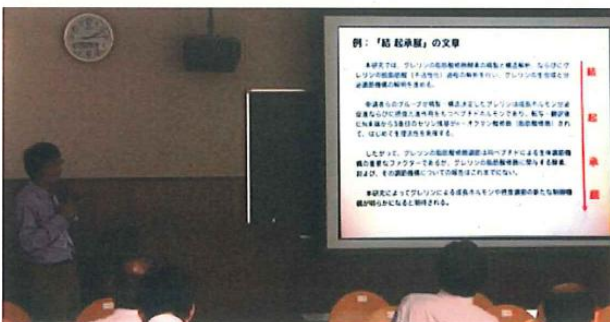


児島教授は、審査委員にとって「わかりやすい」申請書にするためにはどうすれば良いか、文書の組み立て方、重点を置くポイント、採択されなかった場合の対策などを、実例(サンプル)を交えて詳しく解説しました。

児島教授は参加者と同じ科研費申請者でもあります。同じ目線で、自身の経験や本音を交えた講演は「とてもわかりやすく

参考になった」と好評でした。講演後も参加者から熱心な質問が投げかけられ、盛会のうちに終了しました。

本校では引き続き、このような外部資金獲得のための方策を行っていく予定です。



(出典 校外向け Web ページ)

選択的評価事項B

様式1
資料B-1-①-1

平成25年度 公開講座等実施計画書

講座（イベント）名	親子ふれあい科学教室					
開催会場	<input checked="" type="checkbox"/> 校内（エレクトロニクス実験室, 基礎化学実験室） <input type="checkbox"/> その他					
開催期間	第一希望 平成25年7月20日～平成25年7月20日 第二希望 平成25年7月27日～平成25年7月27日 第三希望 平成25年7月21日～平成25年7月21日					
時間帯・時間数	9時00分～16時00分 7時間					
受講対象者	本校近隣の小学校高学年生とその保護者					
募集人数	20組40人					
傷害保険	必要					
趣旨及び目的	現在の便利な生活形態は、科学技術の利用に留まり、科学の諸現象の認識や理解に至ることがない。このような傾向が続けば、科学技術に対する関心が薄れ国益に甚大な損失をもたらすことは明白である。このような状況を打開すべく、小学生、その保護者を対象とした『物作り』教室を開催する。これは『物作り』を通して、家庭で頻繁に使われている生活物品、家電における科学技術利用を認識し、感激することで科学技術に対する興味を喚起することを目的とする。また親子で参加することにより『物作り』を通じた親子のふれあいの場を提供し、並行して『物』のリサイクル教育に役立てたい。					
実施主体	電気情報工学科、物質工学科（共催：）					
所要経費内訳 (別紙でも可)	区分	員数	単価(円)	金額(円)	備考	
	謝金(外部講師のみ)	—		0	0	
	旅費	—		0	0	
	物品費					
	電気実験用消耗品	20式	2,000	40,000		電子部品等
	電気実験用消耗品	一式	50,000	50,000		電子部品等
	化学実験用消耗品	20式	1,000	20,000		器具・試薬等
	化学実験用消耗品	一式	50,000	50,000		器具・試薬等
	合計	—	—		160,000	
講師 職名・氏名・時間数 (実施責任者に◎印)	所属・職名等	氏名	担当時間数	備考		
	准教授	◎権田英功	7時間			
	教授	宮田仁志	7時間			
	准教授	小川和郎	7時間			
	准教授	櫻間由幸	7時間			
准教授	○谷藤尚貴	7時間				
その他	◆継続して実施する場合の前年度との変更点(企画, 実施形態等) 実験テーマを変える場合がある。					
	◆その他 補助学生(20名)を必要とする。					

(出典 地域共同テクノセンター資料)

発行：2014.4

イベントのご案内

米子工業高等専門学校は、中学校卒業者を対象に5年一貫の教育を行うことにより、日本の工業を支える技術者を養成することを基本的な目標としていますが、地域社会との連携を深めるために地域の皆様方の生涯学習に資する「公開講座」を実施しています。

本年度の「公開講座」も、近年のいわゆる「理科離れ」に対応する小・中学生対象の科学教室などを用意しました。内容は、いずれも予備知識を必要としない、わかりやすいものとしております。

地域の皆様のご参加をお待ちしています。

米子高専 イベント ガイド

— 平成26年度版 —
2014.5 ~ 2014.11

記載内容については変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

★小学生・中学生向け公開講座★

受講希望者が定員を超えた場合には、抽選となります。

参加無料

**身近な医薬品の合成**

この講座では、サリチル酸から医薬品（痛み止めや解熱剤）の成分である「アセチルサリチル酸」と、筋肉痛などを緩和する「サリチル酸メチル」を合成します。その後、実際に合成したものが上手くできているかを機器分析で解析します。米子高専で“本格的な実験”に挑戦してみませんか？

日 時：平成26年6月14日（土）10:00～16:00
場 所：米子高専 有機化学実験室
対 象：中学生以上（保護者参加可）
定 員：10名
受付期間：平成26年5月14日（水）～5月23日（金）

**色ガラスで“キラキラ”アクセサリと時計をつくろう**

この講座では、色ガラスを並べ、重ねたものを加熱して、アクセサリと時計を製作します。ガラス板の上に、色ガラスやガラスビーズを配置して焼くことで、色が混ざりあった、きれいなペンダントと時計を作ることができます。デザインするおもしろさを体験してみましよう！作成したグッズは、後日（2週間後）に発送します。

日 時：平成26年7月19日（土）13:30～16:00
場 所：米子高専 建築製図室1
対 象：小学4年生～中学3年生（保護者参加可）
定 員：15名
受付期間：平成26年6月10日（火）～6月20日（金）

**マイコンを使ったボール・シューターを作ってみよう**

この講座ではマイコン（マイクロコンピュータ）制御で動くボール・シューター（BB弾を発射する装置）を製作します。機械工学を楽しく学んでみませんか？

日 時：平成26年7月27日（日）10:00～13:30
場 所：米子高専 M科アトリエ
対 象：中学生
定 員：8名
受付期間：平成26年6月17日（火）～6月27日（金）

**増税も楽しもう！親子で作るコロコロスッキリ貯金箱**

今年は消費税のアップに伴い約4年ぶりに1円玉の製造が再開されます。おサイフの中で1円玉を目にする機会も増えるのではないのでしょうか？この講座では、そんな1円玉をはじめ全6種類のコインがコロコロと転がりながら自動分類される貯金箱を作ります。

日 時：平成26年7月27日（日）13:00～17:00
場 所：米子高専 講義室1
対 象：小学3、4年生とその保護者（保護者必須）
定 員：親子10組20名
受付期間：平成26年6月17日（火）～6月27日（金）

（出典 地域共同テクノセンター発行 平成26年度イベントガイド）

資料B-1-①-2

**不思議なマイコン楽器を作ろう**

この講座ではマイコン（マイクロコンピュータ）を使ったギターのような不思議な楽器を作ります。このマイコンを使った楽器は、センサーで距離を測り、プログラムでその長さを音に変換していきます。

また、マイコンの入門キットを使いますので簡単なコンピュータの勉強もできます。コンピュータや科学に興味のある中学生のみ皆さんの参加をお待ちしています！

日 時 : 平成26年8月21日(木) 10:00~15:00
場 所 : 米子高専 電子計測実験室
対 象 : 中学生(保護者参加可)
定 員 : 5名
受付期間 : 平成26年7月23日(水)~8月1日(金)

**親子で楽しむロボットづくり教室**

音に反応して動くロボット「メデューサ」を作り、親子で一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

ロボットの仕組みを学び、ものづくりのおもしろさを体験しませんか？教室では、はんだ付けによる回路作り(約2時間)とロボット組立(約2時間)を予定しています。ロボットに興味のある人は、ぜひ参加してください！

日 時 : 平成26年8月23日(土) 10:00~15:00
場 所 : 米子高専 電子計測実験室
対 象 : 小学4~6年生とその保護者(保護者必須)
定 員 : 親子16組32名
受付期間 : 平成26年7月23日(水)~8月1日(金)

**親子ふれあい科学教室 2014**

子どもたちのあふれんばかりの不思議・驚きに応えるべく、親子で楽しめる「電子工作」「化学実験」を用意しました。子どもはたくさんのおもしろいことを不思議に思っています。その不思議を周りの人に「どうして?」「なぜなの?」と発信し続けています。身近な科学の面白さや不思議を体験し、親子でワクワクドキドキしてみませんか？親子のきずなを深めるよい機会です。親子の対話のきっかけ作りに参加してみたいかかでしょうか？

日 時 : 平成26年8月24日(日) 9:00~16:00
場 所 : 米子高専 エレクトロニクス実験室、基礎・分析化学実験室
対 象 : 小学校5、6年生とその保護者(保護者必須)
定 員 : 親子20組40名
受付期間 : 平成26年7月23日(水)~8月1日(金)

11年目の今年は、こんなことをやるよ！
午前、午後で両方できます。
◆電子工作「右から左へ時刻が流れるスクロールクロックを作ろう！」
◆化学実験「スライム・手鏡・電池・金を作ろう！」

**楽しいマイホームづくり**

この講座では、簡単な住宅設計ソフトウェアを使ってマイホームづくりを体験します。参加者のみなさんに建築への関心を高めてもらうことも目的としています。

日 時 : 平成26年9月7日(日) 13:30~16:30
場 所 : 米子高専 建築CAD室
対 象 : 中学生(保護者参加可)
定 員 : 保護者を含め20名
受付期間 : 平成26年8月5日(火)~8月22日(金)

**アゾ染料の合成**

染料には多くの種類があり、合成染料として多く用いられているのがアゾ染料です。この講座では、スルファニル酸からアゾ染料のひとつである「オレンジII」を合成し、染色実験を行います。

染色実験を行いますので、汚れてもよい服装、またはエプロンをご用意ください。

日 時 : 平成26年10月25日(土) 10:00~16:00
場 所 : 米子高専 有機化学実験室
対 象 : 中学生以上(保護者参加可)
定 員 : 10名
受付期間 : 平成26年9月24日(水)~10月3日(金)

(出典 地域共同テクノセンター発行 平成26年度イベントガイド)

★中高生・一般向け公開講座★

受講希望者が定員を超えた場合には、抽選となります。

高校生以下無料



iOS アプリケーション開発入門

協賛：公益財団法人 鳥取県産業振興機構

この講座では、iPad や iPhone の OS である iOS で動作するアプリの開発をゼロから手ほどきします。また、講義の後半では Windows8 アプリや Android アプリの開発についても解説をします。

スマートフォンやタブレット端末のような多機能小型携帯端末が私達の生活を大きく変えようとしています。講座を通して、新しい技術への関心を高め、アプリの開発にも興味を持ってもらえれば幸いです。

- 日 時 : 平成26年9月6日(土) 9:30~16:30
- 場 所 : 米子高専 情報処理演習室
- 対 象 : 一般(できればプログラミング経験のある人)、中・高校生
- 定 員 : 10名
- 受 講 料 : 5,400円(中高生は無料)
- 受付期間 : 平成26年8月5日(火)~8月22日(金)
- 特記事項 : PC、タブレット端末、スマートフォン等を持参する必要はありません。

★次世代科学者育成講座★

受講希望者が定員を超えた場合には、抽選となります。

参加無料

この講座では、5つの分野に分かれて様々な実験を行います。お申し込みの際に、ご希望の分野を選択してお申し込みください。

なお、この講座は数回にわたって開催します。できるだけ全日程にご参加いただけるよう、開催日をご確認ください。(各分野で2回目以降の開催日、開催回数が異なります。)詳細は、第1回目の講座の際にご案内します。

- 日 時 : 第1回目開催日 平成26年7月21日(月・祝) 10:00~16:00
- 場 所 : 米子高専
- 対 象 : 中学生(保護者参加可)
- 定 員 : 各分野5名
- 受付期間 : 平成26年6月17日(火)~6月27日(金)

①化学分野

スルファニル酸(染料の原料)から「オレンジII(染料)」を合成し、染色実験を行います。染色から有機分子を考えます。

2回目以降の開催日:
8/23、25(計3回)

②金属材料分野

金属の引張(ひっぱり)試験と硬さ試験を行い、強さと硬さを測ることで、金属の性質を調査します。

2回目以降の開催日:
8/23(計2回)
どちらか1日の参加も可

③電気分野

パソコンで戦車ロボットの動きをプログラミングし、最強の戦車ロボットの製作を目指します。後半ではロボット同士で対戦し、改良を行いながら、最強ロボットを決定します。

2回目以降の開催日:
8/23、24日(計3回)

④天文分野

H α 線という特殊な光で太陽を撮影し、太陽の自転周期を測定します。「差動回転」と呼ばれる面白い現象も検出できるかもしれません。

2回目以降の開催日:
8/18、20、22(計4回)

⑤数学分野

放物線(面)を木材等で作り、音や光を集めて実験をします。放物線の理解を深め、様々な可能性を見出しましょう。「君たちが描く“放物線”は未来への懸け橋だ!」

2回目以降の開催日:
8/23、24、10/26(計4回)

★中学生向けイベント★

参加無料

エンジョイ科学館

※詳細が決まりましたら、HPに掲載します。

- 日 時 : 平成26年7月26日(土) 10:00~15:00
- 場 所 : 米子高専
- 対 象 : 中学生

オープンキャンパス(学校見学会)

詳しくは学生課 教務・キャリア支援係
(Tel: 0859-24-5022)までお問い合わせください。

- 日 時 : 平成26年8月9日(土)、10日(日)
- 場 所 : 米子高専(米子駅、鳥取駅、倉吉駅⇄高専 無料バスで送迎します)
- 対 象 : 中学3年生、保護者、中学校の教職員

米子高専って何をするとところ?

人と地球にやさしい、創造性豊かなエンジニアをめざして、ものづくり、ロボコン、エレクトロニクス、インターネット、プログラミング、バイオ、エコロジー、CAD、デザイン・・・だけではないよ。まだまだいっぱいあるよ。知りたい人はぜひ見に来てください。

みんなで参加しよう!
米子高専の
オープンキャンパスへ!!

(出典 地域共同テクノセンター発行 平成26年度イベントガイド)

★文化セミナー★ ～とっとり県民カレッジ連携講座～ 会場：中海放送センタービル 参加無料

協賛：公益財団法人 鳥取県産業振興機構

- 「電気技術史の偉人たち」 電気情報工学科 松原 孝史
日 時：平成26年6月22日（日）10：00～12：00
- 「幼稚園って何～建築空間から見た考察～」 建築学科 熊谷 昌彦
日 時：平成26年8月31日（日）10：00～12：00
- 「高専40年随想ログ」 物質工学科 小田 耕平
日 時：平成26年11月30日（日）10：00～12：00
- 「しのび寄るき裂ー金属疲労のお話」 米子工業高等専門学校名誉教授 河添 久美
日 時：平成26年12月21日（日）10：00～12：00

※文化セミナーはどなたでもご参加いただけます。
※詳しくは、学生課学術情報係(Tel：0859-24-5028)までお問い合わせください。

各講座の申込方法

原則、地域共同テクノセンターHPの公開講座申込フォームからお申し込みください。
(※電子メール、郵送、FAX、電話のお申し込みも可能です。)

お問合せ・お申込みは
こちら

米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター（企画・社会連携係）
〒683-8502 米子市彦名町 4448
TEL：0859-24-5007 FAX：0859-24-5009
HP：<http://www.yonago-k.ac.jp/center/index.html>
E-Mail：kikaku@yonago-k.ac.jp

米子高専 検索

HPでは過去の取り組みもご覧いただけます。

- ・ 個人情報、受講者との連絡・受講者名簿の作成など本公開講座を実施するために利用いたします。また、公開講座の分析・評価などの統計処理、及び本校が開催する講座等のご案内をさせていただくことがあります。
- ・ 傷害保険契約締結等のため保険会社に受講者名簿を提供することがあります。
- ・ イベント、講座の様子を写真撮影し、本校のPRに使用する場合があります。支障がある場合は事前に申し出てください。

■米子駅からの交通機関

バス（内浜線）下藤津行	20分	河崎南下車徒歩10分
	25分	中彦名下車徒歩8分
（内浜線）高専行	15分	高専前下車すぐ
（米子高専線）	15分	高専前下車すぐ（平日朝のみ）
J R（境線）境港行	15分	弓ヶ浜駅下車徒歩20分
タクシー	15分	

■米子鬼太郎空港からの交通機関

タクシー	15分
------	-----

■自家用車 校内に駐車場有

(出典 地域共同テクノセンター発行 平成26年度イベントガイド)

公開講座

No.	イベント名	開催日	時間帯	会場	対象	担当教職員	参加者数	満足度%	
1	【第1回文化セミナー】 古典に学ぶ-グローバル化時代の人材育成	5/25 (土)	10:00～ 12:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	校長 齊藤正美	47	94	
2	【第2回文化セミナー】 建築設備と制御のはなし	6/22 (土)	10:00～ 12:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	前原	34	87	
3	親子ふれあい科学教室	7/20 (土)	9:00～ 16:00	米子高専	小5、6と 保護者	権田(英)、石倉 谷藤、梶間、伊達	38	100	
4	親子で楽しむロボットづくり教室	7/21 (日)	10:00～ 15:00	米子高専	小4～6と 保護者	角田、能登路(淳)、 中山	33	100	
5	色ガラスで“キラキラ”インテリアグッズをつくろう	7/21 (日)	13:30～ 16:30	米子高専	小4～中3 と保護者	玉井、上田	29	100	
6	マイコンを使ったボールシューターを作ってみよう	7/27 (土)	10:00～ 15:00	米子高専	中学生	大塚(宏)、横田	10	100	
7	電源のいらない不思議なラジオを作ろう!	8/10 (土)	13:00～ 17:00	米子高専	小3、4と 保護者	横田、岡部、加納、 松本(充)	21	100	
8	エンジョイ科学館	機械館	8/20 (火)	10:00～ 15:00	米子高専	中学生	早水、権田(岳)	20	98
		電気情報館					浅倉	17	
		電子制御館					中山、徳光	13	
		科学捜査館					小田、藤井(雄)、日野	18	
		建築館					玉井、上田	25	
		理科館					竹内	15	
9	親子で楽しむロボットづくり教室	8/24 (土)	13:00～ 15:00 15:00～ 17:00	イオン日吉津	小4～6と 保護者	河野、山本、能登路(淳)、 中山、井上、角田、徳光	30 32	93 100	
10	iPad/iPhone 向けアプリケーション開発入門	9/7 (土)	10:00～ 16:00	米子高専	一般	河野、徳光	6	100	
11	楽しいマイホームづくり	9/8 (日)	13:30～ 16:30	米子高専	中学生と 保護者	山田、細田、北農	5	100	
12	天然物の抽出実験 眠気を覚ます物質カフェイン	9/15 (日)	9:30～ 12:30	米子高専	中学生	梶間	5	100	
13	【第3回文化セミナー】 数学で触れてみる	10/26 (土)	10:00～ 12:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	堀畑	21	93	
14	【第4回文化セミナー】 健やかに老いるために ～体を動かすこと、体を作ることについて～	11/23 (土)	10:00～ 12:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	南	30	88	

(出典 平成25年度地域共同テクノセンター活動報告 P.23)

CONTENTS

- ≡ トップページ
- ≡ 利用案内 (本校学生・教職)
- ≡ 利用案内 (一般利用者)
- ≡ 蔵書検索
- ≡ 論文等検索
- ≡ 文献複写・貸借申込 (教職員)
- ≡ 図書購入申込 (教職員)
- ≡ 広報誌 としよぶらり
- ≡ 米子高専 研究報告
- ≡ リンク

米子高専 図書館情報センター

〒683-8502
鳥取県米子市彦名町4448
TEL 0859-24-5028

とっとり県民カレッジ連携講座・(財)米子市教育文化事業団連携講座

米子高専 文化セミナー

主催 米子高専図書館情報センター、共催 (財)米子市教育文化事業団

時間：	午前10時～12時
会場：	中海テレビ放送センタービル1階会議室 (米子市角盤町1丁目55-2/旧NHK米子支局) 会場地図
定員：	40名
参加費：	無料
問合せ先：	米子高専 図書館情報センター 電話 0859-24-5028 中海テレビ放送センタービル 電話 0859-38-1811

■ 平成25年度文化セミナー一覧

第1回 5月25日(土) 午前10時～

「古典に学ぶーグローバル化時代の人材育成」

校長 齊藤 正美

グローバル化時代における人材育成の問題を考える場合、とくに重要と思われる点は「実践的」ということであり、人を育てるとは結局専門力と人間力を育てることに帰する。そのような観点であれば、時代を超えて東西の古典文献には教えられることが多い。米田マサチューセッツ工科大学の設立理念や江戸末期の佐藤一斎「重職心得簡案」等を紹介する。

第2回 6月22日(土) 午前10時～

「建築設備と制御のはなし」

建築学科 前原 勝樹

ほとんどの建築設備には、何らかの自動制御が用いられています。エアコンであれば設定室温になるように制御(コントロール)されています。この場合、快適な室内環境を維持するために制御が働いています。また、エネルギー消費量をできるだけ少なくするような工夫にも自動制御が活躍します。環境共生の

時代となって、省エネルギーのための制御の働きはますます重要になっています。このセミナーでは、制御の専門的な内容ではなく、建築の設備を運用する視点に立って、主にビルの空調設備を対象として、どのような工夫がなされているかについてお話します。

第3回 10月26日(土) 午前10時～

「数学で触れてみる」

教養教育科 堀畑 佳宏

数学を用いることによって、対象に直接触れることなくその対象の情報を得られることがある。例えば、海岸から海に浮かぶ船までの距離は、直接に測ることなく、三角比を利用しておよそ求められる。あるいは地中に眠る石油のありかを、直接掘って調べることなく、波の性質を利用して見つけ出せることがある。また、直接行ったことがなかった宇宙に人間を飛ばすための理論の土台にもなっている。元来数学とは人間の【脳内】で行われる自由な活動であるにも関わらず、上記のように数学が現実と手を離れていると捉えられる部分があるのは興味深い。本講演では、こういった数学の特徴的な点に基づいて、数学の一面を覗いてみたい。さらに、数学そのものを対象とする数学【数学基礎論】に本講演の収斂点をつけたい。数学に直接触れることなく数学を味わって頂けたら幸いである。

第4回 11月23日(土) 午前10時～

「健やかに老いるために ～体を動かすこと、体を作ることについて～」

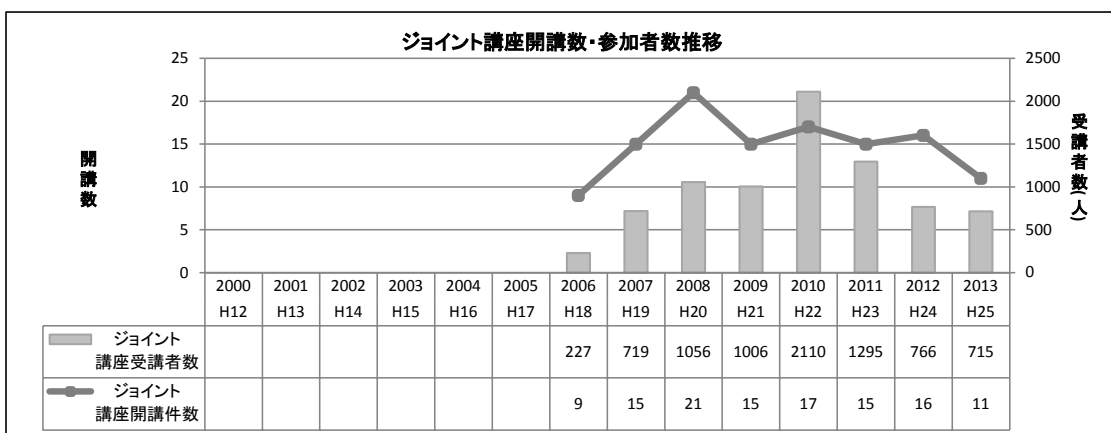
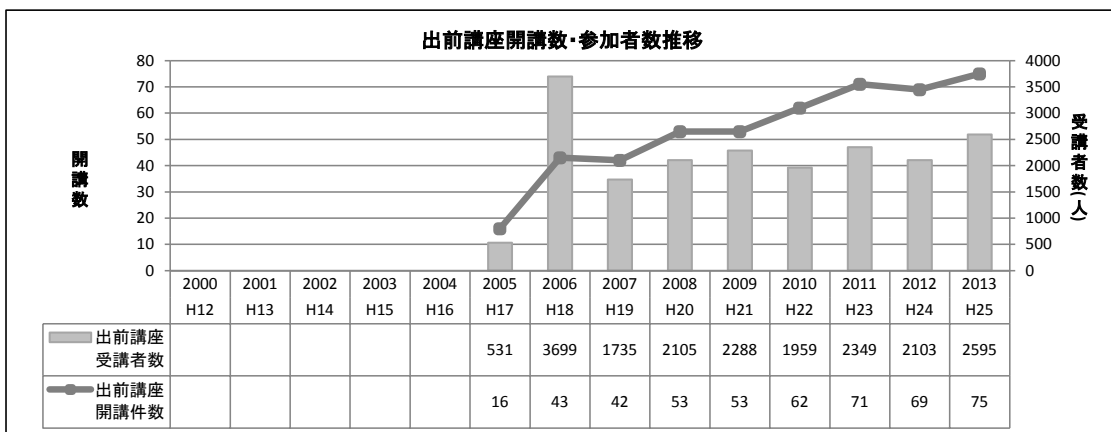
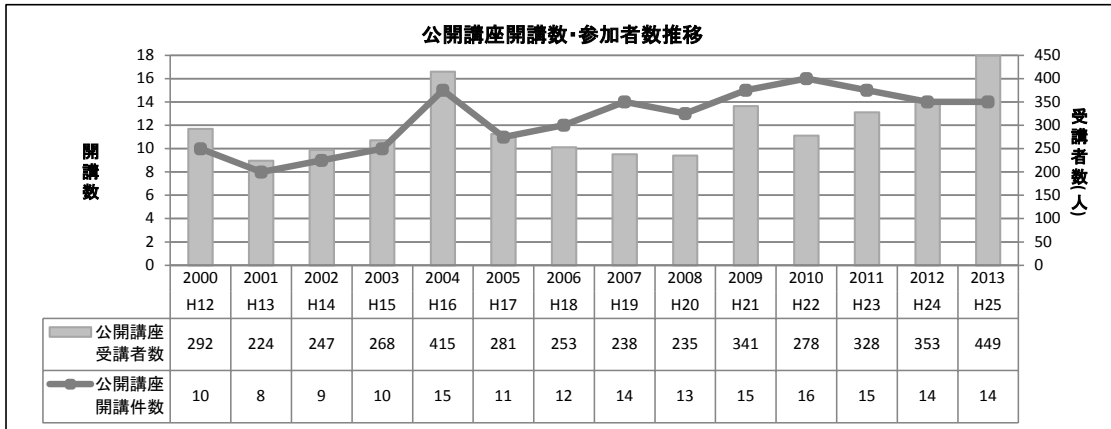
教養教育科 南 雅樹

加齢に伴い体の諸機能は変化(老化)します。それらの変化に対して何が必要で、何をすればよいか、運動器である骨と筋肉を中心に考えてみましょう。

(出典 校外向けWeb ページ 図書館 文化セミナー)

公開講座・出前講座・ジョイント講座の開講件数と受講者数の推移

公開講座の開講件数は昨年と同数であるが、受講者数は過去最高となった。出前講座の開講数も過去最高となり、受講者数も昨年に比べ大幅に増加し、ジョイント講座（連携講座）は開講件数、受講者数ともに減少となった。



資料B-1-①-6

出前講座

No.	講座名	開催日	時間	会場	対象	担当教職員	参加者数	満足度%
1	こども科学体験教室	6/8 (土)	10:00～ 11:30	渡小学校	小4	青木、小川	34	100
2	子ども科学講座	6/8 (土)	10:00～ 11:00	箕蚊屋小学校	小3	権田(岳)	79	100
3	こども科学体験教室	6/9 (日)	9:30～ 11:30	荒島小学校	小5	小田、中野	39	100
4	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	6/9 (日)	9:00～ 10:30	島田小学校	小2	谷藤	34	100
5	こども科学体験教室	6/15 (土)	10:00～ 12:00	住吉小学校	小3	田中(晋)、伊達	49	98
6	こども科学体験教室	6/16 (日)	9:30～ 11:30	名和公民館	小中学生	青木、竹中	21	100
7	コマの不思議を体験してみよう	6/27 (木)	10:00～ 11:30	日吉津児童館	一般	山口	19	-
8	電気の科学実験	6/29 (土)	9:00～ 11:00	十神小学校	小5	松本(正)、石倉	28	86
9	こども科学体験教室	6/29 (土)	10:00～ 11:30	彦名小学校	小4	櫻間	29	100
10	子ども科学講座	6/30 (日)	10:30～ 11:30	住吉小学校	小3	権田(岳)	40	100
11	こども科学体験教室	7/6 (土)	9:00～ 11:00	島田小学校	小3	青木	52	98
12	こども科学体験教室	7/13 (土)	10:00～ 12:00	就将小学校	小5	竹中、青木	44	95
13	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう!	7/13 (土)	9:30～ 11:30	誠道小学校	小3	上田、大谷	16	94
14	あなたの足は大丈夫?	7/15 (月)	9:00～ 12:00	大山中学校	中2	南	90	90
15	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	7/15 (月)	9:30～ 11:30	飯梨小学校	幼稚園児 ～中1	谷藤	15	100
16	板の共振実験:声で砂絵を描こう	7/20 (土)	9:30～ 11:00	県公民館	小1～6	新田	23	96
17	世の中で活躍しているロボットたち	7/23 (火)	11:15～ 12:30	南部町農村環境改善 センター	小1～6	中山、河野、角田	33	100
18	世の中で活躍しているロボットたち	7/25 (木)	14:00～ 16:00	淀江児童館	小1～3	中山、河野、角田	45	91
19	コマの不思議を体験してみよう	7/25 (木)	14:00～ 15:30	彦名なかよし学級	小1～3	山口	21	94
20	こども科学体験教室	7/27 (土)	13:00～ 16:00	名和小学校	小4	藤井(雄)、藤井(貴)	80	92
21	コマの不思議を体験してみよう	7/27 (土)	10:00～ 11:30	弓ヶ浜小学校	小3	山口	30	100
22	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	7/27 (土)	10:00～ 11:30	弓ヶ浜小学校	小3	谷藤	29	100
23	コマの不思議を体験してみよう	7/28 (日)	9:30～ 11:00	意東小学校	小2	山口	35	-
24	世の中で活躍しているロボットたち	7/30 (火)	10:30～ 12:00	ビッグベアーズ	小1	中山、角田	20	100
25	こども科学体験教室	8/1 (木)	10:00～ 12:00	十神小学校敷地内 学童保育施設	小1～3	青木、櫻間	28	100
26	こども科学体験教室	8/3 (土)	9:30～ 11:30	夜見公民館	小1～6	藤井(雄)、藤井(貴)	18	100
27	あなたの骨は大丈夫?	8/3 (土)	10:00～ 11:30	日吉津村社会福祉セ ンター	一般	南	25	100
28	世界と友達になろう!	8/7 (水)	14:00～ 17:00	夕ヶ丘児童クラブ	小1～3	中川、中井	10	-
29	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/8 (木)	10:00～ 11:30	県公民館	小1～6	谷藤	15	100
30	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう!	8/8 (木)	10:00～ 12:00	誠道公民館	小1～6	上田、大谷	12	100
31	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/9 (金)	14:00～ 16:00	渡児童クラブ	小1～3	谷藤	42	98
32	子ども科学講座	8/10 (土)	9:30～ 11:30	岸本公民館	小3	櫻間、奥雲	30	100
33	あなたの足は大丈夫?	8/12 (月)	10:00～ 11:30	誠道公民館	一般	南	30	97
34	子ども科学講座	8/17 (土)	14:00～ 15:30	下田中児童館	小1～6	権田(岳)	22	95.5
35	板の共振実験:声で砂絵を描こう	8/18 (日)	10:30～ 12:00	北栄町図書館	小学生	新田	27	90
36	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/18 (日)	9:00～ 10:30	南部町ふるさと交流セ ンター	小1～5	谷藤	60	100
37	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/19 (月)	10:00～ 11:30	ビッグベアーズ	小3	谷藤	17	100

No.	講座名	開催日	時間	会場	対象	担当教職員	参加者数	満足度%
38	コマの不思議を体験してみよう	8/19 (月)	10:00～ 11:30	ひばり保育園	小1～3	山口	35	100
39	コマの不思議を体験してみよう	8/20 (火)	10:00～ 11:30	中山公民館	小1～4	山口	23	-
40	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/20 (火)	10:00～ 11:30	溝口公民館	小3～6	谷藤	20	20
41	世の中で活躍しているロボットたち	8/21 (水)	9:30～ 11:00	福生西公民館	小3～6	中山、角田	9	100
42	こども科学体験教室	8/23 (金)	10:00～ 12:00	ビッグベアーズ	小2	小田、青木	21	100
43	コマの不思議を体験してみよう	8/24 (土)	10:00～ 11:30	江府小学校	小2	山口	58	100
44	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	8/25 (日)	9:30～ 11:30	尚徳小学校	小6	谷藤	42	100
45	コマの不思議を体験してみよう	8/26 (月)	13:00～ 14:30	余子小学校内 児童 クラブ	小1～3	山口	34	100
46	あなたの骨は大丈夫?	8/29 (木)	17:00～ 18:00	(株)エッグ	一般	南	25	100
47	子ども科学講座	9/7 (土)	9:00～ 11:00	余子小学校	小5	権田(岳)、櫻間、 森	54	100
48	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	9/8 (日)	9:30～ 11:00	出雲郷小学校	小1	谷藤	38	100
49	世の中で活躍しているロボットたち	9/10 (火)	10:30～ 11:30	にしき幼稚園	幼稚園年長	中山、河野、角田	28	100
50	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	9/14 (土)	10:00～ 11:30	大山西小学校	小3	谷藤	37	100
51	コマの不思議を体験してみよう	9/21 (土)	9:30～ 11:00	中山小学校	小3	山口	66	100
52	世の中で活躍しているロボットたち	9/21 (土)	9:30～ 11:30	十神小学校	小4	中山、河野	26	100
53	板の共振実験:声で砂絵を描こう	9/21 (土)	9:30～ 11:00	十神小学校	小4	新田	50	96
54	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	9/28 (土)	10:00～ 12:00	中浜小学校	小4	谷藤	42	100
55	こども科学体験教室	10/6 (日)	9:30～ 11:30	大山小学校	小5	小田、藤井(貴)	43	92
56	こども科学体験教室	10/12 (土)	9:00～ 12:00	淀江小学校	小3	藤井(雄)、伊達	30	100
57	コマの不思議を体験してみよう	10/19 (土)	14:00～ 15:00	比田小学校	小1～3	山口	35	100
58	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう!	10/26 (土)	13:30～ 15:30	中浜公民館	小1～6	上田、大谷	23	96
59	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう!	10/26 (土)	9:30～ 11:30	美保関小学校	小1～6	上田、大谷	34	100
60	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	10/26 (土)	13:30～ 15:00	小鴨小学校	小1～6	谷藤	20	100
61	コマの不思議を体験してみよう	10/26 (土)	10:00～ 12:00	啓成小学校	小2	山口	68	97.2
62	あなたの骨は大丈夫?	11/2 (土)	10:00～ 11:45	箕蚊屋小学校	小1～6と 保護者	南	40	90
63	こども科学体験教室	11/3 (日)	9:30～ 11:30	南小学校	小1	田中(晋)、藤井(貴)	41	95
64	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう!	11/3 (日)	9:30～ 11:30	井尻老人センター	小3～4と 保護者	上田、大谷	13	100
65	板の共振実験:声で砂絵を描こう	11/10 (日)	10:00～ 12:00	明道小学校	小6	新田	57	85
66	こども科学体験教室	11/17 (日)	10:00～ 11:40	明道小学校	小4	小川、村田	30	85
67	コマの不思議を体験してみよう	11/30 (土)	10:00～ 12:00	上道小学校	小3	山口	71	100
68	板の共振実験:声で砂絵を描こう	12/1 (日)	9:30～ 11:30	加茂小	小4	新田	20	92
69	こども科学体験教室	12/1 (日)	9:30～ 11:30	加茂小	小4	小川、日野	18	94
70	こども科学体験教室	12/1 (日)	9:00～ 12:00	福生西小学校	小4	田中(晋)、大谷	65	97
71	コマの不思議を体験してみよう	12/8 (日)	10:00～ 12:00	岸本小学校	小2	山口	51	100
72	あなたの骨は大丈夫?	12/13 (金)	10:00～ 11:30	日野町公民館	一般	南	35	100
73	コマの不思議を体験してみよう	12/25 (水)	13:35～ 14:20	米子養護学校	小3～5	山口	4	-
74	あなたの骨は大丈夫?	2/9 (日)	9:30～ 11:30	下黒坂ふれあい会館	一般	南	38	100
75	科学じっけん教室:未来のはかせを目指そう!	3/26 (水)	10:00～ 11:30	あたごふれあい人権 文化センター	小4～5	谷藤	14	100

資料B-1-①-7

スライム作り挑戦

米子高専が科学教室

大山西小



スライムを作る児童たち

大山町末長の大山西小学校(狩野実校長)で14日、米子工業高等専門学校(米子市彦名町)の出前講座「こども科学体験教室」があった。

講師は、物質工学科の谷藤尚貴教授で、

3年生とその保護者ら約70人が参加し、光の作用を活用した科学実験などに取り組んだ。

光の実験では、レーザーポインターの光を白い玉に当てていろんな色に変わる様子を観察。また、紫外線に当

てると色が変わるスライム作りにも挑戦した。

スライムがピンクに変わり、実験は大成功だった。

児童たちが、コップの中に材料を入れて割り箸で混ぜ合わせ粘りを出させると、スライムが完成。外に出て日光に当てると白かった

参加した児童・保護者は実験で起きた「面白い現象」に感心していた。

(大山通信部・水尻和子部長)

(出展 平成 25 年 9 月 22 日 日本海新聞)

ジョイント講座

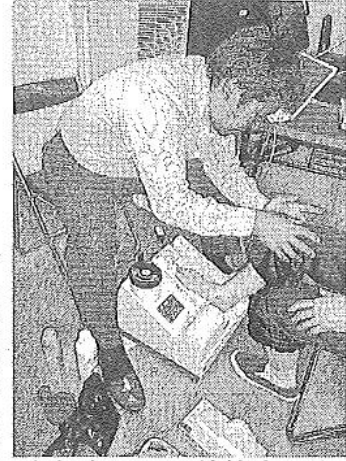
No.	イベント名	開催期間	時間帯	開催会場等	対象	参加者数	担当教員	満足度(%)
1	骨密度測定	6/8(金)	13:30 ～15:00	義方公民館	一般	32	一般科目 南	100
2	米子市公会堂を作ろう！！	8/1(水)	9:30 ～12:00	米子市公会堂	小学校4～6年生	8	建築学科 藤木	-
3	米子市公会堂を作ろう！！	8/20(月)	10:00 ～12:00	淀江文化センター	小学校4～6年生	6	建築学科 藤木	100
4	夏休み科学体験教室	8/21(火)	10:00 ～11:30	淀江文化センター	小学校1～3年生 幼稚園児	17	機械工学科 権田岳 物質工学科 田中晋	94
5	ロボコンで遊ぼう！	9/15(土)	10:00 ～14:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	-	機械工学科 矢壁	-
6	こども科学講座 「不思議な紙飛行機」	9/15(土)	11:30 ～12:30 13:00 ～14:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	-	機械工学科 権田岳	100
7	ロボコンで遊ぼう！	9/16(日)	10:00 ～14:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	-	機械工学科 矢壁	-
8	こども科学講座 「不思議な紙飛行機」	9/16(日)	11:30 ～12:30 13:00 ～14:00	中海テレビ放送 センタービル	一般	-	機械工学科 権田岳	95
9	米子こどもの科学教室2012	10/13(土)	10:00 ～15:00	米子コンベンショ ンセンター	児童	約 400	機械工学科 大塚、 権田岳 物質工学科 田中晋、 谷藤 建築学科 山田 一般科目 南	-
10	よどえ夢まつり「骨密度測定」	10/21(日)	10:00 ～15:15	淀江文化センター	一般	82	一般科目 南	98
11	わかつり科学虎の穴「レスキュー ロボコンに出場しよう！！」	10/28(日)	10:00 ～15:00	米子高専	中学生	20	機械工学科 早水 物質工学科 田中晋 一般科目 大野	100
12	世の中で活躍しているロボット たち	10/28(日)	14:00 ～15:40	米子市児童文化 センター	小学校4～6年生	19	電子制御工学科 河野、中山、井上	100
13	科学マジック	11/11(日)	14:00 ～15:10	米子市児童文化 センター	小学校4～6年生	15	物質工学科 田中晋	100
14	LEDを光らせよう!	12/16(日)	14:00 ～15:30	米子市児童文化 センター	小学校4～6年生	17	電気情報工学科 権田英	-
15	神社建物の見かた・楽しみかた	12/16(日)	10:00 ～12:00	米子市文化ホール	一般	92	建築学科 藤木	-
16	国立米子高専のロボットとミニ 四駆がきらめき広場哲西に やってくる	1/12(土)	10:00 ～15:00	きらめき広場・西哲	小中学生	58	機械工学科 矢壁、 権田岳	94

(出典 平成24年度地域共同テクノセンター活動報告 P.28-29)

ジョイント講座

No.	イベント名	開催日	時間	会場	対象	担当教職員	参加者数	満足度%
1	サイエンス道場 -196℃の液体窒素を使った実験	8/9 (金)	9:30～ 12:00	車尾公民館	小4～6	大庭	29	89
2	夏休み科学体験教室	8/10 (土)	10:00～ 12:30	淀江文化センター	小3～6	権田(岳)、田中(晋)	21	100
3	これからのエネルギー ～ソニーサイエンスプログラム～	9/22 (日)	14:00～ 16:30	鳥取県立武道館	小学生親子	宮田	60	-
4	第1回科学クラブ 「飛行リングを作ろう！」	10/6 (日)	14:00～ 15:00	米子市児童 文化センター	小4～6	権田(岳)	20	100
5	米子こどもの科学教室 2013	10/12 (土)	10:00～ 15:00	鳥取県立武道館	幼児、 小学生	大塚(宏)、権田(岳)、 田中(晋)、山田、 南、川邊、小林、大野	約 400	-
6	よどえ夢まつり「骨密度測定」	10/20 (日)	10:00～ 15:00	淀江文化センター	一般	南	80	96
7	わかどり科学虎の穴 「バトルロボコンに出場しよう！！」	10/27 (日)	10:00～ 16:00	米子高专	中学生	早水、権田(岳)、 田中(晋)	17	94
8	第2回科学クラブ 「世の中で活躍しているロボットたち」	10/27 (日)	14:00～ 15:30	米子市児童 文化センター	小4～6	河野、中山、井上	16	100
9	第3回科学クラブ 「物が溶けるとは？」	12/1 (日)	14:00～ 15:00	米子市児童 文化センター	小4～6	櫻間	19	100
10	第4回科学クラブ 「LEDを使ってミニクリスマスツリーを作ろう」	12/15 (日)	14:00～ 15:30	米子市児童 文化センター	小4～6	権田(英)	18	-
11	場所の魅力と人々の思いを活かしたまちづくり・ 地域づくりについて	12/21 (土)	14:00～ 15:30	米子市文化 ホール	一般	細田	35	87

(出典 平成 25 年度地域共同テクノセンター活動報告 P.26)



参加者の骨の状態を測定する南教授

骨粗しょう症 予防法学ぶ

米子・義方公民館

米子市立町4丁目の義方公民館で「骨の健康を考える」と題した学習講座が開かれ、骨粗しょう症の予防法などを学んだ。

講師は米子高専の南雅樹教授で、32人が受講した。

南教授は、骨がもろくなって折れやすくなる病気を「骨粗しょう症」の原因や予防法を説明し「骨粗しょう症にならないためには、最大骨密度を高めることがポイント」と指摘。

また、「丈夫な骨を作るためには日光に当たり、紫外線を浴びることも必要だが、紫外線の悪影響が強調され

たり、日焼けを嫌う女性が多く、一般にはなかなか受け入れられない」と話した。

講演後には、測定器を使った参加者の骨の状態調査もあり、測定結果に基づく指導も行

われた。
(米子南通信部・岩田昭弘部長)

国立米子高専の中学生向けイベント

エンジョイ科学館

参加者募集【無料】

国立米子高専
8/20 2013 火
10:00-15:00

講義棟 3F 中庭
MURAKAMI 学生会館

機械館 機械工学科

バトルロボコンに出場しよう!!

赤外線砲を装着した「バトルロボット」を作ってみよう。ワイヤレスリモコンで、6個のタイヤを駆動させ前後左右などの動きを自由に操作し、バトルロボコンに出場しよう!!めざせバトルロボコンチャンピオン!!

定員 20名

電気情報館 電気情報工学科

エアシュートサッカーロボをつくろう!

空気の力をかりてボールをキャッチ&シュートすることができる駆動型エアシュートサッカーロボを作って、目指せエンジョイカップ優勝だ!
親切な高専生が工作のお手伝いをするので、女子生徒も安心して参加できます!

定員 10名

電子制御館 電子制御工学科

コンピューターロボットを作ろう!

ロボットを組み立て、パソコンでプログラムを作って動かします。ロボットに付いている光センサーとタッチセンサーを利用して、あなたのオリジナル・ロボットを作りましょう!ロボットとコンピューターを同時に楽しむことができます。女子生徒の参加も大歓迎です!

定員 10名

科学捜査館 物質工学科

DNA鑑定で犯人を捜そう!!

科学捜査の最新技術である「DNA鑑定」で、容疑者のDNAと犯人のDNAから真犯人を捜し出そう! 血痕調査や指紋鑑定、繊維の判定にも挑戦してみましよう!!

定員 12名

建築館 建築学科

カラーガラスで★キラキラ★ペンダントをつくろう!

午前は、カラーガラスでペンダントを作りながら、持参したフルーツでドライフルーツを作ります。午後は自分で作ったドライフルーツを食べながらネックレスの皮ひもを編みましよう。デザインと手芸の世界で癒されませんか?

定員 20名

理科館 教養教育科

ソーラーカーを作って競走しよう!

時代はエコ!!
あなたも太陽光電池で走るソーラーカーを作り太陽エネルギーの偉大さを体感しよう!!
そして、ソーラーカーレースでああなたのマシンの性能を試そう!!ソーラーカーレースの勝者になるのは誰だ!!

定員 18名

独立行政法人 国立高等専門学校機構
国立 米子工業高等専門学校
 Yonago National College of Technology

エンジョイ科学館

満足度
98.1%

地域共同テクノセンター

8月20日(火)、中学生向け体験イベント「エンジョイ科学館」を実施し、鳥取・島根の中学生を中心に108名(過去最多)が参加しました。

本イベントは今年で19回目。本校の専門性を生かした講座を通じてものづくりの楽しさを体験してもらい、「理科離れ」対策として科学への興味を喚起することを目的としています。

受講生は以下の6講座に分かれ、本校の教職員と学生に教えてもらいながらロボット製作などに挑戦しました。中学生からは「普段できない体験ができて楽しかった」「ものづくりに興味がわいた、もっと勉強してみたい」「お兄さんやお姉さんが優しくわかりやすく教えてくれて良かった」など嬉しい感想が聞かれました。

機械館 (機械工学科)



「バトルロボコンに出場しよう!!」

赤外線砲を装着した「バトルロボット」を作製。リモコンで操作し、トーナメント戦を行いました。

電気情報館 (電気情報工学科)



「エアシュートサッカーロボをつくろう!」

空気力でボールをキャッチ&シュートする駆動型エアシュートサッカーロボを作り、対戦を楽しみました。

電子制御館 (電子制御工学科)



「コンピュータロボットを作ろう!」

光センサーの付いたロボットを組み立て、パソコンでプログラムを作って動かしました。

科学捜査館 (物質工学科)



「DNA鑑定で犯人を捜そう!」

科学捜査の最新技術である「DNA鑑定」や「指紋鑑定」「繊維の判定」などに挑戦しました。

建築館 (建築学科)



「カラーガラスで★キラキラ★ペンダントをつくろう!」

ガラスを炉で熱し、自分で編んだ革ひもと合わせてペンダントを作りました。持参したフルーツでドライフルーツも作りました。

理科館 (教養教育科・科学部)



「ソーラーカーを作って競走しよう!!」

太陽電池で走るソーラーカーを作り、屋外で実際にレースをして楽しみました。

2. 女子中高生の理系進路選択支援プログラム

「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」は、科学技術振興機構（JST）が、女子中高生の理系分野に対する興味・関心を喚起し、理系分野へ進むことを志すためのさまざまな取り組みを支援する事業の一環として実施しているプログラムである。

平成24年度事業については、全国の大学・高専等から41件の応募があり、採択された9件のうちのひとつである。

・ラジオによる広報 DARAZ FM「米子高専エンジン×ピープル」(79.8MHz)

日時 平成24年6月3日(日)、7月1日(日) 22:00~22:30

内容 番組内にてプロジェクト説明を行い、女子中学生に向けて、理系女子の先輩OGと米子高専の理系女子学生が理系で学ぶことや働くこととはどういったことなのかを語り、「リケジョ」の魅力を伝えた。また、第2回目の放送では、女子中学生を米子高専に招き、リケジョに対する中学生の素朴な疑問に、現役の米子高専女子学生が回答し、女子目線での「理系」に迫った。

・先輩女子学生による中学校講演

日時 平成24年6月20日(水)、7月11日(水)、9月11日(火)、
9月13日(木)、9月18日(火)、9月20日(木)、9月24日(月)

内容 出身中学校において、理系に進学した動機や、現在学んでいる授業の様子、課外活動や学校生活などについて、本校女子学生が講演を行った。

・鳥取短期大学にて実験イベント実施

日時 平成24年8月8日(水)、8月18日(土)

内容 鳥取短期大学にて「エンジョイ科学講座 in とりたん」、「オープンキャンパス併設科学講座」として実験イベントを開催した。

・第1回オープンキャンパス

日 時 平成24年8月10日(金)

内 容 『第1回オープンキャンパス』(中学校3年生男女対象)において、女子学生が学科紹介を行った。

・エンジョイ科学館

日 時 平成24年8月22日(水)

内 容 本年度は「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の一環として開催し、女子中学生の参加が昨年度の10名から15名へと1.5倍に増えた。

・親子でめぐる工場見学バスツアー

日 時 平成24年9月1日(土)

内 容 中学生親子42名が参加し、「大山乳業農業協同組合」「大谷酒造」の2工場を見学、本校OBや工場で働く人々から直に話を聞いた。また、バスツアー終了後には米子高専でも見学会が行われ、理系女性教員である建築学科・小椋助教の案内で、校内や「四高専(米子・松江・呉・有明)構造系研究会」でのプレ・デザコンを見学し、その後、女子中学生と保護者に分かれて座談会を開催した。



工場見学をする参加者

・第2回オープンキャンパス

日 時 平成24年11月17日(土)

内 容 『第2回オープンキャンパス』(中学校3年生男女対象)に合わせて、東京高専専攻科を卒業後NTTコミュニケーションズ(株)ネットワークサービス部門で活躍する藤原 亜希子氏を講師に迎え、「理系の道を考えるあなたに必要なこと」と題して特別講演会を行った。

・『先輩と話そう♪“リケジョ cafe”』開催

日 時 平成24年10月27日(土)・11月18日(日)・12月15日(土)

内 容 理系の仕事に就いて活躍されている女性を講師に招き、講演会を開催した。講演会の後、講師を交えてお茶会を開催した。

・『未来のジブンを探そう！親と子のための就活フェア』開催

日時 平成 25 年 2 月 3 日 (日)

内容 本校 4 年生と専攻科 1 年生が参加する「企業・大学合同面談会」と同時開催で中学生親子を対象として「親と子のための就活フェア」を開催し、中学生親子 11 名が参加した。女子を取り巻く就職状況の説明や本校 OG による体験談等の話を聞くとともに、「企業・大学合同面談会」の会場に加わり、先輩学生と企業担当者が熱心に情報交換する現場を体験した。

その後はOGや現役高専女子学生を囲んで少人数グループに分かれ座談会が行われた。



企業・大学合同面談会を見学



OG、現役高専女子学生を囲んでの座談会

(出典 平成 24 年度地域共同テクノセンター活動報告 P.31)

資料B-1-①-12

平成25年度 第1回オープンキャンパス 開催要項

米子工業高等専門学校

1. 趣 旨 本校の概要説明、施設・設備の見学ならびに各学科の実験・実習の体験を通じて、
本校を理解していただくことを目的とします。
2. 対 象 中学校3年生・保護者・中学校の教職員
3. 期 日 平成25年8月9日(金)
4. 日 程

	午前の部	全日	午後の部	備考
受 付	9:00～9:30		11:30～12:00	正面玄関
校長挨拶 学校・学科概要説明	9:30～10:00		12:00～12:30	合同講義室
学科体験コーナー1	10:20～12:00			内容は別添チラシのとおり
校内自由見学 (午前の部のみの参加者は自由解散) (終日参加される方はこの間に昼食を とってください)	12:00～13:50		12:30～13:50	この時間内に「学生による 学科紹介」を開催します (自由参加)
学科体験コーナー2			14:00～15:40	内容は別添チラシのとおり
寮見学			15:50～16:20	希望者

※学科体験コーナーは学科を変えて午前の部(第1希望)・午後の部(第2希望)に参加できます。
※「午前の部のみ」「午後の部のみ」の参加も可能ですが、寮見学を希望される場合は全日か午後の部に
参加してください。

5. 申 込

- (1) 締 切 平成25年7月17日(水)
- (2) 方 法 別紙申込書の必要事項を記入し、中学校で取りまとめのうえ、**FAX**にて申し込んで
ください。
- (3) 申込先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 学生課教務・キャリア支援係 (TEL 0859-24-5022)
FAX 0859-24-5029

6. 無料バス 次のとおり無料バスを運行しますので、ご利用ください。(鳥取方面・倉吉方面からも
無料バスを運行しますのでご利用ください。)

- 米子便(臨時バスのりばは、別紙「米子駅前臨時バスのりば」のとおり)
※路線バスのりばとは異なる場所ですので、ご注意ください。

往 路	米子駅発	米子高専着	復 路	米子高専発	米子駅着
	8:45 ⇒	9:10		13:00 ⇒	13:30
	9:00 ⇒	9:25		14:00 ⇒	14:30
	11:30 ⇒	11:55		15:50 ⇒	16:20
				16:40 ⇒	17:10

- 鳥取便(申込状況により行程を変更する場合があります)
(臨時バスのりばは、別紙「鳥取駅南口臨時バスのりば」のとおり)

往 路	鳥取駅発	米子駅着	米子駅発	米子高専着
	6:45 ⇒	8:45 ⇒	9:00 ⇒	9:25
復 路	米子高専発	鳥取駅着		
	16:40 ⇒	18:55		

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

「米子高専 知的セミナー」バックナンバー

回	放送年月	タイトル	所属	名前
1	2011年3月	選挙制度と現代政治	一般科目(社会科)	加藤博和
2	2011年4月	大衆消費社会と消費者教育	一般科目(社会科)	加藤博和
3	2011年5月	中山間地域と生活交通	一般科目(社会科)	加藤博和
4	2011年6月	三十六歌仙と和歌の文化	一般科目(国語科)	原 豊二
5	2011年7月	八幡神社の歴史・文化	一般科目(国語科)	原 豊二
6	2011年8月	地域文化とヤシロの役割	一般科目(国語科)	原 豊二
7	2011年9月	運動と筋肉痛	一般科目(保健体育科)	大野政人
8	2011年10月	筋肉痛の予防法とこむら返り	一般科目(保健体育科)	大野政人
9	2011年11月	光害って何だろう？ 「無駄な光が及ぼす様々な悪影響」	一般科目(理科)	越智信彰
10	2011年12月	光害を減らすために 「光害を減らすために ～スマート・ライティング～」	一般科目(理科)	越智信彰
11	2012年1月	光害と私たちの暮らし 「節電、地域の光害、米子高専の活動」	一般科目(理科)	越智信彰
12	2012年2月	与謝野晶子の山陰①	一般科目(国語科)	松崎安子
13	2012年3月	与謝野晶子の山陰②	一般科目(国語科)	松崎安子
14	2012年4月	米子市公会堂いまむかし①	建築学科	藤木竜也
15	2012年5月	米子市公会堂いまむかし②	建築学科	藤木竜也
16	2012年6月	米子市公会堂いまむかし③	建築学科	藤木竜也
17	2012年7月	卵殻のリサイクルで太陽光発電	物質工学科	谷藤尚貴
18	2012年8月	今、学校建築に求められているもの	建築学科	細田智久
19	2012年9月	学生と地域住民との建物づくり	建築学科	細田智久
20	2012年10月	ちょっと知りたい放射線	一般科目(理科)	小林玉青
21	2012年11月	子どもの発育発達を考える① ～骨に関する基礎知識～	一般科目(保健体育科)	南 雅樹
22	2012年12月	子どもの発育発達② ～骨のデータから見る子どもの健康、体力の問題点	一般科目(保健体育科)	南 雅樹
23	2013年1月	肥満について	一般科目(保健体育科)	南 雅樹
24	2013年2月	高専ロボコンを通じたものづくりの進め方① アイデアのまとめ方	機械工学科	矢壁正樹
25	2013年3月	高専ロボコンを通じたものづくりの進め方② 設計支援ツールCADの使い方	機械工学科	矢壁正樹
26	2013年4月	高専ロボコンを通じたものづくりの進め方③ ロボットの製作・実演	機械工学科	矢壁正樹
27	2013年5月	無限を数える①	教養教育科(数学科)	堀畑佳宏
28	2013年6月	無限を数える②	教養教育科(数学科)	堀畑佳宏
29	2013年7月	身近な現象から垣間見れる数学について	教養教育科(数学科)	堀畑佳宏
30	2013年8月	ちょっと知りたい身近な波	教養教育科(理科)	小林玉青
31	2013年9月	環境に優しい電子部品LEDと太陽電池について知ろう①	電子制御工学科	角田直輝
32	2013年10月	環境に優しい電子部品LEDと太陽電池について知ろう②	電子制御工学科	角田直輝
33	2013年11月	環境に優しい電子部品LEDと太陽電池について知ろう③	電子制御工学科	角田直輝
34	2013年12月	飛行機が飛べる理由	機械工学科	早水庸隆
35	2014年3月	米子城を探る① 日本の城と米子城の歴史	建築学科	金澤雄記
36	2014年4月	米子城を探る② 米子城の大小2基の天守	建築学科	金澤雄記

<http://www.tottorikenmin-ch.com/contents/kosen.html> より作成。

(出展 総務課企画・社会連携係資料)

鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会

資料B-1-①-14

Content Conference of Tottori Prefectural Channel

ホーム Home	新着情報 Information	設立趣旨 Establishment Purpose	概要 Outline	協議会の取組み Approach	動画コンテンツ Movie Contents	リンク Links
-------------	---------------------	-------------------------------	---------------	---------------------	---------------------------	--------------

動画コンテンツ

「米子高専 知的セミナー」は
米子工業高等専門学校の先生に普段の生活の中での身近な話題や 知っておきたい事からをテーマにお話いただきます。

米子高専 知的セミナー (13分)

2014年



米子城を探る② 米子城の
大小2基の天守
(2014年4月)
建築学科 (建築史)
金澤雄記さん



米子城を探る① 日本の城
と米子城の歴史
(2014年3月)
建築学科 (建築史)
金澤雄記さん

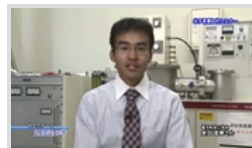
2013年



飛行機が飛べる理由
(2013年12月)
機械工学科
早水庸隆さん



太陽電池について
(2013年11月)
電子制御工学科
角田直輝さん



LEDについて
(2013年10月)
電子制御工学科
角田直輝さん



「電力」・「電気を使う」
とは何か
(2013年9月)
電子制御工学科
角田直輝さん



ちょっと知りたい身近な波
(2013年8月)
教養教育科・物理
小林玉青さん



身近に存在する数字
(2013年7月)
教養教育科・数学
堀畑佳宏さん



無限を数える②
(2013年6月)
教養教育科・数学
堀畑佳宏さん



無限を数える①
(2013年5月)
教養教育科・数学
堀畑佳宏さん



高専ロボコンを通したの



高専ロボコンを通したの



高専ロボコンを通したの



肥満の測定・判定方法につ

(出展：鳥取県民チャンネル Web ページ)

ものづくり道場

| ホーム | お問い合わせ | ものづくりコミュニティサイト |



ものづくり道場とは

ものづくり指導者の派遣

ものづくり道場指導者養成講座

レンタル機材

活動実績紹介

イベントカレンダー

ものづくりキッズ

ものづくり道場ブログ

資料B-1-①-15

ホーム << ものづくり道場とは



ものづくり道場とは

Activities

ものづくり道場の目的

私たちの身の回りにあるすべてのものは、長い歴史の中で、人々の知恵や技によって生み出されたものです。

ものがいかにして生まれたのか――

その背景にある技術、科学、そして技を知ることが、私たち現代人が生きていくうえで欠かすことのできない素養といえます。

幼い頃からものづくりを経験をするなかで、ものづくりの知恵、面白さ、奥深さに接し、さらにそこに秘められた技術、科学、技を学ぼうとする意欲や関心が育まれてくれば、子どもたちの自立心や創造力を養い、心身の健全な発達に資することとなります。そしてまた我が国の科学・技術や地域産業の振興を支える人づくりへの第一歩となります。

ものづくり道場は、地域でこのような人づくりを育成するものづくり指導者を養成し、ものづくりや科学技術に触れることのできる場を確保し、技術や科学への理解・関心を増進する事を目的とした活動を行っています。



ものづくり道場の拠点施設

ものづくり道場の運営のために、地域の高等教育機関、行政機関、地元企業、商工関係団体などで構成するものづくり協会の設置を行っています。

この会議では、鳥取県の東部、中部、西部にそれぞれ運営会議を置き、企画・運営・広報部会、教材開発部会の2つの部会を設け、科学・技術理解に関するニーズ調査、ものづくり指導者養成プログラムの開発、ものづくり指導者の募集等について検討を行っています。

またものづくり道場の活動の場は、地域の公民館、PTA、学校、子育て支援団体などであり、運営を円滑に行うため鳥取県の東部、中火、西部の3か所にそれぞれ拠点施設を設けています。これらの機関・施設・団体からご協力をいただいてもものづくり道場は運営されています。

(出典 ものづくり道場 Web ページ)

資料B-1-①-16

専攻科における試聴講生実施要項

1 趣旨

この要項は、本校の専攻科における試聴講生に関し、必要な事項を定めるものとする。

2 試聴講生資格

試聴講生として聴講できる者は、次のいずれにも該当するものとする。

- 1) 米子工業高等専門学校振興協力会会員企業等に勤務する者
- 2) 学歴は問わないが、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 聴講期間

聴講の期間については、前期は概ね4月から7月まで、後期は、概ね10月から1月までとする。

4 聴講志願の手続き

試聴講生として志願する者は、次に掲げる書類を聴講しようとする日の2週間前までに校長に願い出なければならない。

- 1) 試聴講生願書（別紙様式1）
- 2) 現に職を有しているものは、勤務先代表者の承諾書（別紙様式2）又は依頼書

5 聴講の許可

- 1) 試聴講生については、出願書類等で選考の上、校長が聴講を許可するものとする。
- 2) 聴講を許可された者は、聴講開始までに誓約書（別紙様式3）を提出しなければならない。
- 3) 試聴講生が聴講期間中やむを得ない理由で聴講を中断又は中止する場合は、校長の許可を受けなければならない。

6 聴講科目

試聴講生が聴講できる授業科目は常勤教員による講義とする。

7 聴講の回数制限

聴講できる回数は聴講期間中において5回までとする。

8 聴講の人数制限

校長は、一科目において必要がある場合は試聴講生の人数を制限することができるものとする。

9 聴講料

試聴講生の聴講料は無料とする。

10 聴講に必要な教材

聴講に必要な教材は、本校で準備するものとする。

11 他の規則等の準用

この要項に定めるもののほか試聴講生の修学時における必要な事項は、学則及び学諸規則を準用するものとする。

（出典 学生課教務・キャリア支援係資料）

資料B-1-①-17

「課題対応スキル向上事業」事業成果報告書

鳥取県総務部行財政改革局職員人材開発センター所長 様

所属所在地 鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校

職名・氏名 建築学科 助教 北農幸生 印

研修名	建築構造設計再入門
研修実施者	職・氏名 米子工業高等専門学校 建築学科 教授 稲田祐二、教授 玉井孝幸、助教 北農幸生、 名誉教授 川端康洋 電話番号 0859-24-5171
開催概要	①研修日時 平成25年 9月13日(金) 平成25年 9月20日(金) ②研修場所 倉吉体育文化会館(倉吉市山根529-2) 13日:小研修室1、20日:教養室1 ③受講者数 13日:15名 20日:19名
研修内容	R C造建物の設計, 構造計画, 公共建築工事標準仕様書の改定に関する内容で実施 <1日目> R C構造の部材設計について 10:00~16:00 R C構造の部材設計の基本(梁, 柱, 耐震壁等)について学ぶ。 10:00~12:30 曲げを受けるR C梁, 曲げと軸力を受けるR C柱(北農) 13:30~16:00 せん断力を受けるR C部材, 耐震壁の設計(稲田) <2日目> R C構造の構造設計の考え方および施工について 10:00~16:00 R C構造の構造設計の考え方と標準仕様書の改定について学ぶ。 10:00~12:30 R C構造の性能と構造設計の考え方(川端) 13:30~16:00 平成25年版標準仕様書の改定のポイント(玉井)

(出典 地域共同テクノセンター資料)

5. EV人材育成事業

鳥取県が進めている「鳥取県EV人材育成カリキュラム講座」の「実証講義」として、本校では以下の講義が行われた。

実施日			内 容
7	11	水	量子力学と電池（担当教員：田中晋） 講師：松田俊介（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）
9	25	火	電気自動車技術概論（担当教員：松本至） 講師：秦野隆光（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）
10	9	火	ECU開発手法（担当教員：井上） 講師：新井英雄（株式会社 Sim-drive）
11	14	水	電気自動車をふまえた次世代のまちづくり（担当教員：玉井） 講師：玉井孝幸（米子工業高等専門学校）
11	14	水	流体力学と空気抵抗（担当教員：早水） 講師：秦野隆光（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）
12	21	金	グリッド関係（エネルギー供給システム）（担当教員：松原） 講師：秦野隆光（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）
12	21	金	半導体と電子回路（担当教員：浅倉） 講師：秦野隆光（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）

「鳥取県EV人材育成カリキュラム講座」に「実習講義」として以下の講義が追加され本校の学生が参加した。

実施日			内 容
9	14～21	金～金	EV小型車分解組み立て実習 講師：秦野隆光（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー） 講師：岡澤秀明（株式会社 ナノオプトニクス・エナジー）
2	28	木	レーシングドライバー井原慶子氏による電気自動車運転実習 講師：井原慶子（国際レーシングドライバー）

（出典 平成24年度地域共同テクノセンター活動報告 P.34）



平成25年度 鳥取県・米子高専連携講座(県民カレッジ連携講座)

くらしの経済・法律講座

受講生大募集！(無料・先着60名) お好きな講座を選んで受講できます

4/11(木)
開講

悪質商法の手口やネット犯罪、消費者を守る法律、食品の安全、株式市場や税金の話まで、各分野の専門家がわかりやすく御説明します。高専生とともに学んで、米子高専でワンランク上の知識を身につけましょう!!!
~10回以上受講された方には修了証を発行します~



講義の様子

毎週木曜日(4/25、6/6は休み) 午後0時50分~午後2時25分

番号	日程	「講義のテーマ」・講師名	
1	4/11	「県内の消費生活相談状況と相談体制」	鳥取県消費生活センター相談員
2	4/18	「身の回りの法律」	79'17法律事務所 足立弁護士
3	5/2	「消費者を守る法律①」	79'17法律事務所 井木弁護士
4	5/9	「消費者を守る法律②」	79'17法律事務所 住 弁護士
5	5/16	「悪質商法の事例を使った演習」	79'17法律事務所湯原 足立弁護士
6	5/23	「株式会社と証券市場の基礎知識①」	米子高専 加藤准教授
7	5/30	「新聞の読み方」	日本海新聞記者
8	6/13	「私たちと選挙~参院選に向けて」	米子高専 加藤准教授
9	6/20	「私たちの生活と税」	米子税務署 村岡課長補佐
10	6/27	「よくわかる食品の表示と食品安全」中国四国農政局鳥取地域センター	谷口管理官他
11	7/4	「株式会社と証券市場の基礎知識②」	米子高専 加藤准教授
12	7/11	「ごみの分別収集とリサイクル」	米子市環境事業課職員
13	7/18	「サイバー犯罪に遭わないために」	鳥取県警察本部 都濃警部補
14	7/25	「株式会社と証券市場の基礎知識③」	米子高専 加藤准教授

申込方法

ファクシミリ、電話、電子メール、ホームページのいずれかにより、下記事項をお知らせください。

- 住所・氏名
- 受講希望講義番号 (FAXの場合は番号を○で囲んでください。)
- 電話、ファクシミリ
- 年代
- 車イスご利用の有無

.....

* 個人情報、当該講座に必要な連絡以外には使用しません。

氏名		住所	〒(-)		
電話番号		FAX 番号	年代	()歳代	

(出典 地域共同テクノセンター資料)

資料B－1－①－20

5. 専攻科「お試し講座」

平成 18 年度後期より、米子高専振興協会の会員企業の社員を対象に、無料で本校専攻科開講の講義を受講できる「お試し講座」を開講した。この講座では、専門技術等が学習できる機会を提供することで社員個々の技術および基礎知識のレベル向上を図り、高専と企業間の連携を強化することを目的としている。会員企業へは、専攻科のシラバスと案内状を配布している。

平成 25 年度は知的財産権特論の聴講生が 1 名であった。

28

(出典 平成 25 年度地域共同テクノセンター活動報告 P.28)

アンケート

参加者にアンケートを実施

1. 時間の長さは？

A: 短かった B: 少し短かった C: ちょうど良い D: 少し長かった E: 長かった

2. 楽しかった実験は？(いくつでも)

A: B: C: D:

3. この実験教室にまんぞくしましたか？

A: とてもまんぞく B: まあまあまんぞく C: ぶつう D: あまりまんぞくしなかった E: まんぞくしなかった

4. その他、今日の感想や、次回実験でやってみたいことなどを自由に書いて下さい。

(出典 地域共同テクノセンター資料)

供 閲

校 長	事務部長	総務課長	企画・社会連携係 専門職員	企画・社会連携係	地域共同 テクノ センター長	学科長等

公開講座実施報告書

平成25年7月29日

米子工業高等専門学校長 殿

(担当講師)

学 科 機械工学科

氏 名 大塚宏一、横田晴俊

次のとおり、公開講座を実施しましたので報告します。

公開講座のテーマ	マイコンを使ったボール・シューターを作ってみよう
実施責任者 (申込者)	大塚宏一
実施日時	平成25年7月27日(土) 10:00 ~ 15:00 4:15
対象・人数	中学生(1~3年生)10名 および その保護者4名
実施場所	M科アトリエ
公開講座 実施内容	(実施内容) 1. 電子サーボ機構のおはなし。 2. 電子回路製作。 3. プログラミング。 4. 装置の組み立て 5. ミニゲーム。 6. 研究室見学。 参加者アンケート結果: 満足度 100% (回答数 10人) ※ テキスト・資料・アンケート集計結果等を添付してください。
その他	※ 8/12 代林

(出典 地域共同テクノセンター資料)

公開講座「マイコンを使ったボール・シューターを作ってみよう」 アンケート結果

2013/7/29

実施担当責任者:大塚宏一
 参加者: 中学生 10名
 アンケート回収数:10

※参加中学生にアンケートを実施

1. 本講座をどこで知りましたか？

A:本校ホームページ	B:新聞	C:知人から	D:その他
3人	1人	0人	6人
30%	10%	0%	60%

無回答 0人
 回答者数 10人

(手紙、チラシ)

2. 内容はいかがでしたか？

A:良かった	B:まあ良かった	C:普通	D:あまり良くなかった	E:良くなかった
8人	2人	0人	0人	0人
80%	20%	0%	0%	0%
満足度:100%				

無回答 0人
 回答者数 10人

3. 電子機械に興味は持てましたか？

A:持てた	B:少し持てた	C:ふつう	D:少し持てなかった	E:持てない
7人	2人	1人	0人	0人
70%	20%	10%	0%	0%

無回答 0人
 回答者数 10人

4. 設問3で興味を持てた方にお尋ねします。

今後どのような電子サーボ機構を作りたいですか？

- ・次は、こういうことをいかした車のようなものをつくりたい
- ・ゴルフをすることができる物、または、人間のかんせつのようにうごくもの
- ・レスキュー車りょう(ミニ)みたいなもの
- ・からてわりなどのいろいろなうごきをするもの
- ・電子サーボ機構よりも、プログラミングで色々な物をつくっていきたいです
- ・けい品でもらった物を同じようにつくりたいです
- ・まずはかんたんなものからつくり、しだいに、ふくざつな物をつくりたい
- ・とっても複雑でもっとかっこいい物

5. 本講座についての感想をお書きください。

- ・楽しかったです。
- ・ぼくは、こう専の機かい工学科がすきなので入りたいです。
- ・内容の全てがわかったわけではないけど、ゲームをしながら半こ定ていこうを調節することを覚えたり、何より楽しかった。
- ・今回の講座では、前から興味があったものが より興味ぶかくなりました。とてもたのしかったです。ありがとうございました。
- ・ミニゲームがとてもわくわくした。
- ・4時間ぐらいを、しっかり楽しめました。
- ・おもしろかった。勉強になった。ますます機械にきょうみをもてた。
- ・ていねいに教えていただいて とても楽しかったです。
来年もこのようなきかいがあつたらしてみたいです。
- ・昔からロボットが好きだったので、学校のチラシを見て興味があつたので参加しました。
初めて電子回路とかを作つてプログラムしたので とても楽しかったです。
(ミニゲームの)結果はどうであれ高専にもっと興味があつきました。
- ・ミニゲームが難しかった。

(出典 地域共同テクノセンター資料)

平成25年度 地域貢献活動(公開講座・ジョイント講座等)実施状況

地域共同テクノセンター

【公開講座】								
No.	イベント名	開催期間	時間帯	開催会場等	対象	参加者数	担当教員等	満足度
1	【第1回文化セミナー】 古典に学ぶグローバル化時代の人材育成	5/25(土)	10:00~12:00	中海テレビ放送センタービル	一般	47	齊藤校長	94
2	【第2回文化セミナー】建築設備と制御のはなし	6/22(土)	10:00~12:00	中海テレビ放送センタービル	一般	34	A前原	87
3	親子ふれあい科学教室	7/20(土)	9:00~16:00	米子高専	小5, 6と保護者	38	E権田、石倉 C谷藤、櫻間、伊達	100
4	親子で楽しむロボットづくり教室	7/21(日)	10:00~15:00	米子高専	小4~6と保護者	33	D角田、能登路、中山	100
5	色ガラスで“キラキラ”インテリアグッズをつくろう	7/21(日)	13:30~16:30	米子高専	小4~中3と保護者	33	A玉井、上田	100
6	マイコンを使ったボールシューターを作ってみよう	7/27(土)	10:00~15:00	米子高専	中学生	10	M大塚宏、横田	100
7	電源のいらない不思議なラジオを作ろう!	8/10(土)	13:00~17:00	米子高専	小3, 4と保護者	21	横田、岡部、加納、松本充	100
8	エンジョイ科学館(機械館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	20	M早水、権田岳	98
9	エンジョイ科学館(電気情報館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	17	E浅倉	
10	エンジョイ科学館(電子制御館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	13	D中山、徳光	
11	エンジョイ科学館(科学捜査館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	18	C小田、藤井雄、日野	
12	エンジョイ科学館(建築館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	25	A玉井、上田	
13	エンジョイ科学館(理科館)	8/20(火)	10:00~15:00	米子高専	中学生	15	G竹内	
14	親子で楽しむロボットづくり教室(イオン日吉津①)	8/24(土)	13:00~15:00	イオン日吉津	小4~6と保護者	30	D河野、山本、能登路、中山、井上、角田、徳光	93
15	親子で楽しむロボットづくり教室(イオン日吉津②)	8/24(土)	15:00~17:00	イオン日吉津	小4~6と保護者	32	#	100
16	iPad/iPhone向けアプリケーション開発入門	9/7(土)	10:00~16:00	米子高専	一般	6	D河野、徳光	100
17	楽しいマイホームづくり	9/8(日)	13:30~16:30	米子高専	中学生及び保護者	5	A山田、細田、北農	100
18	天然物の抽出実験 眼気を覚ます物質カフェイン	9/15(日)	9:30~12:30	米子高専	中学生	5	C櫻間	100
19	【第3回文化セミナー】数学に触れてみる	10/26(土)	10:00~12:00	中海テレビ放送センタービル	一般	21	G堀畑	93
20	【第4回文化セミナー】健康やかに老いるために～体を動かすこと、体を作ることについて～	11/23(土)	10:00~12:00	中海テレビ放送センタービル	一般	30	G南	88

453名 (H24 14件 353名)

【連携・ジョイント講座】								
No.	イベント名	開催期間	時間帯	開催会場等	対象	参加者数	担当教員	満足度
1	サイエンス道場 -196℃の液体窒素を使った実験	8/9(金)	9:30~12:00	車尾公民館	小4~6	29	G大庭	89
2	夏休み科学体験教室	8/10(土)	10:00~12:30	澁江文化センター	小3~6年生	21	M権田岳、C田中晋	100
3	これからのエネルギー～ソーラーサイエンスプログラム	9/22(日)	14:00~16:30	鳥取県立武道館	小学生親子30組	60	E宮田	100
4	第1回科学クラブ「飛行リングを作ろう!」	10/6(日)	14:00~15:00	米子市児童文化センター	小4~6	20	M権田岳	100
5	米子子どもの科学教室2013	10/12(土)	10:00~15:00	鳥取県立武道館	幼児・小学生	約400	M大塚宏、権田岳、C田中晋、A山田、G南、川遊、小林、大野	100
6	よどえ夢まつり「骨密度測定」	10/20(日)	10:00~15:00	澁江文化センター	一般	80	G南	96
7	わかとり科学虎の穴「トルロポコンに出場しよう!!!」	10/27(日)	10:00~16:00	米子高専	中学生	17	M早水、権田岳、C田中晋	94
8	第2回科学クラブ「世の中で活躍しているロボットたち」	10/27(日)	14:00~15:30	米子市児童文化センター	小4~6	16	D河野、中山、井上	100
9	第3回科学クラブ「物が溶けるとは?」	12/1(日)	14:00~15:00	米子市児童文化センター	小4~6	19	C櫻間	100
10	第4回科学クラブ「LEDを使ってミニクリスマスツリーを作ろう」	12/15(日)	14:00~15:30	米子市児童文化センター	小4~6	18	E権田英	100
11	場所の魅力と人々の思いを活かしたまちづくり・地域づくりについて	12/21(土)	14:00~15:30	米子市文化ホール	一般	35	A細田	87

715名 (H24 16件 766名)

【その他】								
No.	イベント名	開催期間	時間帯	開催会場等	対象	参加者数	発表者等	
1	山陰発技術シーズ発表会inとっとり	9/6(金)	14:00~17:00	鳥取県民体育館	一般		A前原	
2	合同ビジネス交流会	3/7(金)	14:00~17:00	クリエイションコア東大坂	一般		A前原	
3		4月			一般		M矢壁	
4		5~7月			一般		G堀畑	
5		8月			一般		G小林	
6	鳥取県民チャンネル・米子高専知的セミナー	9~11月			一般		D角田	
7		12月			一般		M早水	
8		1~2月			一般		G中島	
9		3月			一般		A金澤	

平成25年度 地域共同テクノセンター運営委員会議事録

1. 日時：平成25年8月5日（月）15：45～17：45

2. 場所：小会議室

出席者：テクノセンター長 新田，副センター長 加藤，
センター長補 権田（英），梗間
コーディネータ 足立，真野，西本，梅林
機械工学科 森田（慎），電気情報工学科 権田（英），
電子制御工学科 山本，物質工学科 梗間，建築学科 前原，
教養教育科 竹内
総務課長 余村
（事務）企画・社会連携係長 田中，企画・社会連携係 大庭

3. 議事

（中略）

その他

各種講座等について

田中係長から、資料に基づき、本校主催の主なイベントの現状と問題点について説明が行われた。
新田センター長より、本件は問題提起であり、各学科等でも検討してほしい旨、発言があった。

以下、主な質疑の内容：

- ・米子高専でなければならない部分に集中すべき。受付期間の短縮では、申込件数は減らないと見込まれる。
- ・担当教員は、反応の良い小学生向けの方がやっていて楽しいと感じている面もある。本当に負担と感じているのか。
- ・事務サイドの負担の問題と考える。負担と感じている教員は、回数の上限定を設定しているはず。
- ・入試広報に近い意味のある中学生向けエンジョイ科学館の落選者が多く、それを全て引き受けるのであれば、負荷軽減として出前講座等を減らすという考えである。
- ・エンジョイ科学館を充実しすぎると、オープンキャンパスとのすみわけの問題も生じる。
- ・他高専で、これほど多くの回数を実施している高専はない。
- ・小学校のPTAなどが出前講座を多用している実態がある。

（後略）

（出典 平成25年8月5日 地域共同テクノセンター運営委員会議事録）

米子工業高等専門学校
地域共同テクノセンター

技術相談申込み・お問い合わせ
TEL 0859-24-5007

ホームページからの
お問い合わせはこちらから

TOP	組織概要	研究・技術について	公開講座	出前講座	人材育成事業	年間スケジュール
-----	------	-----------	------	------	--------	----------

公開講座
▶ 公開講座のご案内



公開講座申し込み

※応募者多数の場合は、抽選となります。

選択講座

身近な医薬品の合成(平成26年6月14日(土)10:00~16:00)

名前(必須)

姓 名 男 女

ふりがな(必須)

姓 名

学校名(必須)

学年

※一般の方はご職業をご記入ください

保護者

姓 名

保護者の講座参加の有無

講座に参加する 参加しないが見学する 参加も見学もしない

郵便番号(必須)

※半角数字で入力してください。

住所(必須)

電話番号(必須)

※ハイフンなし、半角数字でご記入ください。

緊急連絡先(必須)

※ハイフンなし、半角数字でご記入ください。

※平日昼間に連絡のつきやすい連絡先をご記入ください。

FAX

※ハイフンなし、半角数字でご記入ください。

メールアドレス(必須)

※受信拒否設定をされている方は、@yonago-k.ac.jp の解除をお願いします。

※半角でご記入ください。

メールアドレス確認用(必須)

通信欄

記載された個人情報は、受講者との連絡・受講者名簿の作成など本公開講座を実施するために利用します。

なお、公開講座の分析・評価など統計処理、来年度の公開講座開催案内に利用させていただくことがあります。

また、傷害保険契約締結のため保険会社に名簿を提出する場合がございます。

当日、本講座の模様を写真撮影し、本校のPRに使用することがあります。

支障がある場合は事前に申し出てください。

申し込み内容確認

(出典 校外向け Web ページ 地域共同テクノセンター 公開講座申し込み画面)

地域貢献助成金の取扱いについて

2010.2.17 運営会議了承

1. 公開講座，出前講座，ジョイント講座，連携講座，地域イベント等参加（以下「講座」という。）を実施した教職員に「地域貢献助成金」を配分する。
2. 配分は各講座を実質的に担当した教職員に配分する。
3. 配分方法は，以下のとおりとする。
 - (1) 配分はポイント制を採用し，1 講座等 3 時間以下のものをポイント6とし，3 時間を超える 1 時間毎にポイント 1 を加算する。
 - (2) 受講者からの評価が著しく低い講座等については，別に審査し減点することができる。
4. 配分額
 - (1) 配分額は，1，500円／ポイントとする。
 - (2) 配分は，当該年度の公開講座講習料の収入相当経費と校長裁量経費をもってこれに当てる。
5. 配分時期
助成金が有効に使用されるよう，配分は，4月から9月実績分を10月に，10月から3月実績分を翌年度予算で4月に行う。
6. 適用
この取扱いは，平成22年度以降の助成金について適用する。
なお平成21年度12月から平成22年3月に実施の講座に係る助成金については，改正前の配分方法により算出した額を平成22年4月に配分する。

(出典 地域共同テクノセンター資料)